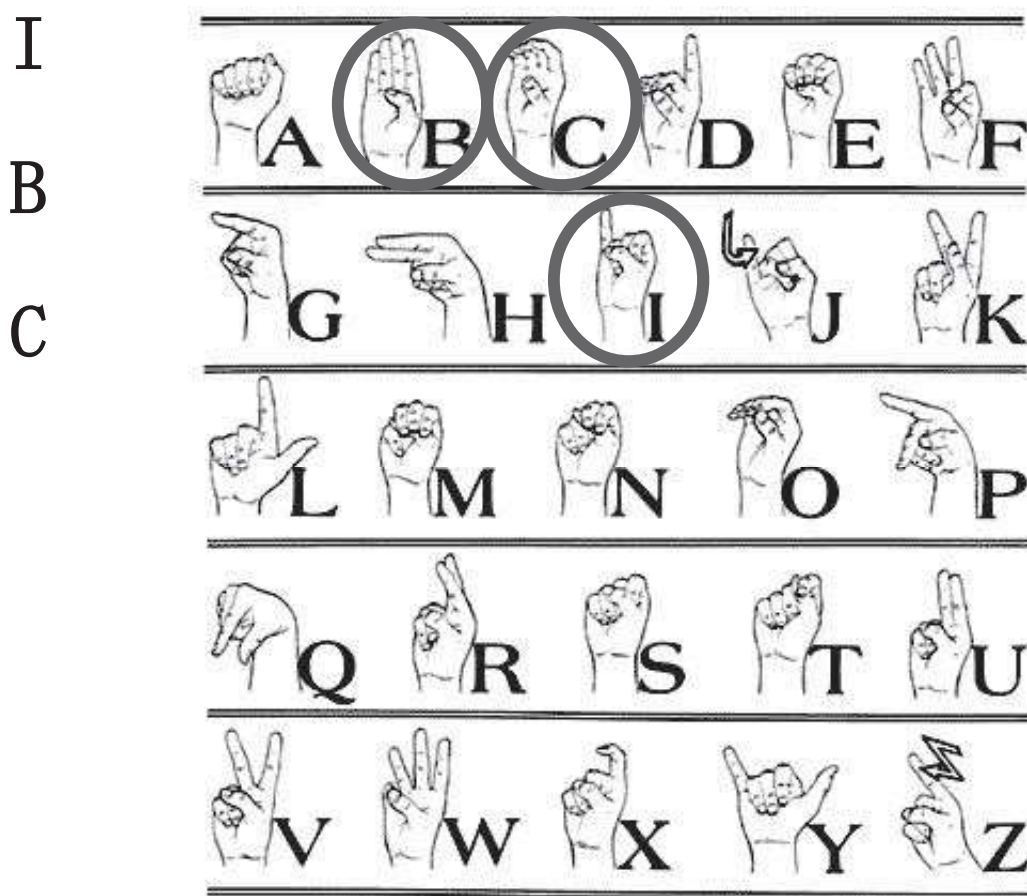


2022年度 後期 シラバス



クラス		名前	
-----	--	----	--

専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ

<目次>

共通	P1~12
ホテル・ブライダル	P13~36
エアライン	P37~60
鉄道	P61~82
国際ホテルマネジメント	P83~119
国際ビジネス	P120~131
夜間総合観光	P132~139

共通

学年	科目名	クラス
1	TOEIC I	AOCZ①
1	TOEIC II	AOCZ①
1	英検対策 I・II	AOCZ②~⑥
1	ホテル英会話	AU
1	コンピュータ	A O
1	ビジネスマナー	OCMZ
1	SPI言語対策	OC
1	SPI非言語対策	OC
1、2	貿易実務	Q OC
1、2	観光英語	QWC
1、2、3	韓国語	ESO M
1、2、3	中国語	ESO

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・夜間総合観光・国際ビジネス科
科目名	TOEIC I			クラス	AOCZ①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。				
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集 8				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法の説明 公式問題集8 TEST2 全体を見る。サンプル問題を解く 写真描写問題		
2回	Part2(1)		Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞き取る キーワードをとらえる		
3回	Part2(3)		「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題		
4回	Part3(2)		設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む		
5回	Part4(1)		Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る 会議の抜粋やスピーチを聞く		
6回	Part4(3)		図・イラスト問題を攻略する 設問を先読みする 練習問題		
7回	Part5(2)		品詞問題 発展編 文脈から適切な意味の語を選ぶ 複合名詞		
8回	Part5(4)		関係代名詞 先行詞が人かモノかをチェックする 主格、目的格、所有格の判別		
9回	Part5(6)		前置詞、接続詞 前置詞は文脈にも注意する 接続詞は全文を読む		
10回	Part6(1)		Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く		
11回	Part7(1)		Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む 広告・Eメールを読む		
12回	Part7(3)		パンフレット、オンラインチャットを読む 時間を管理する シングルパッセージの後半を最後に解く		
13回	Part7(5)		ダブルパッセージ 2通のEメール 設問の焦点となる情報を一方の文書で探し、もう一方の文書で関連情報を探す		
14回	Part7(7)		トリプルパッセージ 広告、ウェブページ、Eメール 要約力を身につける		
15回	模擬問題		リスニングテスト リーディングテスト 採点と解説		

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・夜間総合観光・国際ビジネス科
科目名	TOEIC II			クラス	AOCZ①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。				
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集 8				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	Part1	人物、風景と物、乗り物についての表現を学ぶ 音声を聞く前に写真をチェック 練習問題			
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文の応答 付加疑問文の応答 平叙文の応答			
3回	Part3(1)	Part3の攻略の基本を学ぶ 設問を読み、全体を聞いて解答できるものとピンポイントで聞いて解答するものを見分ける 練習問題			
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む			
5回	Part4(2)	場所を問う問題を解く 職業を問う問題を解く 次の行動を問う問題を解く			
6回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題 基本編 名詞・動詞・形容詞・副詞			
7回	Part5(3)	動詞の形と役割 時制 態			
8回	Part5(5)	代名詞・限定詞 適切な格を判断する 直後の名詞が単数形か複数形か、可算名詞か不可算名詞かを確認する			
9回	Part5(7)	語彙問題 文全体を読む 語法やコロケーションを意識する			
10回	Part6(2)	「文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題			
11回	Part7(2)	テキストメッセージ、説明書を読む 流れを意識して読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む			
12回	Part7(4)	ダブルパッセージの解き方を学ぶ 請求書とEメールを読む 練習問題			
13回	Part7(6)	トリプルパッセージの解き方を学ぶ お知らせ、ウェブページ、オンラインのフォームを読む 練習問題			
14回	Part7(8)	トリプルパッセージ 2つのウェブページとEメールを読む 要約力を身につける			
15回	まとめと復習	TEST2を復習する 語彙・語法の確認 文法問題の確認			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル、エアライン、国際ビジネス、夜間総合観光	
科目名	英検対策Ⅰ&Ⅱ			クラス	AOCZ	
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、加藤亜希、高木美希、脇谷奈々			実務経験	無	
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。			授業形態	講義	
到達目標	10月8日(土)(2022年度第2回)及び1月21日(土)(2022年度第3回)実施の英検に合格できる力をつける。					
使用テキスト	2022年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	4
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	2020年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
2回	2020年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
3回	2020年度第2回検定問題	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
4回	2022年度第2回検定 解答解説	2022年度第2回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
5回	2020年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
6回	英作文指導 2次試験対策	作文指導(取得目標級により異なる) 2020年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
7回	2020年度第1回検定問題 2次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
8回	2020年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
9回	2020年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
10回	2020年度第1回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
11回	2019年度第3回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
12回	2019年度第3回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
13回	2019年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
14回	2022年度第3回検定 2次試験対策	長文読解 英作文問題 2次試験対策				
15回	期末試験直前対策	後期授業総括 2022年度第3回検定解答・解説 後期総復習 期末試験対策				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル・国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル英会話			クラス	A・U クラス	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝・日高 郁子			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテルで使う英語の表現を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	状況に応じて英語で接客が出来るようになる					
使用テキスト	ホテルのおもてなし英会話					
成績評価方法	・期末試験50% スピーキングテスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Front Desk	Lesson 14 ビジネスセンター				
2回	Front Desk	Lesson 15 緊急対応				
3回	Housekeeping	Lesson 16 ランドリーサービス				
4回	Housekeeping	Lesson 18 薬の依頼とバゲージダウン				
5回	Food & Beverage	Lesson 19 食事のメニュー表現				
6回	Food & Beverage	Lesson 20 食材・ドリンクの表現				
7回	Food & Beverage	Lesson 21 朝食・アフタヌーンティ				
8回	Food & Beverage	Lesson 22 ディナーサービス				
9回	Food & Beverage	Lesson 23 ルームサービス				
10回	Sales	Lesson 24 会議と宴会のご相談				
11回	Sales	Lesson 25 結婚披露宴のご相談				
12回	Concierge	Lesson 26 観光案内				
13回	Concierge	Lesson 27 日本文化体験 期末対策				
14回	期末試験	期末試験 Speaking Test 練習				
15回	まとめ	Speaking Test 後期のまとめ				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル、エアライン 科	
科目名	コンピュータ			クラス	A O	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。就活に必要なパソコンスキルを習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末試験60% パワーポイント提出課題20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	パソコン活用	Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 ビジネスメールの形式とマナー①				
2回	パソコン活用	Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 ビジネスメールの形式とマナー②				
3回	Excel基礎	タイピングレッスン Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数				
4回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
5回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
6回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)				
7回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 関数(IF関数など)				
8回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習①				
9回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習②				
10回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習③				
11回	PowerPoint活用	パワーポイントでXmasショートムービーを作ってLINEで送ろう！ ストーリーを考えて、画像など必要なコンテンツを準備				
12回	PowerPoint活用	パワーポイントでXmasショートムービーを作ってLINEで送ろう！ スライドを仕上げ、アニメーション・画面切り替え・サウンドなどの効果を付ける 動画に変換し、クラウドを活用してスマホに送る				
13回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習④				
14回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習⑤				
15回	後期期末試験	表計算技能処理検定 2級相当の模擬試験				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科 鉄道科 国際ビジネス科 夜間総合観光科
科目名	ビジネスマナー			クラス	OCMZ
担当講師(フルネーム)	榎本 美和子 田中 友加利			実務経験	有(エアライン業界勤務)(ホテル業界勤務)
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ。 ・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			授業形態	講義
到達目標	ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す。(12/4(日)受験)				
使用テキスト	ビジネス能力検定3級テキスト2022年度版				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	過去問題	後期授業の進め方について 過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
2回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
3回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
4回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
5回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
6回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
7回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
8回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
9回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
10回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
11回	自己採点	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
12回	社会人としての心構え	12/4(日)試験の自己採点をする			
13回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
14回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
15回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	SPI言語対策			クラス	OC	
担当講師(フルネーム)	前田恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業			授業形態	講義	
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	・一般常識&SPI (実教出版株式会社)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	なぜSPIをするのか	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業方針説明、SPI検査の内容を確認 ・SPI言語 同意語(意味や内容が近い語) *夏休みの課題(四字熟語)提出 				
2回	日本の特産品を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・四字熟語テスト① 夏休み課題(四字熟語)を6回に分けて小テスト ・日本地理① 日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える ・SPI言語 反意語(意味や内容が反対の語) 				
3回	四字熟語を極める	<ul style="list-style-type: none"> ・四字熟語テスト② ・日本地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める ・SPI言語 ことばの意味①(語句の意味が正しいもの) 				
4回	世界の特産物	<ul style="list-style-type: none"> ・四字熟語テスト③ ・世界地理① 世界各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える ・SPI言語 ことばの意味②(意味に適合する語句) 				
5回	世界が作るもの	<ul style="list-style-type: none"> ・四字熟語テスト④ ・世界地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める ・SPI言語 複数の意味(意味や用法が近いもの) 				
6回	日本史の中の人物	<ul style="list-style-type: none"> ・四字熟語テスト⑤ ・日本史① 日本史上の人物に焦点をあてて、歴史を見る ・SPI言語 原料(加工物とその原料) 				
7回	史実を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・四字熟語テスト⑥ ・日本史② ・SPI言語 包含・用途・機能 				
8回	世界史の中の人物	<ul style="list-style-type: none"> ・世界史 歴史上の有名な出来事を追い、人物と「何」が起きたのかを見る ・SPI言語 行為の関係 				
9回	文化は歴史が作る	<ul style="list-style-type: none"> ・文化史 文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる ・SPI言語 ことわざ・慣用句 				
10回	名句・名言から学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・思想史 思想家の名句・名言と著書を学ぶ ・SPI言語 文章問題① 				
11回	文学史	<ul style="list-style-type: none"> ・文学史 主な文学作品とその作者を学ぶ ・SPI言語 文章問題② 				
12回	働く環境を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・労働・社会保障 労働者は守られているか? 現行制度を学びます ・SPI言語 文章問題③ 				
13回	社会の常識	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の祝日、法規、マーク、名数などを確認します ・SPI言語 文章問題④ 				
14回	2年生に向けての準備	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題を考える 新聞・ニュースサイトの活用 ・SPI言語 文章問題⑤ 				
15回	後期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・後期の復習 ・春休みの課題説明 				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科・国際ビジネス科	
科目名	SPI非言語対策			クラス	OC	
担当講師(フルネーム)	榎木田 裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	講義	
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	ハジキ問題1	速さ、時間、距離を求める基本計算を確認する。 単位を変えた時の計算を正確に行う。				
2回	ハジキ問題2	速度算の実践的な問題を解く。 旅人算(同じ方向に進む、反対方向に進む、向きあう)を解く。				
3回	ハジキ問題3	速度算の実践的な問題を解く。 通過算(追いつく、追い越す、渡り切る)を解く。				
4回	食塩水の問題1	食塩水の中の塩の量を求める基本計算を理解して問題を解く。				
5回	食塩水の問題2	濃度算の標準問題(食塩水を蒸発させたり、水を加えたりした問題)を解く。				
6回	食塩水の問題3	濃度算の応用問題(異なる濃度の食塩水を混ぜる)を解く。				
7回	グラフの問題	1次関数、2次関数の特徴を知り、グラフの領域の問題を解く。				
8回	順列の問題1	順列Pの計算を理解し、基本問題を解く。				
9回	順列の問題2	順列の応用問題(並べ替え、色の塗り方、円順列など)を解く。				
10回	組み合わせの問題1	組み合わせCの計算を理解し、基本問題を解く。				
11回	組み合わせの問題2	組み合わせの応用問題(チームにわけ、最短経路の問題、文字の並べ方)を解く。				
12回	確率の問題1	確率の意味を理解し、基本問題(サイコロの出た目、コインの表裏)を解く。				
13回	確率の問題2	確率の標準問題(カード、色玉など)を解く。				
14回	確率の問題3	確率の応用問題(「少なくとも」の場合)を解く。				
15回	推論の問題	推論(順位を考える問題など)を解く。後期のまとめ。				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	エアライン科・国際ビジネス科	
科目名	貿易実務			クラス	Q, OC	
担当講師(フルネーム)	中村 秀茂			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国際物流業界での通関実務、営業、企画の経験あり。 貿易実務の基本を講義。貿易実務英語は毎回の講義で少しずつ触れます。			授業形態	講義	
到達目標	貿易実務検定C級合格					
使用テキスト	最新貿易実務ベーシックマニュアル改訂4版(MHJ出版)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	貨物海上保険	① 付保手続き ② 貨物海上保険の基本条件				
2回	貨物海上保険	② 貨物海上保険の基本条件				
3回	貿易取引に関するその他の保険	① 製造物責任とは ② PL保険 ③ 貿易保険				
4回	代金決済	① 外国との代金決済 ② 荷為替手形による決済 ③ 送金による決済				
5回	船積みから輸出代金の回収	① 輸出実務の流れ ② 為替予約 ③ 輸出貿易管理				
6回	船積みから輸出代金の回収	④ 輸出の準備 ⑤ 輸出通関と船積手続				
7回	船積みから輸出代金の回収	⑤ 輸出通関と船積手続 ⑥ 代金回収手続				
8回	船積通知の受領から貨物の引取りまで	① 輸入実務の流れ ② 輸入貿易管理 ③ 代金決済と輸入金融				
9回	船積通知の受領から貨物の引取りまで	④ 貨物の荷受け ⑤ 輸入通関				
10回	船積通知の受領から貨物の引取りまで	⑤ 輸入通関				
11回	外国為替相場と為替変動リスクの回避	① 外国為替相場と外国為替市場 ② 貿易取引と相場				
12回	外国為替相場と為替変動リスクの回避、1回から6回までの復習	③ 為替変動リスクの回避 貨物海上保険、貿易取引に関するその他の保険、代金決済、船積みから輸出代金の回収 おさらいとポイント				
13回	7回～12回までの復習	船積みから輸出代金の回収、船積通知の受領から貨物の引き取りまで、外国為替相場と為替変動リスクの回避のおさらいとポイント				
14回	過去問	貿易実務検定C級の過去問を解いてみる。答え合わせの中で理解を深める。				
15回	後期のまとめと期末試験	① 全体の振り返りとまとめ ② 期末試験				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	エアライン・国際ビジネス科	
科目名	観光英語			クラス	QWC	
担当講師(フルネーム)	秋満陽子・挽田雅子・平島千華			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	エアライン・観光ビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶ。 プロとして必要な英語コミュニケーションを楽しみながら学ぶ。			授業形態	講義	
到達目標	航空・観光系の英語を身につける。接客に必要な英語表現を学び、実際に会話ができるようになる。					
使用テキスト	English for Tourism Professionals					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Unit8(1) Working at the boarding gate	パスポートの確認 搭乗ゲートでの対応について学ぶ Vocabulary and Useful Expressions				
2回	Unit8(2) Working at the boarding gate	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
3回	Unit8(3) Working at the boarding gate	Topic Reading 空港のセキュリティ対策 フライトに遅れやキャンセルが生じた場合				
4回	Unit9(1) Offering in-flight services	life jacketの使い方 While boarding : お客様の手助け During the meal service : 食事のサービス				
5回	Unit9(2) Offering in-flight services	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
6回	Unit9(3) Offering in-flight services	Topic Reading 機内アナウンス ファーストクラスについてのパンフレット				
7回	Unit10(1) Giiving CIQ information	customs, immigration, quarantine の手順 entry form について customs form について				
8回	Unit10(2) Giiving CIQ information	Dialogue Study 免税に関する情報 Role Play				
9回	Unit10(3) Giiving CIQ information	Topic Reading カナダの税関申告書の説明を読む 税関申告書を記入する				
10回	Unit3(1) Escorting a tour	ツアーコンダクターの業務 ツアーコンダクターと客室乗務員の会話 ツアーコンダクターとホテルのフロント係の会話				
11回	Unit3(2) Escorting a tour	病人について伝える 遺失物について伝える Role Play				
12回	Unit4(1) Welcoming international tourists	海外からのお客様を迎える 日本の観光地 バストアーのガイドと乗客の会話				
13回	Unit4(2) Welcoming international tourists	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
14回	Unit3(3) Unit4(3)	サービスガイドを読む (p27) JRの情報を読む (p33) 質問に答える				
15回	まとめと復習	後期の復習 Vocabulary and Useful Expressions のまとめ 業務に必須の会話表現をマスターする				

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年(後期)	学科	エアライン・ホテル、ブライダル・国際ホテルマネジメント・鉄道科
科目名	韓国語			クラス	OESM
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義&演習
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。				
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」朝日出版				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	文字の復習	既習のハングル文字の母音、子音、パッチムの仕組みをもう一度おぼいする。発音と読み書きの復習をする。会話の練習をする。			
2回	漢数字と助数詞	何年、何月、何日、何分、何個など漢数字とともに使われる助数詞を覚える。発音と読み書きの復習をする。助数詞を使って会話の練習をする。			
3回	位置表現(場所を尋ねる)	絵を見ながら場所を尋ねる表現を学ぶ。位置を表す名詞を覚え、会話練習をする。クラスメートと待ち合わせの場所を決めるなど会話の練習をする。			
4回	へヨ体の作り方 I	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ① 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。会話の練習をする。			
5回	助詞	助詞をまとめて覚える。例文を作りながら練習して覚える。会話の練習をする。			
6回	復習と練習問題	問題を解きながら復習をする。会話の練習をする。			
7回	へヨ体の作り方 II	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ② 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。会話の練習をする。			
8回	指示詞	指示詞を覚え、物を探る表現を学ぶ。「これはなんですか」など指示詞を使って会話練習をする。教室にある物を利用し、名前を尋ねる会話練習をする。			
9回	復習と練習問題	問題を解きながら、復習をする。会話の練習をする。			
10回	へヨ体の作り方 III	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ③ 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。会話の練習をする。			
11回	固有数詞	固有数詞を覚える。固有数詞とともに使われる助数詞を学ぶ。会話練習をする。			
12回	時を表す言葉	時を尋ねる表現を学ぶ。「誕生日はいつですか」「今日は何月何日ですか？」など会話練習をする。			
13回	復習と練習問題	問題を解きながら、復習をする。自己紹介のフレーズを覚え、韓国語で自己紹介の練習をする。			
14回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。映画のセリフを聞いて聞き取れる単語をメモしてみよう！日本と韓国の文化の違いについて発表する。			
15回	まとめ	期末テストに備え、総まとめをする。日本と韓国の文化の違いについて発表する。			

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年(後期)	学科	エアライン・ホテル、ブライダル・国際ホテルマネジメント科
科目名	中国語			クラス	OES
担当講師(フルネーム)	青山祐子			実務経験	無
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について			授業形態	講義&演習
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることを目標とする。				
使用テキスト	初めまして！中国語(白水社)				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試50%平常点50%			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	前期の復習	前期期末テストの答え合わせ			
2回	第8課 バス停で	24. 連動文 25. 前置詞”在”			
3回	トレーニング8	26. 時刻の言い方 27. ”是”の省略 ◆時を表わす語(2)			
4回	復習2 鈴木君の一日	1. 存在の”有”と所在の”在” 2. 実現・完了の”了” 3. 動詞述語文(2) 4. 前置詞の”在”			
5回	第9課 放課後に	28. 助動詞 ”会”・”能”・”可以”			
6回	トレーニング9	29. 前置詞 ”跟”と”给” 30. 主述述語文			
7回	第10課 卓球の中継を見ながら	31. 様態補語 32. 経験を表わす”过”			
8回	トレーニング10	33.比較を表わす”比” 34. 動詞 ”喜欢”			
9回	中国の映画を鑑賞しよう！ 前篇	※ 習った単語を探そう			
10回	中国の映画を鑑賞しよう！ 後篇	※ 習った単語を探そう			
11回	第11課 ディズニーランドで待ち合わせ	35. 進行を表わす”在”			
12回	トレーニング11	36. 方向補語 37. 選択疑問文			
13回	第12課 カフェテラスで	38. ”是～的”の文 39. 結果補語			
14回	トレーニング12	40. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置 ◆ 時間の長さを表わす語			
15回	期末テストの対策	今まで勉強した内容についてのおさらい			

ホテル・ブライダル

学年	科目名
1	レストランバンケットサービス
1	ソムリエ&バーテンダー
1	フロントサービス
1	ホテル総論
1	就職活動講座
1	SPI言語対策
1	SPI非言語対策
1	面接対策
1	ブライダル演習
1	ブライダルセールス
1	英語面接対策
2	コンシェルジュ
2	ホテルマネジメント
2	フランス語
2	web広告戦略
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	ユニバーサルサービス
2	手話
2	フレッシュャーズ教育
2	観光産業概論
2	社会情勢研究
2	着付け演習
2	ブライダルコーディネーター検定対策
2	HRS実技セミナー

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	レストランバンケットサービス			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	前期に引き続きレストランサービスの知識を身に付ける			授業形態	講義	
到達目標	サーバー、チューリンサービスをマスターする					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		前期の復習と夏の振り返り 皿持ち復習			
2回	日本料理		日本料理の基本知識 お箸練習、和室での立ち居振る舞い			
3回	中国料理		四大中国料理の特徴を知る サーバー練習			
4回	バンケットサービス		MICE、ワーキング・ディナー 立食パーティーのマナー、サービス			
5回	レストランの値段		原価率のお話 モノの値段の決め方を学ぶ			
6回	レストランマーケティング①		マーケティングの基本 売れているモノが売れている理由 接客業で必要な消費者心理を学ぶ			
7回	レストランマーケティング②		POP作り 作品プレゼンテーション			
8回	ユニバーサルサービス		ご年配、体が不自由なお客様の注意点 お出迎え～食事のサービス～お見送り			
9回	ユニバーサルサービス		車いすの基本操作方法を学ぶ			
10回	レストランウェディング		レストランウェディングの特徴 幸せを呼ぶアイテムたち			
11回	グループワーク		テーブルコーディネートプラン作成			
12回	グループワーク		テーブルコーディネートの作成と撮影			
13回	カフェ業界の戦略		ライバル業界を偵察 カフェ業界の知られざる集客の仕組み			
14回	実技練習		期末試験 制限時間内にロールプレイング			
15回	まとめ		期末試験の振り返り			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	ソムリエ&バーテンダー			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	水田 勇太			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	酒類に興味を持ってもらい、レストラン・バー業務に活かすこと。 現場での業務が円滑に行える、お客様との会話のツールにする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	バーラウンジにおける接客、お酒の基礎知識また、基本習得					
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ バーラウンジ編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	シラバス説明		前期復習、後期講義概要			
2回	バーラウンジについて		バーラウンジ概要			
3回	酒の基礎知識		醸造酒、蒸留酒、混成酒について			
4回	ウイスキーについて		ウイスキー歴史、生産国、原料、生産方法について			
5回	ジン、ウォッカについて		スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について			
6回	テキーラ、ラムについて		スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について			
7回	ブランデーについて		ブランデーについて、生産国、原料、生産方法について			
8回	リキュールについて		リキュールについて、生産国、原料、生産方法について			
9回	日本酒と焼酎について		日本の酒類について			
10回	カクテルの基礎		カクテル概要			
11回	カクテル基礎知識		器具、カクテル作成について			
12回	カクテル実技		カクテル作成			
13回	カクテル実技		カクテルの知識と作成			
14回	カクテル実技		オリジナルカクテル作成			
15回	カクテル実技		オリジナルカクテルプレゼン・期末試験			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	フロントサービス			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	宿泊部門の日常業務理解と技術取得			授業形態	講義	
到達目標	企業実習、就職にむけてのフロントサービス実技取得					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊II フロント・サービス編					
成績評価方法	・期末試験50% 実技・レポート50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期復習とクローク		企業実習の成果をロールプレーでみせよう クローク業務内容と手順			
2回	ハウスキーピング		ハウスキーピングの主な業務			
3回	ハウスキーピング		客室についての基礎知識			
4回	ハウスキーピング		客室整備の手順			
5回	ハウスキーピング		客室係の接客サービス			
6回	ハウスキーピング		記録及び報告			
7回	ハウスキーピング		環境への取り組み			
8回	ハウスキーピング		ベッドメイキング実技			
9回	ハウスキーピング		ベッドメイキング実技			
10回	コンシェルジュ		コンシェルジュの意味と歴史			
11回	コンシェルジュ		コンシェルジュの業務(1)			
12回	コンシェルジュ		コンシェルジュの業務(2)			
13回	コンシェルジュ		コンシェルジュに必要な資質と知識			
14回	コンシェルジュ		こんな要望にどう応えますか？			
15回	まとめ		後期復習 ホテル用語の確認			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	ホテル総論			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	講義と過去問題を中心に、宿泊・料飲等、ホテルの各部門にわたっての総合的な知識を身につける			授業形態	講義	
到達目標	ホテル実務技能認定試験(初級)合格を目指す					
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験 初級過去問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル実務技能認定試験について ・授業の進め方、評価方法 ・接遇分野演習 				
2回	ホテル実務技能認定試験 問題集	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇分野演習 ・解答 ・解説 				
3回	料飲分野の知識①	<ul style="list-style-type: none"> ・フルコースの成り立ちと各食材について学ぶ 				
4回	料飲分野の知識②	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料、その他の知識について学ぶ 				
5回	ホテル実務技能認定試験 問題集	<ul style="list-style-type: none"> ・料飲分野演習問題 ・解答 ・解説 				
6回	ホテル実務技能認定試験 問題集	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊分野演習問題 ・解答 ・解説 				
7回	ホテル実務技能認定試験 問題集	<ul style="list-style-type: none"> ・語学分野演習問題 ・解答 ・解説 				
8回	ホテル実務技能認定試験 問題集	<ul style="list-style-type: none"> ・その他分野演習問題 ・解答 ・解説 				
9回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題 ・解答、解説、復習 				
10回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題 ・解答、解説、復習 				
11回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題 ・解答、解説、復習 				
12回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題 ・解答、解説、復習 				
13回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題 ・解答、解説、復習 				
14回	ホテル実務技能認定試験	資格試験実施 * 点数を期末評価とします				
15回	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル実務技能認定試験振り返り 				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル、ブライダル科	
科目名	就職活動講座			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	田中 友加利			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	次年度の就職試験に向けて、面接の対策を行う。			授業形態	講義	
到達目標	面接の基本動作習得、より評価の高い受け答え方ができる					
使用テキスト	「専門学校生のための就職内定基本テキスト」・プリント配布					
成績評価方法	・平常点100%(出席状況と受講態度、事後学習の取り組み姿勢による) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方と評価について ・就職活動の流れと手続き ・応募方法と求人動向			
2回	①自己紹介		・自己紹介 ※出身地や趣味、性格等を含めて			
3回	①自己PR		・自己PR ※自己PRを組み立てよう。(何が強みなのか)			
4回	②自己PR		・自己PR ※自分の言葉で組み立てよう！			
5回	①企業研究		・企業研究 ※目標の設定(職種・企業)と企業研究			
6回	②企業研究		・企業研究の発表 ※会社の特色・求められる人材像等			
7回	①志望動機		・志望動機の作成 ※入社目的、どのような仕事をしたいのか			
8回	②志望動機		・志望動機の作成 ※自分の言葉で組み立てよう。			
9回	③志望動機		・志望動機の作成 ※自分の言葉で組み立てよう。			
10回	④志望動機		・志望動機の作成 ※自分の言葉で組み立てよう。			
11回	⑤志望動機		・志望動機の作成 ※自分の言葉で組み立てよう。			
12回	①面接対策		・志望動機 ※模擬面接とフィードバック			
13回	②面接対策		・志望動機 ※模擬面接とフィードバック			
14回	③面接対策		・自己PR、長所と短所 ※模擬面接とフィードバック			
15回	まとめ		・就職試験に臨む前に			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	SPI言語対策			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業			授業形態	講義	
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	一般常識&時事/一問一答 (高橋書店)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	SPIを知る		授業方針説明、SPI検査の内容を確認 SPI言語 同意語(意味や内容が近い語) * 夏休みの課題(四字熟語)提出			
2回	日本の特産品		日本地理 ①都道府県名、県庁所在地の確認 SPI言語 反意語(意味や内容が反対の語)			
3回	四字熟語		四字熟語テスト① 夏休みの課題(四字熟語)を6回に分けて小テスト 日本地理 ②日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味①語句の意味が正しいもの			
4回	世界の気候		四字熟語テスト② 世界地理 世界各地の気候、産物と産地の組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味②意味に適合する語句			
5回	日本史の中の人物		四字熟語テスト③ 日本史 日本史上の人物に焦点をあて、歴史を見る(誰がなにをしたか?) SPI言語 複数の意味(意味や用法が近いもの)			
6回	世界史の中の人物		四字熟語テスト④ 世界史 世界史上の出来事を追い、人物と「何」が起きたのか?を見る SPI言語 文章問題①			
7回	文化史		四字熟語テスト⑤ 文化史 文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる SPI言語 文章問題②			
8回	名言・名句		四字熟語テスト⑥ 思想史 思想家の名言・名句と著書 SPI言語 原料(加工物とその原料)			
9回	国際連合の役割		国際連合と諸機関 SPI言語 包含・用途・機能			
10回	地域協定		地域協定と経済連携協定 SPI言語 文章問題③			
11回	G7とG20		G7とG20 国際協調を考える SPI言語 行為の関係			
12回	日本の政治		中央政治と地方政治 SPI言語 文章問題④			
13回	経済		経済と経済用語 SPI言語 ことわざ・慣用句			
14回	働く環境を考える		労働・社会保障 労働者は守られているか? SPI言語 文章問題⑤			
15回	2年生に向けての準備		時事問題を考える 新聞・ニュースサイトの活用 後期の復習			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	SPI非言語対策			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	榎木田 裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	講義	
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	四則計算		SPI非言語の基本となる計算問題(分数、小数を使った1次方程式など)を解く。			
2回	割合の問題		割合の問題を解く。			
3回	金銭の問題1		定価・原価・利益のしくみを正しく理解し、損益算の基本問題を解く。			
4回	金銭の問題2		損益算の標準問題を解く。			
5回	ハジキ問題1		速度算の基本計算(単位を合わせて式を立て時間や距離を求める)を理解し、問題を解く。			
6回	ハジキ問題2		速度算の標準問題(旅人算の同方向、反対方向など)を解く。			
7回	食塩水の問題1		食塩水の中の塩の量を求める基本計算を理解して問題を解く。			
8回	食塩水の問題2		濃度算の応用問題(異なる濃度の食塩水を混ぜる)を解く。			
9回	順列の問題1		順列Pの計算を理解し、基本問題を解く。			
10回	順列の問題2		順列の応用問題(並べ替え、色の塗り方、円順列など)を解く。			
11回	組み合わせの問題		組み合わせの応用問題(チームにわけ、最短経路の問題、文字の並べ方)を解く。			
12回	確率の問題1		確率の意味を理解し、基本問題(サイコロの出た目、コインの表裏)を解く。			
13回	確率の問題2		確率の標準問題(カード、色玉など)を解く。			
14回	推論の問題		推論(順位を考える問題など)を解く。			
15回	後期のまとめ		後期のまとめ。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	面接対策			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	宮前訓子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職面接における一次面接突破のために、第一印象を整える。 自己分析を行い現時点での最上級のアピール方法を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	ホスピタリティ産業に必要なレベルの外面と内面を整える。					
使用テキスト	なし (毎回プリントを配布するので、前期マナー授業で配布したクリアファイルを持参すること)					
成績評価方法	・期末実技試験 60% 提出物 20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	面接において評価されるポイントを確認する。 自己分析と発表。 実技:スムーズな入室・退室				
2回	自己分析のやり方	自己分析を行い、他者の評価を聞く。 自己分析と発表。 実技:椅子の座り方				
3回	私の長所・短所①	自分の長所・短所を分析する				
4回	私の長所・短所②	自分の長所・短所を分析する 実技:発表				
5回	自己PR①	自己PRの作り方と表現方法				
6回	自己PR②	自己PRの作り方と表現方法				
7回	中間試験	入退室を含む面接試験				
8回	グループディスカッション①	GDの説明と面接でのポイントを学ぶ 実技:グループディスカッション				
9回	グループディスカッション②	GDの説明と面接でのポイントを学ぶ 実技:グループディスカッション				
10回	志望動機①	この学科を選択した理由を再確認する 実技:発表				
11回	志望動機②	ホテル業を選ぶ理由を考える 実技:発表				
12回	自己PR③	これまでの経験から1年時での自己PRを完成させる				
13回	期末試験①	面接試験				
14回	期末試験②	グループディスカッション試験 (待機中に書類を作成)				
15回	まとめ	これまでの授業から面接時の自分強み、弱みを確認し2年時での目標を設定する				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダル演習			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	島崎満美子・出口麻実			実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ブライダルフェア用のポスターを作成。 写真のレイアウト等含め専門カメラマンも後半入れて完成させる。			授業形態	演習	
到達目標	誰もが行ってみたいと思うフェアの提案できるポスター作り。より詳しい内容も含め、グループ別に発表(プレゼン)を行う。チームワークを身に付ける。					
使用テキスト	A1模造紙、色鉛筆、クレヨン、他使用。					
成績評価方法	・提出課題 70% 出席30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	自己紹介、テーマ作り	自己紹介 グループ分け 4名1組※1組のみ5名 今後の説明と各グループのテーマ相談			担当: 島崎	
2回	資料集め①	各チームで分担してテーマに合わせた、資料調査し、集める 衣裳、料理、ヘアメイク、花、等...			担当: 島崎	
3回	資料集め②	各チームで分担してテーマに合わせた、資料調査し、集める 衣裳、料理、ヘアメイク、花、等...			担当: 島崎	
4回	資料集め③	各チームで分担してテーマに合わせた、資料調査し、集める 衣裳、料理、ヘアメイク、花、等...			担当: 島崎	
5回	資料集め④	各チームで分担してテーマに合わせた、資料調査し、集める 衣裳、料理、ヘアメイク、花、等...			担当: 島崎	
6回	プレゼン台本①	2~5回目のものに沿った、プレゼンテーション台本を相談しながら作成			担当: 島崎	
7回	プレゼン台本②	プレゼンテーション台本、各グループ完成。 ※1グループ15~20分程度			担当: 島崎	
8回	専門アドバイス①	カメラマンからのアドバイス レイアウトの仕方や写真の撮り方			担当: 出口	
9回	専門アドバイス②	カメラマンからのアドバイス 自分たちで実際に写真を撮ってみる			担当: 出口	
10回	作成①	A1模造紙に今まで調べたものや集めた資料などを基にポスターの作成に入る			担当: 島崎	
11回	作成②	10回目の続きを行う。			担当: 島崎	
12回	作成③	ポスターの仕上げ、色鉛筆や自分で撮った写真なども使って完成させる。			担当: 島崎	
13回	プレゼンテーション①	3チーム 発表 質疑応答 ※これも点数になります。人のプレゼンをどこまで理解し、どのような質問が出せるか? ※一人1個質問をお願いします。			担当: 島崎 担当: 島崎	
14回	プレゼンテーション②	3チーム 発表 質疑応答 ※これも点数になります。人のプレゼンをどこまで理解し、どのような質問が出せるか? ※一人1個質問をお願いします。			担当: 島崎 担当: 島崎	
15回	総まとめ提出	14回にわたる実践に対してのレポート提出。各自400文字以上、500文字以内でお願いします。			担当: 島崎	

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダルセールス			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	宇佐美 敏子			実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ウェディングシステムを使用し、打合せ全体を把握する			授業形態	講義	
到達目標	ブライダルプランナーとしての接客に於ける接客トーク演習とシステム操作					
使用テキスト	RWA(システム)制作コンテンツ保存用USBメモリー各自持参					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	・パソコンID セットアップ方法 ・後期授業スケジュールの説明とシステム活用方法の説明				
2回	ブライダルのABC	ブライダル用語とは ・挙式スタイルの分類(RWA-A) ・披露宴スタイルと一般的な流れ(RWA-B)				
3回	日本におけるブライダル	・ブライダルの歴史 ・ブライダルに関連した日本・外国の習慣・しきたり(RWA-A・B) ・今のブライダルの主流				
4回	ブライダルにおける接客 Vol. 1	・挙式スタイルの提案(RWA-A)				
5回	ブライダルにおける接客 Vol. 2	・披露宴スタイルの提案(RWA-A)				
6回	ブライダルアイテム1	・料理 RWA-A ・装花				
7回	ブライダルアイテム2	・衣装 RWA-A ・美容 ・演出・写真				
8回	ブライダルサービス実務 Vol. 1	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (資料請求対応～フェア内容・会場案内)				
9回	ブライダルサービス実務 Vol. 2	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (仮予約・本予約・規約説明・申込み手続き)				
10回	ブライダルサービス実務 Vol. 3	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (婚礼打合せ～アイテム紹介)				
11回	ブライダルサービス実務 Vol. 4	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (婚礼打合せ～発注・手配・最終確認)				
12回	ブライダルサービス実務 Vol. 4	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (挙式当日～挙式以降の業務)				
13回	ブライダルサービス実務 まとめ	・ブライダル用語の理解 ・敬語の使い分けの理解				
14回	後期まとめ	14回の週に実施				
15回	ブライダルサービス実務 に必要な接客マナー Vol. 2	・クレーム対応とコンプレの実例 ・お客様対応の留意点 ・プランナーを目指す方へ伝えたいこと(講師より)				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	英語面接対策			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英語面接の基礎知識、面接を成功させるためのテクニックを学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	実践で使える自分用のシュミレーションパターンを作成、暗記する					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	面接を成功させるためのテクニック		挨拶の仕方、丁寧な言葉づかい、相づち等、状況に応じた意思表示の仕方を英語でできるようになる			
2回	趣味や余暇で「自分らしさ」をうまくだそう		趣味や余暇の過ごし方について、面接に効果的なモデルパターンを知る 自分の長所や短所 学校生活、成績、英語力			
3回	仕事(バイト、実習)の話題を膨らませよう		ホテルの仕事内容や、出来事を英語で説明できるようになろう 実習体験			
4回	仕事(バイト、実習)の話題を膨らませよう		志望動機 将来の夢			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	コンシェルジュ			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	コンシェルジュを含むフロント・オフィス業務についての基本知識を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	予約からチェックアウトまでの流れを理解し接客スキルを磨く					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊Iフロントオフィス編					
成績評価方法	・期末試験50%、実技・レポート50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期復習		前期復習			
2回	レセプション業務		チェックアウト業務 ナイト業務			
3回	レセプション業務		デイリールームレポート			
4回	レセプション業務		デイリールームレポート			
5回	フロントキャッシャー業務		ホテルビル サービス料と税金 宿泊料金計算			
6回	フロントキャッシャー業務		宿泊料金計算 外貨両替			
7回	フロントキャッシャー業務		清算手順と方法			
8回	フロントキャッシャー業務		清算手順と方法			
9回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技			
10回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技			
11回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技(評価)			
12回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技(評価)			
13回	コンシェルジュ		コンシェルジェの歴史 レクレドール コンシェルジェの業務			
14回	コンシェルジュ		インフォメーションの種類と手順 防犯業務			
15回	コンシェルジュ		後期まとめ			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	ホテルマネジメント			クラス	E
担当講師(フルネーム)	秋葉 優美			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテル業界を中心に「マネジメント業務」の応用知識、実務知識を学ぶ 演習を中心にアウトプットする力を身につける			授業形態	講義
到達目標	マネジメント業務の応用知識を習得し、社会で役立つ力を身につける				
使用テキスト	ホテル・マネジメント ベーシック、他配布プリント。グループワークでは色鉛筆、ノート、調べ学習では携帯を使用します				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト、ノートチェック含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方、評価方法について説明する マーケティングとは何か、販売とマーケティングの違いについて学習する			
2回	マーケティング	マーケティングの視点でマネジメントを捉える 客層別マーケティング、時間帯別マーケティングなど様々な視点でのマーケティングを学習する			
3回	商圏設定とプロモーション①	商圏とは何か、立地やマーケティングリサーチからプロモーションについて考える グループワーク			
4回	商圏設定とプロモーション②	商圏から考える様々なプロモーションについての企画立案ワーク			
5回	ディスプレイとカラーマネジメント①	店舗マネジメントに必要なディスプレイについて学習する 色の効果やカラーの知識を習得する			
6回	ディスプレイとカラーマネジメント②	店舗マネジメント・運営に必要なPOP制作について学習する POP、キャッチコピーワーク			
7回	小テスト	マーケティング、プロモーション、ディスプレイ、カラーについての小テスト			
8回	損益計算書と予実管理①	前期で学習した財務会計の知識を基に、損益計算書と予実管理を読み解く 練習問題			
9回	損益計算書と予実管理②	前期で学習した財務会計の知識を基に、損益計算書と予実管理を読み解く 練習問題			
10回	人材マネジメントと福利厚生・給与体系	前期で学習した人材マネジメントの知識を基に、企業の福利厚生や給与体系について学習する 企業の取り組みについて調べ学習する			
11回	人材マネジメント	マネージャーの立場から人材マネジメントについて考える 人材マネジメント演習ワーク			
12回	経営マネジメント	経営の観点から法令知識について学習する 販売活動に関する法規・特定商取引法・販売促進に関する法規・個人情報保護法・環境基本法			
13回	企業サーチ演習	これまでの学習を踏まえ、マネジメントの視点から企業の取り組みについて調べ学習する グループワーク			
14回	期末テスト	期末テスト			
15回	総まとめ・振り返り	期末テストの振り返り、前期の総まとめ			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	フランス語			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	ニコラ ドゥ メニス			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	フランスで旅行が出来るために、簡単な質問と答えを増やす。 フランス語でフランスの文化を学んで、フランスに興味を作る。			授業形態	講義 & 演習	
到達目標	主に、皆さんが楽しく色んな勉強をしながら、フランスの文化を学ぶ。					
使用テキスト	Pascal au Japon & Spirale					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	フランスの文化	前期の復習 フランス人はどんな夏休みを過ごすのをフランス語でプレゼンテーション。 2回目のために、皆さんの夏休みを一言お話を話してもらいます。				
2回	過去形 1	皆さんの夏休みについて話してもらいます。 過去形の文法を勉強します。				
3回	過去形 2	過去形を使うロールプレイ・ゲームします。 最後に、ミニテストします。				
4回	フランスへ旅行 1	旅行出来るために、飛行機、電車などの法乗り方を勉強します。 数字の復習・時間・お会計の勉強します。 フランスやヨーロッパのサービス文化を学びます。				
5回	フランスへ旅行 2	旅行出来るために、ホテルの予約やチェックイン、レストランの注文を勉強します。 ロールプレイをしながらフランス料理の興味を作ります。 フランスやヨーロッパのサービス文化を学びます。				
6回	フランスへ旅行 3	ミニテスト 旅行にいいあるトラブルを解決出来るために新しい文法を勉強します。 フランスやヨーロッパのサービス文化を学びます。				
7回	プレゼンテーション 1	2-3人のグループで、フランスの有名な建物などのプレゼンテーションをつくります。 フランスやヨーロッパの文化・を学びます。				
8回	プレゼンテーション 2	作ったプレゼンを皆さんに見せます。 フランスやヨーロッパの文化・を学びます。				
9回	未来形 1	未来の文法を勉強します。 未来のお話します。				
10回	未来形 2	未来形を使って自分の目的やプランを話します。 グループでロールプレイします。				
11回	意見 1	ミニテスト フランス語の景色を紹介されるビデオを見て、自分の意見を言います。				
12回	意見 2	グループで、フランス語を使って自分に合う旅行のプランを作ります。				
13回	まとめ	今年勉強しましたフランス語をまとめて、テストに向けて復習します。				
14回	テスト	授業中に実施				
15回	映画	リストから見たい映画を選んで見ます。 (レジットテスト)				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテル プライダル科	
科目名	Web広告戦略			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	児玉 のりこ			実務経験	有(プライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	SNS各種の広告を想定した動画作成、Webサイトの構成、ターゲットと広告の学習、サイト制作実践に取組みます。 他にもPCのできる事を色々学習していきます。			授業形態	講義&演習	
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・課題提出70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	スケジュール確認、タイピング練習 ファイルの保存、管理、提出方法について 前期の復習、ファイル種類、拡張子の違い画像の取得方法				
2回	動画(GIF)制作①	広告ターゲット、ペルソナについて考える 構成アイデアワーク・発表・動画編集、デザインレイアウト 動画広告について				
3回	動画(GIF)制作②	課題作成① Instagramのストーリー投稿を想定して作成 動画(GIF)編集・テキスト挿入				
4回	動画制作③	課題作成②-1 商品紹介動画作成				
5回	動画制作④	課題作成②-2 商品紹介動画作成				
6回	バナーについて①	canvaで実際にバナーを作りましょう。 色々なWebサイトを見てどんなバナーがあるか調査してみましょう。				
7回	バナーについて②	canvaで実際にバナーを作りましょう。 テーマ別にバナーを作成				
8回	広告とEC業界	EC業界とweb広告の増加についてワーク 今後の広告業界について				
9回	Webサイト 検証	各業界のwebサイト作り方を比較 人気サイトの理由を考えるワーク・発表				
10回	Webサイトを 作ってみましょう①	ペライチ登録・webサイト作成 ターゲット・ペルソナ選定 デザイン構成を考える・アイデアディスカッション				
11回	Webサイトを 作ってみましょう②	webサイト作成 課題②配色について				
12回	Webサイトを 作ってみましょう③	webサイト作成 課題③キャッチコピー・ライティングについて				
13回	Webサイトを 作ってみましょう④	webサイト作成 課題④写真について				
14回	Webサイトでディスカッション	完成したWebサイトをチーム毎に発表、ディスカッション サイト作成を通して、広告について感じたこと・学んだこと・気づきを発表				
15回	Webサイト 振り返り	seo対策・公開後の分析・解析について 公開する手順説明・HTML・CSSを学習				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	Eクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活だけでなく、ホテルで使う語彙や会話表現を学びオンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語をホテルでの接客に活かせるようにする					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	授業・レッスン評価 60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	絵で見てパッと英会話	提案①				
2回	絵で見てパッと英会話	提案②				
3回	おもてなし英語	周辺案内				
4回	絵で見てパッと英会話	スモールトーク①				
5回	絵で見てパッと英会話	スモールトーク②				
6回	おもてなし英語	日本の文化・習慣を伝える				
7回	絵で見てパッと英会話	観光の計画①				
8回	絵で見てパッと英会話	観光の計画②				
9回	おもてなし英語	トラブル・クレーム対応				
10回	絵で見てパッと英会話	日本を案内する①				
11回	絵で見てパッと英会話	日本を案内する②				
12回	おもてなし英語	電話対応				
13回	絵で見てパッと英会話	日本を案内する③				
14回	絵で見てパッと英会話	日本語案内する④				
15回	おもてなし英語	チェックアウト				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ユニバーサルサービス			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介護知識を身につける			授業形態	講義&演習	
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ユニバーサルデザインについて考える 身近なユニバーサルデザインを学ぶ				
2回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める				
3回	視覚障害者へのサービス②	視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 全盲体験をする 体験から学んだことを共有する				
4回	視覚障害者へのサービス③	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ ホテル内を想定し案内する				
5回	視覚障害者へのサービス④	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ ホテル内を想定し案内する				
6回	聴覚障害者へのサービス①	聴覚障害者の基本知識を習得する 聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 体験から学んだことを共有する				
7回	聴覚障害者へのサービス②	様々なコミュニケーション方法を学ぶ 筆談でチェックイン業務を行う				
8回	高齢者へのサービス①	高齢者についての基本知識を習得する 高齢社会について考える 加齢に伴う心身の変化を理解する				
9回	高齢者へのサービス②	認知症についての基本知識を習得する 認知症の症状を学ぶ 高齢者への接客を学ぶ				
10回	知的・発達・精神・言語障害のある方	知的・発達・精神障害についての基本知識を習得する 知的・発達・精神障害者への接客を学ぶ				
11回	内部障害のある方	内部障害についての基本知識を習得する 内部障害者への接客を学ぶ				
12回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方	妊娠中の方についての基本知識を習得する 小さなお子さま連れの方への接客を学ぶ 施設や店舗で喜ばれるサービスを考える				
13回	肢体障害者へのサービス①	肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する 車椅子の種類と基本操作を学ぶ 校内を自走する				
14回	肢体障害者へのサービス②	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく ホテル内を想定し案内する				
15回	肢体障害者へのサービス③	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく ホテル内を想定し案内する				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	手話			クラス	Eクラス	
担当講師(フルネーム)	鶴田 由香			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	聴覚障害について理解を深め、聴覚障害のお客様とコミュニケーションのあり方を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	手話での簡単な日常会話と接客法 (希望者 手話検定取得)					
使用テキスト	今すぐ始める手話テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	聴覚障害者と手話	聴こえないとは 聴覚障がい者をとりまく環境と状況				
2回	伝えあってみましょう	物の形や身振り表情でコミュニケーション あいさつ				
3回	伝えあってみましょう	自己紹介 なまへの表し方・指文字				
4回	伝えあってみましょう	人物の表し方・家族の紹介				
5回	数字を使って話しましょう	数の表し方・数に関する接客手話 感情の表現				
6回	手話で表現してみよう	自分のことを手話で伝えてみよう 趣味について				
7回	行きたい場所は	都道府県の手話 疑問詞				
8回	病気やケガの時	緊急時の対応 病気の表現				
9回	天気と交通手段	住所と交通手段の表現				
10回	買い物やお金に関する手話	買い物の時のコミュニケーション方法				
11回	聴覚障害とは	ろう者の生活を知ろう				
12回	接客手話を覚えよう	アルバイトや職場で使う手話				
13回	接客手話を覚えよう	接客手話でロールプレイング				
14回	実技試験					
15回	まとめ	手話学習のまとめ				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	フレッシュャーズ教育			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	授業を通して社会人になった際の知識(考え方、動き方含む)を事前に身につける			授業形態	講義	
到達目標	社会人としての基礎知識を身に付けるとともに、困難を楽しく生き抜く力を養う					
使用テキスト	適宜プリント					
成績評価方法	週ごとの課題提出 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	イントロデュース		授業のすすめかた			
2回	社会人生活術 (安部先生)		知ってて当たり前、できて当たり前の社会人常識			
3回	マネーセミナー (安部先生)		資産運用のABC(預金・株・投資信託・iDeCo・仮想通貨等)			
4回	マネーセミナー (安部先生)		賢い納税対策(ふるさと納税・年末調整)			
5回	副業と転職 (安部先生)		副業はOKなの? 上手に転職(メリット・デメリット・職務経歴書の書き方)			
6回	若者が狙われる詐欺 (司法書士 寺山様)		身を守るための法律講座 知っておきたい契約の話			
7回	交流会準備		グループワーク 留学生から各国の事情と文化を聴こう			
8回	異文化交流		グループごとに交流会 留学生をおもてなし			
9回	アングーマネジメント		あなたの怒りのタイプを知る 上手な怒り方			
10回	ストレスマネジメント (山本先生)		ストレスコントロールを学ぶ			
11回	自分の世界を広げる (山本先生)		興味を広げて、楽しいことを増やそう 紅茶の世界			
12回	発表準備		決まったテーマごとにグループ分け 発表準備			
13回	発表		発表			
14回	発表		発表			
15回	発表&まとめ		発表 優秀賞決定			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	観光産業概論			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	旅行会社から見たホテル。旅行会社との繋がりから観光業界を知る。			授業形態	講義&演習	
	観光素材である移動手段(鉄道・航空)・観光地理を学ぶ。					
到達目標	観光についての知識を習得する。					
使用テキスト	講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(授業態度・出席率・小テスト・提出物含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の進め方／評価方法 ・「観光」の意味／観光業界のトピックス／観光の歴史 ※シラバスを持参してください				
2回	旅行とホテル	・旅行会社から見たホテル ・旅行会社の仕組み(企画・手配・収入)・業界用語 ・観光業界のおもてなし				
3回	国内の交通①	・JR(旅客鉄道株式会社)線 ・全国7つの新幹線と接続する特急列車・九州の「D&S」列車				
4回	国内の交通②	【演習】 ・JR時刻表を使ってみよう				
5回	国内の交通③	・国内の空港・航空会社を知る ・営業規則(国内大手2社)				
6回	国内の交通④	【演習】 ・航空予約端末「アマデウス」を使ってみよう。				
7回	観光地理①	・国内の地域区分 ・九州(福岡県・佐賀県・長崎県)の観光地・名産品を学ぶ ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
8回	観光地理②	北海道・沖縄県 ・北海道・沖縄の地域・交通・気候 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
9回	観光地理③	東京都・大阪府・京都府 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
10回	観光地理④	・海外旅行の基礎知識・地勢 ・時差・言語・宗教・文化の違い				
11回	観光地理⑤	韓国・東南アジア(タイ・マレーシア・シンガポール) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
12回	観光地理⑥	英国(イギリス)・フランス ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
13回	観光地理⑦	ドイツ・スイス・オーストリア・チェコ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
14回	観光地理⑧	アメリカ・ハワイ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
15回	まとめ	・授業の振り返り、まとめ				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	社会情勢研究			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	前田恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	新聞を用いて話題性の高い時事ニュースを読み解く			授業形態	講義	
到達目標	時事ニュースについて自分の意見を述べられるようになる					
使用テキスト	オリジナルプリント					
成績評価方法	・期末試験 50% 平常点 50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ニュースの発信源		・授業の進め方、評価方法について理解する ・新聞を読む意義を理解する・授業の進め方、評価方法について理解する ・日本および主要国の新聞社、通信社を知る			
2回	新聞の構成		・新聞の構成を知る ・新聞から必要な情報を探し出せるようになる			
3回	時事を学ぶ①		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
4回	新聞研究①		・記事をジャンル分けできるようになる ・記事の要旨を「5W1H」を意識してまとめられるようになる			
5回	時事を学ぶ②		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
6回	新聞研究②		・難解な語彙を調べながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨とともに、自分の意見も述べられるようになる			
7回	時事を学ぶ③		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
8回	新聞研究③		・記事の背景を理解しながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨を自分の意見とともに発表できるようになる			
9回	時事を学ぶ④		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
10回	新聞研究④		・興味の幅を広げて、記事を読むことができる ・発表内容を聞き、要旨を理解することができる			
11回	時事を学ぶ⑤		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
12回	新聞研究⑤		・グループで研究テーマを決めて、発表準備をする			
13回	新聞研究⑥		・研究テーマについてグループで発表準備をする			
14回	新聞研究⑦		・グループごとに研究発表をする			
15回	新聞研究⑧		・グループごとに研究発表をする			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	着付け演習			クラス	E選択	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	着物のたたみ方や小物の名称などを覚える 着付けの練習			授業形態	実技	
到達目標	自装と他装で名古屋帯が結べるようになる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	出席率100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	着物	座礼で挨拶 備品の取り扱い方の注意点 着物と腰紐をきれいにたためるようになる 腰ひもを結ぶまで				
2回	着物	前回の復習 衿合わせ～伊達締めまで				
3回	半幅帯	半幅帯の結び方を覚える(文庫) 自装 他装				
4回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(他装) お太鼓を作るまで				
5回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(他装) 帯揚げ、帯締めの結び方をマスター				
6回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(自装) ひたすら練習				
7回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(自装) ひたすら練習				
8回	総まとめ	自装で着付けをして、お互いを手直し トータルコーディネートをして写真撮影				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	ブライダルコーディネーター検定対策			クラス	E選択	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	2023年1月25日(水)実施のブライダルコーディネーター技能検定の合格を目指しつつ、ブライダルの歴史や業務に関する基礎知識を身に付ける			授業形態	講義	
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級に合格					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・毎週の課題提出 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	イントロデュース		試験概要 授業の進め方、評価の仕方の説明			
2回	過去問題を解く		約10年分の過去問題を解き、解答&解説を行う 挙式について復習			
3回	過去問題を解く		約10年分の過去問題を解き、解答&解説を行う ウェディングドレスの種類とデザインの復習			
4回	過去問題を解く		約10年分の過去問題を解き、解答&解説を行う 結納について復習			
5回	過去問題を解く		約10年分の過去問題を解き、解答&解説を行う ブライダルにまつわる西洋の習慣について学ぶ			
6回	過去問題を解く		約10年分の過去問題を解き、解答&解説を行う 実技試験に向けて対策			
7回	模試		2021年度過去問題に挑戦 解答&解説			
8回	模試の復習		今年度のブライダルニュースの振り返り 予想問題にチャレンジ			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	HRS実技セミナー			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	レストランサービス技能検定(3級)の実技試験合格に向けて、最後の追い込みをかける。			授業形態	実技	
到達目標	レストランサービス技能検定(3級) 全員合格					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 (RもしくはI単位認定)				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	実技試験に向けての練習	2022年度 HRS試験(実技)課題の説明・デモンストレーション・練習				
2回	実技試験に向けての練習	反復練習				
3回	実技試験に向けての練習	反復練習				
4回	実技試験に向けての練習	反復練習				
5回	実技試験に向けての練習	反復練習				
6回	実技試験に向けての練習	反復練習				
7回	実技試験に向けての練習	反復練習				
8回	実技試験に向けての練習	反復練習				

エアライン

学年	科目名	クラス
1	航空業界研究	O
1	エアカーゴ概論	O
1	ペン字	O
1	就職活動講座	O
1	コミュニケーションイングリッシュ	O
1	空港実務	O①
1	グランドハンドリング	O②
1	CA受験対策	O③
1	アマテウスアルテア	O①
1	ユニバーサルサービス	O①
1	危険物取扱試験対策	O②
1	TOEIC	O③
1	グランドハンドリング概論	O①
1	空港実務	O②
1	ブラッシュアップ講座	O③
2	航空機概論	QW
2	観光地理	QW
2	コミュニケーションイングリッシュ	QW
2	社会情勢研究	QW
2	フレッシュアズ教育	QW
2	コンピュータ	Q
2	アマテウスアルテア	Q①
2	TOEIC	W
2	エアラインゼミ	W

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界研究			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空会社及び関連会社の事業論・現業論について学ぶ 航空輸送の現状について学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	航空業界の全体を理解し、就職活動に役立つ知識を習得する					
使用テキスト	エアライン・ビジネス入門(第2版)・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		後期授業内容(授業の進め方・成績評価方法)を具体的に説明する 前期授業内容(航空業界の歴史・航空会社の仕事)を復習する 航空会社の今後の動向について説明し学ぶ			
2回	航空会社の商品		航空会社の商品の特性について学ぶ 航空運賃(国内運賃と国際運賃)について学ぶ 航空会社の商品の販売手法について学ぶ			
3回	航空会社の関連事業		旅客サービス会社について学ぶ 航空機のグランドハンドリング関連会社について学ぶ 周辺事業会社(ケータリング・ホテル・旅行・商事流通)について学ぶ			
4回	航空機運航情報		運航スケジュールの見方(FLT NUMBER等)について学ぶ 飛行機の登録番号(SHIP NUMBER)について学ぶ フライトオペレーションでのブリーフィング内容、等について学ぶ			
5回	空港業務		旅客ハンドリング業務について学ぶ ステーション・オペレーション業務について学ぶ グランドハンドリング業務について学ぶ			
6回	航空貨物輸送		航空貨物輸送の歴史について学ぶ 航空貨物輸送の概要について学ぶ 日本発着の国際航空貨物について学ぶ			
7回	運航・航空機整備		運航乗務員の概要について学ぶ エアラインの航空機整備の概要について学ぶ			
8回	世界のエアライン		エアラインを取り巻く環境について学ぶ エアライン発展の一世紀について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
9回	世界のエアライン		北米・中南米・ヨーロッパのエアラインについて学ぶ アジア・中東・オセアニア・アフリカのエアラインについて学ぶ 日本航空と全日空、新しいエアラインの動向について学ぶ			
10回	日本の航空輸送		日本の航空輸送の変遷について学ぶ 日本の航空輸送の今後の課題について学ぶ			
11回	世界の航空輸送		世界の航空輸送の歴史について学ぶ 世界の航空輸送の枠組みについて学ぶ 国際旅客輸送の現状について学ぶ			
12回	空港の基本構造		空港の基本構造について学ぶ 現代の空港ターミナルビルの構造について学ぶ 日本の空港、ランウェイデータについて学ぶ			
13回	航空業界用語		航空機・運航・整備・空港施設・取り扱い関係用語について学ぶ 飛行機の座席、構造に関する用語、航空一般用語について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
14回	期末試験		飛行機が飛び立つまでの手順(プッシュバックから離陸まで)について学ぶ 期末試験を実施			
15回	まとめ		期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	エアカーゴ概論			クラス	0クラス	
担当講師(フルネーム)	秦 隆益			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	①国内・国際貨物、郵便取扱い業務およびロードコントロール業務を経験 ②航空貨物取扱い全般に加えてその他付随する他業務について講義			授業形態	講義&演習	
到達目標	航空貨物取扱いについての基礎知識を学ぶことにより、航空業務への視野を広げる					
使用テキスト	エアカーゴマニュアル 資料プリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	貨物の輸送形態	<ul style="list-style-type: none"> ・前期振り返り ・貨物受託基準 ・保管基準 ・荷役作業基準 ・積付基準 ・取扱いラベルの説明 				
2回		<ul style="list-style-type: none"> ・重量分散 ・タイダウン要領 				
3回		<ul style="list-style-type: none"> ・運航重量の算出 ・重量差異の確認 ・搭載指示書 ・通気が必要な動物取扱い 				
4回	危険物輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物の分類 ・航空郵便として輸送可能な危険物 ・申告漏れになりがちな危険物(隠れた危険物) 				
5回		<ul style="list-style-type: none"> ・危険物受託要件 (申告書・IATA規則書・ラベリング・マーキング・運送状・受託チェックシート) 				
6回		<ul style="list-style-type: none"> ・少量危険物 ・微量危険物 ・CAO ・搭載基準 ・隔離基準 				
7回		<ul style="list-style-type: none"> ・運航部門への通知 ・機長への通知 ・危険物事故処理要領 ・危険物に起因する事故事例紹介 				
8回	イレギュラーケース	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物損傷、紛失 ・ダイバート、オフロード、欠航時の対処 ・事故の種類、要因等と損害賠償 				
9回	ロードプラン	<ul style="list-style-type: none"> ・WIDE/NARROW機の特徴 ・搭載計画書を作成する上での注意点 (搭載基準・隔離基準) 				
10回		<ul style="list-style-type: none"> ・ロードプラン演習 (WIDE/NARROW機) 				
11回	ウェイト&バランス	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト&バランスの概要 ・ウェイト&バランスの目的 				
12回		<ul style="list-style-type: none"> ・用語の説明 ・重量の構成、重心位置、運用限界 				
13回		<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト&バランスシート作成(演習) 				
14回	後期のまとめ / 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業のまとめ ・期末試験 				
15回	期末試験の解説	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験解答用紙の返却 ・期末試験の解説 ・1年間のまとめ 				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科
科目名	ペン字			クラス	0
担当講師(フルネーム)	青木初恵			実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ			授業形態	講義&演習
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通じて社会人としての教養を身につける。				
使用テキスト	オリジナルテキスト・ペン2種類・下敷き・筆ペン				
成績評価方法	提出物70%、小テスト、授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ		授業内容		
1回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字を書くための基本～姿勢、ペンの持ち方・種類 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ① 自分の名前～配字配列			
2回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②			
3回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③			
4回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ④ 文字(片仮名・平仮名)のバランスの取り方を学ぶ			
5回	履歴書の書き方①	文字を書くための基本 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習(配字・配列の復習)			
6回	履歴書の書き方②	履歴書オリジナル資料を参照にして下書きを作る 名前・住所・学歴・免許・資格など			
7回	履歴書の書き方③	履歴書～まとめ 履歴書を1枚仕上げる一提出			
8回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒の書き方と書式 お礼状を入れる封筒(和封筒長形4号)の書き方一人・企業宛の書き分け①			
9回	実用書を学ぶ②	封筒の書き方と書式 大切な書類を入れる封筒(長形3号)の書き方一人・企業宛の書き分け②			
10回	実用書を学ぶ③	封筒の書き方と書式 履歴書が入るサイズの封筒(角形2号)の書き方一人・企業宛の書き分け③ 履歴書が入るサイズの封筒(角形2号)の書き方一差出人(自分の住所・氏名の練習)			
11回	実用書を学ぶ④	封筒まとめ 小テスト 色々な封筒の書き分けと共通点			
12回	実用書を学ぶ⑤	手紙文の書き方 内定後のお礼状の書き方一縦書きの書式 ～お礼状によく出てくる漢字の書き取り練習 お礼状を便箋に書く			
13回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書と行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス			
14回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方			
15回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方 まとめ			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	小林俊也/脇山奈津美			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を実施			授業形態	講義	
到達目標	深堀にも対応できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	「専門学校生のための就職内定基本テキスト」または適宜プリント配布					
成績評価方法	授業態度、提出物、身だしなみ、出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		業界求人動向 1年次前期の面接対策の振り返り 自己PR発表			
2回	模擬面接		グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック			
3回	模擬面接		グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック			
4回	模擬面接		グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック			
5回	模擬面接		企業説明会参加時の心構え コンピテンシー面接についての説明 頻出質問について			
6回	模擬面接		グループ面接(応用) フィードバック			
7回	模擬面接		グループ面接(応用) フィードバック			
8回	模擬面接		グループ面接(応用) フィードバック			
9回	模擬面接		エントリーシート・履歴書作成の仕方 志望動機の書き方			
10回	模擬面接		WEB面接・動画作成について 志望動機、自己PR、ガクチカ確認			
11回	模擬面接		グループ面接 フィードバック			
12回	模擬面接		グループ面接 フィードバック			
13回	後期試験		グループ面接 フィードバック			
14回	模擬面接		グループ面接 フィードバック			
15回	就職活動に向けて		自身の将来の夢(理想の社会人像、キャリアプラン)について発表 就職活動全般の質疑応答			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学びオンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	絵で見てパッと英会話	Scene 8:感想(1)				
2回	絵で見てパッと英会話	Scene 8:感想(2)				
3回	おもてなし英語	空港:出発ゲートの業務				
4回	絵で見てパッと英会話	Scene 9:ほめる(1)				
5回	絵で見てパッと英会話	Scene 9:ほめる(2)				
6回	おもてなし英語	空港:預け入れ荷物の返却				
7回	絵で見てパッと英会話	Scene 10:気づかう				
8回	絵で見てパッと英会話	Scene 11:依頼				
9回	おもてなし英語	空港:よく聞かれる質問				
10回	絵で見てパッと英会話	Scene 12:提案(1)				
11回	絵で見てパッと英会話	Scene 12:提案(2)				
12回	おもてなし英語	機内:搭乗時				
13回	絵で見てパッと英会話	Scene 13:スモールトーク(1)				
14回	絵で見てパッと英会話 スピーキングテスト	Scene 13:スモールトーク(2) スピーキングアセスメント				
15回	おもてなし英語	機内:離着陸時				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	空港実務			クラス	0①	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国際線におけるお客様の流れを学ぶ サービスについて考え、接客を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	国際線の基礎を理解し、接客スキルを身につける					
使用テキスト	ANAグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション海外の空港		授業の目的、進め方、成績評価方法について 前期の復習 海外の空港について学ぶ			
2回	海外の航空会社①		海外の航空会社について学ぶ 各社の特徴やサービスを研究する			
3回	海外の航空会社②		各社の特徴やサービスを研究し、発表する			
4回	航空専門用語①		専門用語や略語について学ぶ どのような場面で使われるか理解する			
5回	航空専門用語②		専門用語や略語について学ぶ どのような場面で使われるか理解する			
6回	出入国書類		パスポートやビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ			
7回	CIQ①		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ			
8回	CIQ②		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ			
9回	アライアンス		3つのアライアンスについて学ぶ 各アライアンスの加盟航空会社を学ぶ アライアンスに加盟するメリットを理解する			
10回	保安		アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ 全日空機ハイジャック事件について学ぶ 安全に対し、より一層理解を深める			
11回	予約・発券業務①		アマデウス等を使って接客をする			
12回	予約・発券業務②		アマデウス等を使って接客をする			
13回	イレギュラー クレーム		不可抗力と会社都合による欠航、遅延について学ぶ イレギュラー時のハンドリングについて学ぶ クレームについて理解を深め、対応のポイントを学ぶ			
14回	期末試験		試験 1年間の復習			
15回	まとめ		テスト返却、フィードバック 就職活動について			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	グランドハンドリング(後期)			クラス	○選択	
担当講師(フルネーム)	松下 良朗			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日々進歩している航空機地上業務・航空輸送業務に対応する知識を習得する 航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する			授業形態	講義	
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする					
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期授業振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・前期授業の振り返り ・後期授業の説明 				
2回	機体サービス作業	<ul style="list-style-type: none"> ・機体空調サービス(低圧空気)の供給作業について概要を説明する。 ・機体電源供給作業の操作方法。サービスパネルの位置について学ぶ。 ・エアスターター(高温高圧空気)供給作業について概要を説明する。 				
3回	客室サービス作業	<ul style="list-style-type: none"> ・客室クリーニングの種類、作業者の訓練・資格について学ぶ ・客室用品の搭載取り卸しとセッティングについて概要を説明する ・客室用品の補充・受け入れ作業について概要を説明する 				
4回	燃料搭載作業	<ul style="list-style-type: none"> ・航空燃料(ジェット燃料)について学ぶ ・搭載量(燃料オーダー)・給油方法(フューエー方式・ハイドランド方式)について学ぶ ・燃料搭載作業手順について理解する。 作業のための資格について知る 				
5回	機体の防雪・防水作業	<ul style="list-style-type: none"> ・一般 防除雪氷液の種類性能について学ぶ ・ホールドオーバータイムの意味・変化する要因 ガイドラインに示された気象条件について学ぶ ・フローオフの特性・防除雪氷について学ぶ 				
6回	ヘリコプター/小型航空機のグランドハンドリング	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコプター-の飛行の仕組みを知る ・グランドハンドリング概要 ・ヘリの構造 小型機の概要 適用 				
7回	航空危険物	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載従事者のための航空危険物1 航空輸送に関する法規 危険物輸送の概要 危険物の定義を学ぶ 				
8回	航空危険物	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載従事者のための航空危険物2 輸送禁止品目 放射性物質の輸送 旅客に対する援助規定を理解する 				
9回	空港管理規定	<ul style="list-style-type: none"> ・制限区域内安全管理規定・エプロン運用要領・保安管理規定・危機管理について学ぶ ・模擬試験(制限区域内車両試験) ・GRID MAP 				
10回	グランドハンドリング作業	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載取り卸し作業の実務を学ぶ ・貨物機の搭載/取り卸し準備/器材の取り扱いB/BL/C/P ・貨物機の取り卸し/搭載 ・ULD DIM 特殊搭載方法 F/P方式 機内積み付け方式 				
11回	グランドハンドリング作業	<ul style="list-style-type: none"> ・地上支援器材の取り扱いについて(概要・トパー牽引車 トパーレス牽引車)について学ぶ ・トパー・ダミーSHIP ・車両取り扱い PSC/CS/MDL/MDT/HLB/ BL/TC/TT/FT 				
12回	グランドハンドリング作業	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載取り卸し作業GRAND SERVICE EQUIPMENTの取り扱いを知る ・機種別CGO DOOR取り扱いを知る ・構造を学ぶ ・PBB取り扱い(機能と仕組み)について学ぶ 				
13回	グランドハンドリング作業	<ul style="list-style-type: none"> ・テールスタンション/テザリングの取り扱いを知る ・メインデッキハンドリングシステム/NOSEドア・サイドカーゴドアのOPEN/CLOSE ・重量分散 エリアロード/リニアロード 				
14回	グランドハンドリング作業	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ 授業全体を通し、グランドハンドリング会社の実際の映像(参考資料)を視聴し、航空機の発着及び作業の流れを理解する。 				
15回	授業まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・社会人への心構え ・フィロソフィ教育を学ぶ。 				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策			クラス	O③	
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	コンピテンシー面接を意識した模擬面接を中心に面接対策を実施			授業形態	講義	
到達目標	質問の意図を理解した回答と深掘りに対応できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・期末試験40% 平常点30% 課題30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・授業の進め方 ・コンピテンシー面接について			
2回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
3回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
4回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
5回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
6回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
7回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
8回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
9回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
10回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
11回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
12回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
13回	後期実技試験		実技試験とフィードバック			
14回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
15回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	O	
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	予約の基礎に加え、応用へと進む。座席指定や機内食・マイルージ登録など複雑なPNR作成を行う。			授業形態	実技	
到達目標	予約操作の応用をマスターする。アマデウスシステム検定「初級」全員合格を目指す					
使用テキスト	amadeusu ユーザーガイド予約 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期復習		後期授業の進め方について(実習者へ・検定受験について・学生便覧にて確認)簡単なPNR作成を行う(直行・乗継ぎ・オプション指定含む)DNEエントリー入力(機材の大きさチェック)			
2回	前期復習Ⅱ		小児・幼児を含む、PNR作成を行う PNRの完了後の画面確認(ステイタスコードの確認)・抽出の復習を行う			
3回	予約変更と取消		予約便の変更(SB入力) 予約便の取り消し(XE・XI入力)			
4回	旅客データ訂正		旅客氏名の入力(ヘボン式確認)と氏名変更について 連絡先(TEL)・発券期限の訂正			
5回	ダイレクトアクセス		ダイレクトアクセスとは何かを学ぶ ダイレクトアクセス空席照会とAN(空席照会)の違いは何かを理解する マリッドセグメントとは何か、PNR完了後の画面確認を行う			
6回	その他・便利入力		便利入力(キーボード・画面履歴・スピードマスター)を使用して、PNR操作処理を高める オープンセグメント予約を行う			
7回	SSR入力		SSRとは何か(概要)を学ぶ 機内食入力について概要説明、メインの食事サービスコードを覚える 機内食入力を含む、PNR作成を行う			
8回	中間試験		中間試験実施(※後期成績評価対象となる)			
9回	SSR入力Ⅱ		SSRにてメールアドレス入力を行う シートマップからの(グラフィックページにて)座席配列や有料・無料座席を確認する 座席指定(座席番号指定)を含む、PNR作成を行う			
10回	SSRの追加と取消		今まで学んだ様々なSSRをPNRに追加する SSRの取消も行う			
11回	その他・特別な入力		マイルージサービスとは何かを学び、FFP入力を含むPNR作成を行う OSIとは何かを学ぶ(PNRとの関連付けやSSRとの違いを理解する) 完成したPNR構成中のOSIやSSR表示の意味を理解する(何のために入力されているのか)			
12回	検定対策		初めての検定に向けての、心構えを学ぶ 検定対策(過去問題と添削)			
13回	検定対策Ⅱ		検定対策(クラスルーム使用・WEB試験にて検定対策を行う)			
14回	総復習		後期の総復習(検定初級問題の内容に準じて行う) 後期・期末試験対策を行う(前回の検定初級問題)			
15回	期末試験		後期・期末試験の実施			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ユニバーサルサービス			クラス	O①	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介護知識を身につける			授業形態	講義&演習	
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	接客・接客のためのユニバーサルサービス基本テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ユニバーサルデザインについて考える 身近なユニバーサルデザインを知る				
2回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める				
3回	視覚障害者へのサービス②	視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 全盲体験をする 体験から学んだことを共有する				
4回	視覚障害者へのサービス③	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
5回	視覚障害者へのサービス④	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
6回	聴覚障害者へのサービス①	聴覚障害者の基本知識を習得する 聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 体験から学んだことを共有する				
7回	聴覚障害者へのサービス②	様々なコミュニケーション方法を学ぶ 筆談でチェックイン業務を行う				
8回	高齢者へのサービス①	高齢者についての基本知識を習得する 高齢社会について考える 加齢に伴う心身の変化を理解する				
9回	高齢者へのサービス②	認知症についての基本知識を習得する 認知症の症状を学ぶ 高齢者への接客を学ぶ				
10回	知的・発達・精神・言語障害のある方	知的・発達・精神障害についての基本知識を習得する 知的・発達・精神障害者への接客を学ぶ				
11回	内部障害のある方	内部障害についての基本知識を習得する 内部障害者への接客を学ぶ				
12回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方	妊娠中の方についての基本知識を習得する 小さなお子さま連れの方への接客を学ぶ 施設や店舗で喜ばれるサービスを考える				
13回	肢体障害者へのサービス①	肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する 車椅子の種類と基本操作を学ぶ 校内を自走する				
14回	肢体障害者へのサービス②	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				
15回	肢体障害者へのサービス③	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	危険物取扱者対策(選択)			クラス	○	
担当講師(フルネーム)	池内 勝			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得及び危険物取扱全般			授業形態	講義	
到達目標	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得					
使用テキスト	危険物取扱必携法令編及び実務編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	燃焼と消火		物理及び化学の基礎について			
2回	燃焼と消火		物理及び化学の基礎について			
3回	燃焼と消火		危険物の性質 消火方法、消火設備について			
4回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
5回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
6回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
7回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
8回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
9回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
10回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
11回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
12回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
13回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
14回	期末試験対策		後期のまとめ 期末試験対策について			
15回	期末試験		期末試験対策の解説 後期の授業の進め方について			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC			クラス	O③	
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	前期の総復習 Part5	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 品詞以外にも前期に学んだことを生かしてPart5を解く方法を復習する 単語テスト				
2回	分詞の形容詞的用法 &分詞構文 Part4	分詞の形容詞的用法、分詞構文 Part4 Part5 単語テスト				
3回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト				
4回	動詞の形 名詞・冠詞 part6	動詞の形 名詞・冠詞 Part6 Part5 単語テスト				
5回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5 単語テスト				
6回	関係副詞 Part4	関係副詞、関係代名詞と関係副詞の置き換え Part4 単語テスト				
7回	仮定法 Part1&2	仮定法 Part1 Part2 Part5 Part6 単語テスト				
8回	比較級	比較級 Part7 Part5 単語テスト				
9回	模擬テスト (リスニング)	模擬テストリスニング 解答 単語テスト				
10回	模擬テスト (筆記)	模擬テスト筆記 解答				
11回	that節	様々なthatの用法 単語テスト				
12回	リスニング全般	Part1~4 単語テスト				
13回	リーディング全般	Part5~7 単語テスト				
14回	文法総復習	Part5 これまでの文法の総復習 単語テスト				
15回	期末テスト	期末対策&期末テスト				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	グランドハンドリング概論			クラス	O選択	
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に関わる概要を理解する 航空会社が求めるグランドハンドリングの業務内容について学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする					
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方・成績評価方法について説明する グランドハンドリングの歴史と意義について学ぶ グランドハンドリング作業の概念についてFLT例を用い具体的に説明する			
2回	ランプ・イン/アウト作業		誘導業務の内容、要領、訓練方法、資格取得など概略を説明する マーシャリング作業、マーシャラーの心得について学ぶ 航空機トーイング操作、プッシュ・バック要領について学ぶ			
3回	ランプ・イン/アウト作業		ブレーキマンの主要作業と作業上の注意について学ぶ ウォッチ作業(監視作業)、ウォッチマン(監視員)の心得について学ぶ 航空機移動中の安全確保について学ぶ			
4回	搭載・取り出し関連業務		搭載計画(ロード・プラン)作成業務の概要について学ぶ ウェイト・アンド・バランス業務(航空機の重量・機体の重心位置、等)について学ぶ 手荷物・貨物および郵便物の集荷・分別・通関・引き渡し作業と運搬作業について学ぶ			
5回	搭載・取り出し作業		搭載取り出し作業の概要、基本的な考え方について学ぶ 搭載物件(特殊貨物)の取り扱い等について学ぶ 航空機貨物室内における作業上の注意点について学ぶ			
6回	搬出作業一般		機種、機番、スポット、出発時刻(運航スケジュール・モニタ)の確認について学ぶ 貨物・郵便物搬出回数、物量などの情報について学ぶ 手荷物搬出回数、物量等の情報および搬出時の連結台数について学ぶ			
7回	航空機への搭載・取り出し		航空機へのULDの搭載、及びULDの種類とタイプについて学ぶ パレット・コンテナの搭載方法(ハイリフト・ローダ、航空機貨物室内)について学ぶ パルク貨物・郵便物・手荷物の搭載手順について学ぶ			
8回	搭載監督者業務		搭載監督者業務一般、搭載監督者1級・2級の違いについて学ぶ 出発便・到着便の搭載監督者業務(情報の収集、作業指示および確認)について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
9回	旅客乗降ドアの開閉操作		機種ごとの旅客乗降ドアの名称、数について学ぶ 機種ごとの旅客乗降ドアの内部構造、機構とモード機能について学ぶ 旅客乗降ドアの操作方法、機種ごとの違いについて学ぶ			
10回	カーゴドアの開閉作業		機種(旅客機)ごとの貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ 貨物専用機の貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ カーゴ・ドアの操作方法、機種ごとの違いについて学ぶ			
11回	機体・客室サービス業務		機体外部クリーニングの実施時期、種類と作業方法について学ぶ 機内空調サービス・機体電源供給作業について学ぶ 客室クリーニングの種類と客室用品の搭載取り出し作業について学ぶ			
12回	航空機地上支援機材		航空機地上支援機材の概要およびランプ・イン/アウト作業用GSEについて学ぶ 搭載・取り出し作業用GSE(ステップ車・PBB・カーゴローダ等)について学ぶ 搭載・取り出し業務用GSE(ドーリ/カート牽引車・コンテナドーリ等)について学ぶ			
13回	安全・品質管理		安全管理一般(機体付近の安全・高所作業の安全、等)について学ぶ 品質管理一般(航空輸送の品質・サービス、等)について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
14回	期末試験		空港規則(制限区域内の車両安全)について学ぶ 期末試験を実施			
15回	まとめ		期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	空港実務			クラス	O②	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内線・国際線におけるお客様の流れを学ぶ チェックイン業務、ゲート業務、アナウンス業務など実技を交えながら学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	GSの業務を理解し、CAやGHの業務と関連づける					
使用テキスト	ANAグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的、進め方、成績評価方法について 航空業界について GSに求められる人材について考える			
2回	空港		世界の空港について学ぶ 各空港の特徴を学ぶ			
3回	航空会社とアライアンス		世界の航空会社について学ぶ 各社の特徴を学ぶ アライアンス加盟によるメリットを理解する			
4回	サービス		FSCとLCCについて学ぶ 良いサービスとは何か考える			
5回	GSの業務と役割①		旅客ハンドリング担当会社について学ぶ GSの業務形態を学ぶ			
6回	GSの業務と役割②		GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務			
7回	GSの業務と役割③		GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務			
8回	GSの業務と役割④		GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務			
9回	Webサイト運賃		各社Webサイトを比較する 空席照会 搭乗方法について学ぶ			
10回	出入国書類		パスポート、ビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ			
11回	CIQ		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ			
12回	手荷物①		受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 手荷物タグについて学ぶ 収納ケースについて学ぶ			
13回	手荷物②		危険物について学ぶ BAGトラブルについて学ぶ			
14回	期末試験		期末試験 復習			
15回	まとめ		テスト返却、フィードバック イレギュラー時のハンドリングについて学ぶ 就職活動について			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	ブラッシュアップ講座			クラス	O③	
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	自己を理解し、自身の魅力、航空業界への想いを言語化する			授業形態	講義	
到達目標	文書、口頭への的確な回答ができる					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	授業態度、提出物、身だしなみ、出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方 ・夏休み課題の確認 ・スピーチ 			
2回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ※社風と自己分析から自身と照らし合わせた自己紹介スピーチ(漢字) ・航空業界/CAの魅力 			
3回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・志望動機作成の手順 ・志望動機(企業/業界への志望動機作成) 			
4回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・志望動機添削・作成 ・自己PR添削・作成 			
5回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・志望動機添削・作成 ・「学生時代頑張ったこと」添削、作成 			
6回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・ES作成手順※過去のESの設問確認(経験の当てはめ) ・履歴書作成(趣味・特技・得意科目) 			
7回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・履歴書作成(趣味・特技・得意科目) 			
8回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・ES作成・添削 			
9回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・ES作成・添削 			
10回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・ES作成・添削 			
11回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・面接練習 			
12回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・面接練習 			
13回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・面接練習 			
14回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・ES作成・添削 			
15回	就職活動準備		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・ES作成・添削 			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空機概論			クラス	Q・W	
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空機の発達、技術の進歩について学ぶ 世界の空で活躍する旅客機のメーカー・機種・メカニズムについて学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	航空機の名称と各部の機能、役割、特性について理解する					
使用テキスト	航空知識のABC・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的について具体的に説明する 授業の進め方・成績評価方法について説明する 航空機に対する思い、イメージ等について意見交換を行う				
2回	航空機製造メーカー	航空機製造メーカーについて学ぶ 航空機製造の流れについて学ぶ 航空機製造において、共同開発に参画している日本企業について学ぶ				
3回	飛行機の構造	飛行機の形、その理由について学ぶ 飛行機の各部の名称・機能について学ぶ 飛行機の構造と製造プロセスについて学ぶ				
4回	飛行の原理	飛行機と航空機の違いについて学ぶ 飛行機が飛ぶための原理(4つの力)について学ぶ 離陸・旋回・着陸のための仕組みについて学ぶ				
5回	旅客機のメカニズム	飛行機が軽くて丈夫なわけについて学ぶ 飛行機の胴体断面が円い理由について学ぶ 旅客機の主翼はなぜ細長いのか？主翼には何が入っているのか？について学ぶ				
6回	機体構造と役割	主翼・水平尾翼・垂直尾翼が飛行に果たす役割について学ぶ 動翼(スポイラー・フラップ・エルロン・エレベーター・ラダー)及び主輪・前輪の構造、役割について学ぶ				
7回	機体構造と役割	制動装置(ブレーキ・システム)の仕組みについて学ぶ 地表と航空機をつなぐ着陸装置(緩衝装置)について学ぶ 航空機用タイヤについて学ぶ				
8回	機体構造と役割	飛行機の発電システムと動力供給システムについて学ぶ 飛行機の与圧・空調装置の仕組みについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
9回	機体構造と役割	ジェット・エンジンのしくみ、働きと種類について学ぶ ターボジェット・エンジン、ターボプロップ・エンジン、ターボシャフト・エンジンの違いについて学ぶ ターボファン・エンジンの働きについて学ぶ				
10回	機体構造と役割	機体の内部構造、各種ドアについて学ぶ 客室(座席の種類・座席の配列・ギャレーの構造及び機能・収納庫、等)について学ぶ 貨物室(前方・後方・バルク)について学ぶ				
11回	飛行機の運航システム	旅客機のコクピットはどのような仕組みになっているか学ぶ 日本の航空会社で活躍中の最新旅客機のコクピットについて学ぶ 巡航高度はどのように保たれているかについて学ぶ				
12回	飛行機の運航システム	電波・目視・ボイスなど様々なアプローチ法について学ぶ 安全運航を脅かす気象現象について学ぶ 自動操縦装置機能が安全運航に果たす役割について学ぶ				
13回	飛行に関わる機体の要素	飛行機に装備されている灯火系統の種類と役割について学ぶ 飛行機に装備されている多種多様なアンテナについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
14回	期末試験	ハイテクを駆使して収益性や環境保護に配慮した最新鋭旅客機について学ぶ 期末試験を実施				
15回	まとめ	期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	観光地理			クラス	QW	
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内・海外の観光地理を学ぶ(空港から先の観光資源)。有名観光地の映像を見て学ぶ。			授業形態	講義	
到達目標	日本・海外の地域の特性、主な都市・有名観光地を学ぶ。					
使用テキスト	講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(授業態度・出席率・小テスト・提出物含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	国内観光地理①		国内観光地理オリエンテーション(国内の地域区分・7つの新幹線) ・九州(福岡県・佐賀県・長崎県)の観光地・名産品を学ぶ ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
2回	国内観光地理②		北海道・沖縄 ・北海道・沖縄の地域・交通・気候 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
3回	国内観光地理③		東京都・大阪府・京都府 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
4回	国内観光地理④		北陸3県(富山県・石川県・福井県) ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
5回	国内観光地理⑤		東北6県(福島県・山形県・宮城県・岩手県・秋田県・青森県) ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ ・東北の夏祭りを学ぶ			
6回	海外観光地理①		海外観光地理オリエンテーション(海外の地勢・海外旅行の基礎知識) ・時差・言語・宗教・文化の違い			
7回	海外観光地理②		韓国・東南アジア(タイ・マレーシア・シンガポール) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
8回	海外観光地理③		オセアニア(オーストラリア・ニュージーランド) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
9回	海外観光地理④		中東(アラブ首長国連邦ドバイ・トルコ) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
10回	海外観光地理⑤		英国(イギリス) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
11回	海外観光地理⑥		フランス ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
12回	海外観光地理⑦		ドイツ・スイス・オーストリア ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ ・ロマンチック街道の観光ルート／スイス山岳鉄道			
13回	海外観光地理⑧		イタリア・バチカン市国・サンマリノ・マルタ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
14回	海外観光地理⑨		アメリカ・ハワイ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
15回	まとめ		・授業の振り返り、まとめ			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	OW	
担当講師(フルネーム)	Victor Cagno, Athena Lisane			実務経験	無	
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義	
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	チャレンジブック#4、各種プリント配布					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション Warm Up: P6, Vocabulary: P8 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 1	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with H Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
2回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 1	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with I Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
3回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with I Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
4回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with J Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
5回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 3	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with J Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
6回	Warm Up: P7, Vocabulary: P11 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 3	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with K Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
7回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 4	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with K Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 5	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with L Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
9回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 5	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with L Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
10回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 6	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with M Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
11回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 6	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with M Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
12回	Warm Up: P9, Vocabulary: P14 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 7	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with N Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
13回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 7	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with N Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
14回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 8	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with O Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				
15回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 8, test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with O Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	社会情勢研究			クラス	Q・W	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	インターネットを通じて、社会情勢を理解する			授業形態	講義&演習	
到達目標	・メディアリテラシーを身につける ・自分の意見をまとめ、表現する					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	提出物、授業内プレゼンテーション、授業態度等で評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について理解する メディアリテラシーとは何かを知る				
2回	新聞社デジタル版を読む ①	全国紙4紙+ブロック紙1紙の4紙分デジタル版を比較し、特徴をつかむ				
3回	新聞社デジタル版を読む ②	5紙新聞社デジタル版から必要な情報を探し出す				
4回	朝日新聞デジタル版を読む①	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
5回	朝日新聞デジタル版を読む②	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
6回	毎日新聞デジタル版を読む①	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
7回	毎日新聞デジタル版を読む②	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
8回	読売新聞デジタル版を読む①	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
9回	読売新聞デジタル版を読む②	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
10回	日本経済新聞デジタル版を読む	記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する				
11回	西日本新聞デジタル版を読む①	記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する				
12回	西日本新聞デジタル版を読む②	記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する				
13回	新聞社デジタル版のコラムを読む	コラムを読み、自分の意見をまとめ、発表する				
14回	新聞社デジタル版を読む	記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する				
15回	まとめ	レポートを作成し、提出する				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	フレッシュヤーズ教育			クラス	QW	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	学生と社会人の違いを学び、働く上での心構えをする ビジネスマナーを復習する			授業形態	講義	
到達目標	社会人になる覚悟をする					
使用テキスト	ビジネスマナー基本テキスト					
成績評価方法	課題、小テスト、グループワークで評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について 社会人のイメージ、不安に感じていることなど共有する				
2回	働く環境①	給与、保険、福利厚生について理解を深める 様々な会社の福利厚生から職場環境について考える				
3回	働く環境②	就業規則について学ぶ 公金、貸与品の取り扱いについて学ぶ				
4回	働く環境③	組織で働くということを理解する 報告・連絡・相談の重要性について理解する 指示・命令の受け方を学ぶ				
5回	人間関係①	良好な人間関係を築くためのヒントを見つける グループワークを通してチームで働くということを理解する 報告・連絡・相談、指示・命令を実践を通して学ぶ				
6回	人間関係②	良好な人間関係を築くためのヒントを見つける グループワークを通してチームで働くということを理解する 報告・連絡・相談、指示・命令を実践を通して学ぶ				
7回	人間関係③	良好な人間関係を築くためのヒントを見つける グループワークを通してチームで働くということを理解する 報告・連絡・相談、指示・命令を実践を通して学ぶ				
8回	マナー①	電話応対について復習する 訪問時のマナー、来客応対について復習する アプローチ話法を用いて会話をする				
9回	マナー②	電話応対について復習する 訪問時のマナー、来客応対について復習する アプローチ話法を用いて会話をする				
10回	入社3カ月の壁	入社後3カ月間の自分を想像する ミスをした時の行動、捉え方を学ぶ				
11回	慶弔・贈答のマナー	慶弔時の適切な対応について学ぶ お見舞いの基本マナーについて学ぶ				
12回	コンプライアンス	コンプライアンスについて考える 様々なハラスメントについて考え、ディスカッションする				
13回	プライベート	休日の過ごし方を考える 心身ともに健康であるためのケア方法を発表する				
14回	転職	転職が訪れたら・・・				
15回	まとめ	入学時からを振り返る				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン 科	
科目名	コンピュータ			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。社会人として必要なパソコンスキルの活用力・応用力を習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末試験40% パワーポイント提出課題40% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	PowerPoint	PowerPointの基本操作 サンプルスライドの作成①「世界の空港を紹介」 ※スライドの作成と編集、スライドデザイン、画像の挿入など				
2回	PowerPoint	プレゼンテーションのテクニック サンプルスライドの作成② ※配色、デザインの確認、アニメーション効果、画面切り替え効果、BGMなど				
3回	PowerPoint	プレゼンテーションの発表準備 サンプルスライドの作成③ ※発表を想定したプレゼンテーションファイルの仕上げ				
4回	PowerPoint	プレゼンテーションの発表 サンプルスライドの作成④ ※発表を想定したプレゼンテーションファイルの仕上げ				
5回	Office活用	Excelで名簿作成 WordでDM用チラシ作成				
6回	Office活用	Word差し込み印刷機能でDM作成 社会生活の中で必要な電子印鑑を作成する				
7回	PowerPoint	期末試験課題のスライド作成① テーマ「IBC卒業旅行」 企画を考えてたたき台の作成				
8回	PowerPoint	期末試験課題のスライド作成② テーマ「IBC卒業旅行」				
9回	PowerPoint	期末試験課題のスライド作成③ テーマ「IBC卒業旅行」				
10回	PowerPoint	期末試験課題のスライド作成④ テーマ「IBC卒業旅行」				
11回	PowerPoint	期末試験課題のスライド作成⑤ 発表				
12回	PowerPoint	期末試験課題のスライド作成⑥ 発表				
13回	Word・Excel総合	Word・Excelを活用した書類作成 データベースについて				
14回	Word・Excel総合	Word・Excelを活用した書類作成 家計簿を作ってみよう				
15回	後期期末試験	Word文書作成・Excel表作成				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	運賃計算を主に、運賃表からの運賃規則やルーティングを確認する。 また、PNR作成後の最安値運賃計算も行う。			授業形態	実技	
到達目標	アマデウスシステム検定・中級を取得する(希望者のみ)。					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約 運賃・発券 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	予約全般(応用編)	後期授業の進め方について(検定受験について・学生便覧にて確認) PNR完了後のヒストリー確認(過去の操作データ)を行う				
2回	予約全般(応用編)Ⅱ	PNRの分割とコピー入力を行う アマデウス履歴画面の使用方法を学ぶ				
3回	予約全般(応用編)Ⅲ	SSR入力の応用を行う バシネット・車椅子の入力練習をする				
4回	旅客氏名アップデート	旅客氏名の入力や訂正についての注意事項を確認する その他、予約変更やデータ訂正の復習も行う その他、PNRへOSIとリマークスの追加入力を行う				
5回	運賃表復習	運賃表にて、各航空会社の最安値運賃を確認する 運賃表表示後の変更エントリー(ショートカットエントリー)を行う				
6回	運賃規則	運賃表からの、規則確認(手数料・予約や発券期限・ストップオーバーなど)をする				
7回	ルーティング	運賃表からの、(各航空会社指定の)飛行ルートを確認する 運賃表からの、通貨換算エントリーを学ぶ				
8回	中間試験	中間試験実施(※後期成績評価対象となる)				
9回	PNR作成後の運賃計算	PNR作成後、運賃計算を行う(FXP/FXX) 運賃計算後の画面確認を行う				
10回	PNR作成後の運賃計算	PNR作成後、運賃計算を行う(FXX/FXP) 運賃計算オプション入力を学ぶ(旅客/セグメント/条件指定など) チケットイメージを確認する(EQQ)				
11回	BEST PRICER	PNR作成後、最安値運賃を表示させる(FXA) PNR作成後、最安値運賃で再予約する(FXB/FXR) 各エントリーの意味を理解する				
12回	検定対策	中級試験の内容(選択問題とPNR作成について)を理解する 検定対策(過去問題と添削)				
13回	検定対策Ⅱ	検定対策(クラスルーム使用・WEB試験にて検定対策を行う)				
14回	総復習	予約全般(便利入力を使用しPNR作成を行う、SSR/分割&コピーを含む) 運賃全般(作成したPNRからの最安値運賃を計算する)				
15回	期末試験	期末試験実施				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC			クラス	W	
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル600 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	前期の総復習 Part5	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 品詞以外にも前期に学んだことを生かしてPart5を解く方法を復習する 単語テスト				
2回	分詞の形容詞的用法 &分詞構文 Part4	分詞の形容詞的用法、分詞構文 Part4 Part5 単語テスト				
3回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト				
4回	動詞の形 名詞・冠詞 part6	動詞の形 名詞・冠詞 Part6 Part5 単語テスト				
5回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5 単語テスト				
6回	関係副詞 Part4	関係副詞、関係代名詞と関係副詞の置き換え Part4 単語テスト				
7回	仮定法 Part1&2	仮定法 Part1 Part2 Part5 Part6 単語テスト				
8回	比較級	比較級 Part7 Part5 単語テスト				
9回	模擬テスト (リスニング)	模擬テストリスニング 解答 単語テスト				
10回	模擬テスト (筆記)	模擬テスト筆記 解答				
11回	that節	様々なthatの用法 単語テスト				
12回	リスニング全般	Part1~4 単語テスト				
13回	リーディング全般	Part5~7 単語テスト				
14回	文法総復習	Part5 これまでの文法の総復習 単語テスト				
15回	期末テスト	期末対策&期末テスト				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	エアラインゼミ			クラス	W	
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ディスカッションを通して社会人としての心構えを体得する			授業形態	講義	
到達目標	働く覚悟をもつ					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	授業態度、提出物、身だしなみ、出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の進め方 ・新社会人に向けての決意表明				
2回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
3回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
4回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
5回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
6回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
7回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
8回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
9回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
10回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
11回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
12回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
13回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
14回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				
15回	入社前準備	・社会人に必要なマナーの体得 ※ディスカッション				

鉄道

学年	科目名
1	鉄道概論
1	鉄道基礎
1	鉄道係員
1	鉄道車両
1	交通論
1	鉄道旅行プランニング
1	鉄道業界研究
1	サービス介助士
1	就職活動講座
1	就職筆記試験対策Ⅰ
1	就職筆記試験対策Ⅱ
1	面接対策
1	ペン字
1	コミュニケーションイングリッシュ
2	鉄道実務
2	鉄道旅行プランニング
2	コミュニケーション学
2	フレッシュヤーズ教育
2	手話
2	コンピュータ
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	社会情勢研究

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道に関わる用語、合図、標識、車両を知る 運転理論の意義を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道の安全に対する知識を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1. カリキュラムの説明 2. 主な鉄道用語概要を行い授業が柔軟に進めるよう周知する 3. 用語の意義を説明することにより、より深みのある授業にす				
2回	鉄道の標識①	1. 標識の意義 ・鉄道標識の意義を知ることによって標識に対する意識を深める ・鉄道の安全を維持するための標識であることを意識付けする				
3回	鉄道の標識②	1. 標識の種類 ・標識の種類と役割を知り、標識の重要性を知る				
4回	鉄道の標識③	1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する				
5回	鉄道の標識④	1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する				
6回	鉄道の標識⑤	1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する				
7回	鉄道車両紹介①	1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・鉄道車両に対する各鉄道会社の着目点を知る				
8回	鉄道車両紹介②	1. 九州の鉄道会社 ・車両の特徴を知る ・各車両の営業目的に合った特徴を知る				
9回	鉄道車両紹介③	1. 九州の鉄道会社-2 ・車両の特徴を知る ・各車両の営業目的に合った特徴を知る				
10回	鉄道車両紹介④	1. ワンマン列車の特徴を知る ・ワンマン車両の基本 ・ワンマン列車の規定を学ぶ				
11回	運転理論①	1. 運転速度の定義を学ぶ ・均衡速度・表定速度・平均速度・計画速度・進入速度・進出速度・通過速度・実測速度 ・観測速度・推定速度・許容速度を学ぶ				
12回	運転理論②	1. けん引き定数を知り、列車運転に対する定義を学ぶ 2. 車種別によるけん引き定数の表し方を知る 3. けん引き定数の表記方に対する注意点を学ぶ				
13回	期末試験対策	1. 知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1. 期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道基礎			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	山田和久			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道の総合的な専門知識の習得と、安全に対する意識を向上させる。 鉄道従事員の業務及び、就活に向けての心構え			授業形態	講義	
到達目標	事故の種類や運転方法の変更、鉄道従事員の職責とヒューマンエラー防止について学ぶ。					
使用テキスト	分かりやすい鉄道技術「土木編・電気編・運転編」					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	前期授業の振り返り 後期授業の内容と進め方を説明する。				
2回	電車のメカニズム	電車の走る原理(発電所から走行まで)を知る。 電車が止まる原理を理解する。 集電装置・主電動機・主制御機について学ぶ。				
3回	鉄道車両(西鉄)	西鉄電車の車両について知る。 出庫点検の重要性と行程を学ぶ。 出庫点検のDVDを参照する。				
4回	鉄道信号の役割	鉄道信号の前期復習 役割について解説を行う。 手信号の種類と代用手信号について学ぶ。				
5回	閉そく方式	通常時の閉そく方式を知る。 列車間の安全を確保する方法・閉そく区間と役割について理解する。 異常時の列車運行の手段・方法について知る。				
6回	伝令法	駅伝令法と指令伝令法の違いについて学ぶ。 伝令法の施行時と運転範囲について学ぶ。 DVDを活用し説明を行い理解する。				
7回	列車の運転	原則的な鉄道運転ルールを知る。 飲酒運転撲滅を理解する。 推進運転・退行運転を知る。				
8回	鉄道の設備	電気の設備について知る。 車両機器について知る。 線路の設備について知る。				
9回	鉄道運転事故	事故の分類を知る。 事故の種類と内容について理解する。 インシデントについて学ぶ。				
10回	異常時の対策	気象予報警報・注意報のの発令基準を知る。 気象観測システム発令に伴う運行規制を知る。 事故災害等が発生した時の処置及び行動を考える。				
11回	気付き・ヒヤリハット・事故	ヒューマンエラーについて学ぶ。 言葉の意義を知る。 事故防止策について協議する。				
12回	運転保安装置	保安装置の種類を知る。踏切保安装置について学ぶ。 信号保安装置について学ぶ。 列車無線・列車防護無線の機能及び取扱いを理解する。				
13回	自動列車停止装置(ATS)	ATSの設備目的と運転士の注意について知る。 地上装置と車上装置について学ぶ。 ATS故障時の取扱いと注意点を知る。				
14回	西鉄	西鉄の乗務員の資質管理 乗務員のあり方、苦楽について 生徒の就活について				
15回	後期まとめ	後期授業を振り返り 全体質疑を行う。 期末試験の対策				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道係員			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.前期の復習 3.鉄道係員の役割及び仕事内容の復習を行い、各係員の作業把握を行う				
2回	鉄道乗務員①	1.乗務員の放送一般 2.乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する 3.各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける				
3回	鉄道乗務員②	1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ				
4回	鉄道乗務員③	1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ				
5回	鉄道運行に関わる係員	1司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ				
6回	鉄道ダイヤに関わる係員①	1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ				
7回	鉄道ダイヤに関わる係員②	1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・ダイヤグラムの見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように構成れるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ				
8回	事故事例研究①	1コンプライアンスに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
9回	事故事例研究②	1信号に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
10回	事故事例研究③	1ATSに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
11回	事故事例研究④	1停車に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
12回	鉄道運行に関わる係員	1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	交通論			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	西 政明(マック24)			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	交通に関する基礎知識を習得するとともに、特に鉄道事業を中心に、業界の運営状況、経営課題等を学ぶ。			授業形態	講義	
到達目標	鉄道及びその付帯事業等の従事員となるための基本的資質の養成・向上を図る。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	シラバス、講義の進め方等の説明 交通論を学ぶ、意義・目的、基礎用語 交通関連トピックスの解説				
2回	交通の基礎理論	交通の定義とは 交通関連トピックスの解説				
3回	〃	交通の意義とは 交通関連トピックスの解説				
4回	交通のビジネスモデル	交通と経済 業界別ビジネスモデル(鉄道) 交通関連トピックスの解説				
5回	〃	業界別ビジネスモデル(航空機) 交通関連トピックスの解説				
6回	〃	業界別ビジネスモデル(バス、船舶、その他) 交通関連トピックスの解説				
7回	交通政策史	鉄道の政策史 交通関連トピックスの解説				
8回	〃	鉄道及び陸運事業の政策史 交通関連トピックスの解説				
9回	〃	航空事業の政策史 交通関連トピックスの解説				
10回	〃	海運事業の政策史 交通関連トピックスの解説				
11回	鉄道概論	日本の鉄道史 都市鉄道の現状と経営戦略を学ぶ 交通関連トピックスの解説				
12回	〃	地方鉄道の現状と経営戦略 交通関連トピックスの解説				
13回	〃	都市型交通システム 交通関連トピックスの解説				
14回	〃	九州の鉄道の現状と経営戦略 交通関連トピックスの解説				
15回	まとめ	まとめ・振り返りと要点整理 期末試験対策				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道旅行プランニング			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	時刻表を用いてのプランニング作業 運賃料金及び宿泊先を考えたプラン作成			授業形態	講義&演習	
到達目標	時刻表の確実な活用方を身に付ける					
使用テキスト	時刻表、講師作成資料					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.今後のプラン内容を説明				
2回	旅行プランニング①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客様の意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う				
3回	旅行プランニング②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客様の意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客様の予算に合ったプランニング作業を行う				
4回	旅行プランニング③	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
5回	旅行プランニング④	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
6回	旅行プランニング⑤	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
7回	旅行プランニング⑥	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
8回	旅行プランニング⑦	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
9回	旅行プランニング⑧	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
10回	旅行プランニング⑨	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
11回	旅行プランニング⑩	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
12回	時刻表の活用	1.時刻表の活用術を発表する ・各自、時刻表に対する確認方を発表し、実力不足を解消する 2.習熟度調査を行う				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知悉度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道業界研究			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道業界への就職を目標とし、JR・大手私鉄を中心とした業界研究を行う。			授業形態	講義	
到達目標	各鉄道会社の実態と経営戦略、企業理念を学び、志望動機に活かす。					
使用テキスト	鉄道業界大研究					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点+小テストで50%、期末テストで50%				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 企業研究のやり方		企業研究のやり方が深いほど志望動機に具体性が出る 企業研究シートと使用した方法を学ぶ			
2回	西鉄について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
3回	JR九州グループ について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
4回	JR四国について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
5回	JR東海・JR北海道 について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
6回	JR西日本		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
7回	JR東日本		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
8回	東京メトロについて		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト1			
9回	東急、東武、西武		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
10回	京急、京王、京成		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
11回	小田急、相鉄、名鉄		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
12回	阪急(阪神)について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト2			
13回	近鉄、京阪、南海		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
14回	第三セクター、 地下鉄、その他鉄道		第3セクターや地方鉄道、公営鉄道など、JR・大手私鉄以外にIBCに過去求人を出した実績のある会社を研究し、 求人が来たら応募できる準備をする			
15回	一年間のまとめ 期末テスト対策		一年間の鉄道業界研究の復習 これまでの鉄道業界研究を総復習し、期末テスト対策、及び就職試験に活かす			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	サービス介助士			クラス	M
担当講師(フルネーム)	吉田紀子、守田久実子、大隈多恵			実務経験	無
授業概要(内容)	おもてなしの心と正しい介助技術を学び、障害の社会モデルの考えを理解し、心のバリアフリーについての理解を深める			授業形態	講義
到達目標	おもてなしの心と正しい介助技術を学び、授業後のサービス介助士資格取得を目指す				
使用テキスト	サービス介助士・准サービス介助士資格取得講座テキスト				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回 9/12	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・多様な社会を考える ・共生社会の実現をめざして ・SDGsを考える 		<ul style="list-style-type: none"> ・教材受け渡し 受講票確認 自己紹介 ・「サービス介助士」を学ぶ意義 これからの社会を考える 多様性(ダイバーシティ)を受け入れる必要性 ・企業が取り組むSDGsについて サービス介助士との繋がりは 		
2回 9/26	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念 ・接遇の捉え方 ・コロナ禍における接遇 ・ホスピタリティ 		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス介助士の基本理念 サービス介助士の接遇の概念 ・コロナ禍における「感染しない・させない接遇」 ・ホスピタリティマインドとは 		
3回 10/3	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーション ・障害者差別解消法 ・障害の捉え方(社会モデル) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションの基本的な考え方 ・障害者差別解消法を理解する ・社会モデルの捉え方を理解、合理的配慮につなげる 		
4回 10/17	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の理解 ・高齢者への理解と接遇 		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者社会の現状を知る ・加齢による身体変化を知り、合理的配慮を考える 		
5回 10/24	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェロントロジー ・感染しない・させない接遇 ・車いす利用者への接遇 		<ul style="list-style-type: none"> ・「創齡学」自分の人生を考える ・感染しない・させない接遇 ・車いす利用者の障壁を考える ・車いすの種類、部分の名称、操作の注意点 		
6回 10/31	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者への接遇 ・視覚障害者への接遇 		<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害について ・聴覚障害者の困りごと、原因を考える ・視覚障害について ・視覚障害者の困りごと、原因を考える 		
7回 11/7	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なコミュニケーション(接遇) 		<ul style="list-style-type: none"> ・言語による接遇 ・外見や行動による接遇 		
8回 11/14	<ul style="list-style-type: none"> ・知的・発達・精神障害 		<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害、発達障害、精神障害の概要 ・困りごとを考える ・皆さんにできることは？ 		
9回 11/21	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者補助犬 ・ユニバーサルデザイン 		<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者補助犬法を知る ・身近なユニバーサルデザインを知ろう 		
10回 11/28	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなマーク ・バリアフリー設備の理解 		<ul style="list-style-type: none"> ・日常よく見かけるマークや気をつけて見ていただきたいマーク ・必要性を理解する(オストメイト用設備、カムダウンルーム、バギー型小児用車いす) 		
11回 12/5	期末試験		授業内での期末試験 範囲:今まで学んだ部分		
12回 12/12	オンライン講座①		実技教習前のオンライン講座(DVD視聴)		
13回 1/16	オンライン講座②		実技教習前のオンライン講座(DVD視聴)		
14回 1/23	オンライン講座③		実技教習前のオンライン講座(DVD視聴)		
15回 1/30	オンライン講座④		実技教習前のオンライン講座(DVD視聴) 実技教習についての説明		

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	一学年終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物となることを目指す。					
使用テキスト	就職ノート・専門学校生のための就職内定基本テキスト					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	夏休みの振り返り 後期説明 夏休みの活動から自分の成長を振り返る				
2回	ナビサイト登録	リクナビ・マイナビに登録する インターネットでの企業の検索法 ナビサイトの便利ツールを就活に活かす				
3回	求人情報の収集方法	情報の収集方法と活用 求人票の見方 就職室の利用方法、IBC就活ルールの再確認				
4回	履歴書作成	就職活動に活用するIBCの履歴書を作成する				
5回	模擬面接用 エントリーシート	模擬面接用エントリーシートの書き方を説明し作成する				
6回	履歴書・模擬面接用 エントリーシートのまとめ	履歴書・模擬面接用エントリーシートの指導				
7回	自己PR作成①	IBCに入学して学んだこと、できるようになったこと、成長したと感ずることを分析する				
8回	自己PR作成②	IBCに入学して成長したことを認識し、前期作成した自己PRからレベルアップして完成させる				
9回	志望動機作成 (志望企業編)	前期作成した鉄道業界に対する志望動機に、志望企業の要素をプラスして完成させる				
10回	志望動機作成 (実習編)	第9回で作成した志望企業や鉄道業界に対する志望動機に、実習に対する心構え、学びたいことなどをプラスして完成させる				
11回	学生時代に頑張ったこと のエピソード作成	夏休みの宿題「学生時代に頑張ったこと」のエピソードを手直しし、また後期に入って取り組んだことをまとめて、IBCに入学後の学生時代頑張ったことを完成させる				
12回	面接応答内容を考える①	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
13回	面接応答内容を考える②	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
14回	エントリーシート作成	志望企業の過去のエントリーシートを参考にして、エントリーシートの作成手順を確認する そして、実際のエントリーが始まったら、すぐにエントリーシートを作成できる力を養う				
15回	後期の振り返り	一年間の就職活動講座の振り返りとまとめ 実習の注意点 春休みの就職活動について				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科
科目名	就職筆記対策 I			クラス	M
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無
授業概要(内容)	新型コロナ禍後の形式はWeb試験がメイン。WebとPaperは内容がかなり異なります。鉄道各社の過去問を中心にできるだけわかりやすく講義します。この科目は復習に力を入れてください。SPIなどの試験に合格しないと面接に進めません。能力検査試験の合格に向けて一緒に頑張りましょう			授業形態	講義
到達目標	JR各社 西日本鉄道 民鉄 第三セクター 地下鉄の就職試験に合格するのに必要な言語分野の学力の修得				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	前期社会分野復習	SPIでは社会の出題はありませんが、鉄道会社が採用しているSCOAでは社会からも理科からも出題されます。前期社会分野の政治分野(基本的な権 統治機構)の復習 最新時事問題 税の種類			
2回	経済	現代の市場(需要曲線と供給曲線の傾き) 独占の形態(コンツェルン トラスト カルテル) 独占禁止法 株式会社の仕組み 合同会社LLC など経済分野の重要分野 日本の社会保障			
3回	国語 テストセンター①	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語			
4回	国語 テストセンター②	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語			
5回	国語 テストセンター③	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語			
6回	国語 テストセンター④	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 敬語問題 文章整理問題他 四字熟語 同音異義語 同訓異義語			
7回	英語 ①	SPI PAPER&テストセンター 英語分野 (文章の並び替え 同意語 反意語 適語補充)			
8回	英語 ②	SPI PAPER&テストセンター 英語分野 (文章の並び替え 同意語 反意語 適語補充)			
9回	国語 テストセンター⑤	漢字検定準2級(熟語の構成 部首 対義語 類義語 他)			
10回	国語 テストセンター⑥	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 文章構成 慣用句 ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語			
11回	国語 テストセンター⑦	テキストp254~279 SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 文章構成 慣用句 ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語			
12回	日本地理①	就職先が多い関東エリア(東京 神奈川 埼玉 千葉) 関西エリア(大阪 兵庫 京都) 四国エリア(香川 愛媛 高知)の鉄道沿線の名所・旧跡・温泉 ①			
13回	日本地理②	就職先が多い関東エリア(東京 神奈川 埼玉 千葉) 関西エリア(大阪 兵庫 京都) 四国エリア(香川 愛媛 高知)の鉄道沿線の名所・旧跡・温泉 ②			
14回	構造的把握力検査	この分野はSPIのテストセンターのみに出題される最新の傾向分野 文の構造が同じものを選択肢から選ぶ 文は アイウエオ の五つが提示 その中から PグループとQグループに分ける形式 慣れないと難しい			
15回	構造的把握力検査	この分野はSPIのテストセンターのみに出題される最新の傾向分野 文の構造が同じものを選択肢から選ぶ 文は アイウエオ の五つが提示 その中から PグループとQグループに分ける形式 慣れないと難しい			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科
科目名	就職筆記対策Ⅱ			クラス	M
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無
授業概要(内容)	新型コロナ禍後の形式はWeb試験がメイン。WebとPaperは内容がかなり異なります。鉄道各社の過去問を中心にできるだけわかりやすく講義します。この科目は復習に力を入れてください。SPIなどの試験に合格しないと面接に進めません。能力検査試験の合格に向けて一緒に頑張ります。			授業形態	講義
到達目標	JR各社 西日本鉄道 民鉄 第三セクター 地下鉄の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力の修得				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	*期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	損益算の復習	損益算の基本公式の確認 原価 定価 売価 を求める公式 原価も定価も売価も不明の時 総原価 総利益 総定価 を求める問題 各コースの企業の過去問を中心に応用問題にチャレンジ			
2回	順列	数学Bプリント全体の数nの中からr個を取り出して並べるときの並べ方 nPr 順列公式 $P=Permutation$ 重複順列 nr 乗 円順列 $(n-1)!$ 数珠順列 $(n-1)! \div 2$			
3回	組み合わせ	全体の数nの中からr個を選ぶ時の選び方 nCr $C=nPr \div r!$ (階乗) 重複組み合わせの公式 $hCr=n+r-1Cr$			
4回	集合	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。集合はカブリのことで。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味			
5回	集合	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。集合はカブリのことで。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味			
6回	推論	数学Bプリント p194~p222 推論 順位 平均点 フローチャート			
7回	位置 順列	数学Cプリント p172~194 位置の問題 順列 重複順列 問題文の条件を推理して各店の位置を特定する。			
8回	勝敗	数学Cプリント p172~p194 勝敗 リーグ形式とトーナメント形式			
9回	確率	数学Dプリント p172~p194 サイコロ コインを使った確率問題 $p(\text{probability}) = N(\text{全体の場合の数}) \div a(\text{求める場合の数})$			
10回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問1~問12 推論 6個の玉を箱PQIに分けて入れた PはQの2倍 Qの玉は何個か 9人にイヌ ネコ 小鳥どれを飼いたいかわからない 多い順にイヌ ネコ 小鳥 無回答無し 小鳥の回答人数は			
11回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問13~問25 集合 クラスの30人のうち、運動部の生徒16人 運動部と文化部の両方2人 どちらにも入っていない生徒は4人 文化部に入っている生徒は何人?			
12回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問26~問38 組み合わせ PQRSTUVの7人を3人部屋と4人部屋に振り分けたい 分け方は何通り? 確率PQR3人がサイコロを振った Pが最大の目 QとRが同じ目となる組み合わせは何通り?			
13回	SPIテストセンターAプリント 2年次前倒し	推論 問1~問8 RSTU 4人の交通費の問題 4店舗の位置の問題 LMNOPQ 6人の待ち合わせ場所の到着の前後関係 嘘・本当の発言問題 トーナメント方式の勝敗の結果 トーナメント表の作成			
14回	立方体の軌跡展開図 関数の公式	サイコロや立方体を左右・前後に何回か回転させたのち、Aの面の回転の軌跡、立方体の性質が分かればすぐに解けるので、絶対に落とせない分野 $Y=ax$ $Y=ax+b$ $Y=ax^2$ 乗 $+b$ 一次関数 二次関数 傾き 切片 比例定数 条件と領域			
15回	構造的把握力検査	この分野は、SPI・3になって初めて導入された分野です。 1問5択の選択肢が用意されています。問題処理の考え方の構造が似ているものを二つ選ぶ問題。慣れないと問題の意味を理解するのが難しい。問題を解いても正解に到達できるわけではありません。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	面接対策			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	橋本美智子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	「好印象」を勝ち取るための表現(振る舞い・話し方)を実技にて体得する			授業形態	実技	
到達目標	就職面接に合格する、社会人としてのマナーを身に付ける					
使用テキスト	配布プリント 制服着用					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	就職試験にむけて		授業の進め方についての説明 受講の心構え(身だしなみ、お辞儀) 面接意義、その種類と特質について理解する			
2回	求められる人材とは		企業に「求められる人材」についてワークを通じて理解する ビジネスマンとして求められる能力の説明			
3回	面接		面接での表現とは 正しい姿勢、歩き方、椅子の座り方、発声、相手に届く声① 自己紹介			
4回	集団面接1		入退室 正しい姿勢、歩き方、椅子の座り方、発声、相手に届く声② 実技4～5名			
5回	集団面接2		入退室 話す、聞く、答える③ 実技4～5名			
6回	集団面接3		入退室 話す、聞く、答える④ 実技4～5名			
7回	集団面接4		好印象の質疑応答 実技4～5名			
8回	集団面接5		好印象の質疑応答 実技4～5名			
9回	集団討議1		討議の進め方の説明			
10回	集団討議2		身近な問題をテーマに討議の実践①			
11回	集団討議3		日本の掲げる問題をテーマに討議の実践②			
12回	集団討議4		SDGSに関するテーマを選び討議の実践③			
13回	期中試験		集団面接形式			
14回	期中試験		集団討議形式			
15回	まとめ		第1回～12回の振り返り 自分の課題を明確にし後期の目標にする			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	ペン字			クラス	M
担当講師(フルネーム)	青木初恵			実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ			授業形態	講義&演習
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通じて社会人としての教養を身につける。				
使用テキスト	オリジナルテキスト・ペン2種類・下敷き・筆ペン				
成績評価方法	提出物70%、小テスト、授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ		授業内容		
1回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字を書くための基本～姿勢、ペンの持ち方・種類 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ① 自分の名前～配字配列			
2回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②			
3回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③			
4回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ④ 文字(片仮名・平仮名)のバランスの取り方を学ぶ			
5回	履歴書の書き方①	文字を書くための基本 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習(配字・配列の復習)			
6回	履歴書の書き方②	履歴書オリジナル資料を参照にして下書きを作る 名前・住所・学歴・免許・資格など			
7回	履歴書の書き方③	履歴書～まとめ 履歴書を1枚仕上げる一提出			
8回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒の書き方と書式 お礼状を入れる封筒(和封筒長形4号)の書き方一人・企業宛の書き分け①			
9回	実用書を学ぶ②	封筒の書き方と書式 大切な書類を入れる封筒(長形3号)の書き方一人・企業宛の書き分け②			
10回	実用書を学ぶ③	封筒の書き方と書式 履歴書が入るサイズの封筒(角形2号)の書き方一人・企業宛の書き分け③ 履歴書が入るサイズの封筒(角形2号)の書き方一差出人(自分の住所・氏名の練習)			
11回	実用書を学ぶ④	封筒まとめ 小テスト 色んな封筒の書き分けと共通点			
12回	実用書を学ぶ⑤	手紙文の書き方 内定後のお礼状の書き方一縦書きの書式 ～お礼状によく出てくる漢字の書き取り練習 お礼状を便箋に書く			
13回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書と行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス			
14回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方			
15回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方 まとめ			

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson			実務経験	無	
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義	
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)、接客英会話交通編					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Transportation Dialog: 8		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Sentences using nouns starting with H, Role play with Transportation Dialog			
2回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Transportation Dialog: 9		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: MyFavorite Restaurant Nouns starting with I, Role play with Transportation Dialog			
3回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Transportation Dialog: 9		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: MyFavorite Restaurant Sentences using nouns starting with I, Role play with Transportation Dialog			
4回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Transportation Dialog: 10		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with J, Role play with Transportation Dialog			
5回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Transportation Dialog: 10		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Sentences using nouns starting with J, Role play with Transportation Dialog			
6回	Warm Up: P7, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Transportation Dialog: 11		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with K, Role play with Transportation Dialog			
7回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Transportation Dialog: 11		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Sentences using nouns starting with K, Role play with Transportation Dialog			
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P23 Transportation Dialog: 12		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: My School Club Nouns starting with L, Role play with Transportation Dialog			
9回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P23 Transportation Dialog: 12		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: My School Club Sentences using nouns starting with L, Role play with Transportation Dialog			
10回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P24 Transportation Dialog: 13		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Music Interview Nouns starting with M, Role play with Transportation Dialog			
11回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P24 Transportation Dialog: 13		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Music Interview Sentences using nouns starting with M, Role play with Transportation Dialog			
12回	Warm Up: P9, Vocabulary: P14 Challenge Book: P25 Transportation Dialog: 14		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Farovite English Song Nouns starting with N, Role play with Transportation Dialog			
13回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 Challenge Book: P25 Transportation Dialog: 14		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Farovite English Song Sentences using nouns starting with N, Role play with Transportation Dialog			
14回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P26 Transportation Dialog: 15		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Travel Interview Nouns starting with O, Role play with Transportation Dialog			
15回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P26 Transportation Dialog: 15, test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Travel Interview Sentences using nouns starting with O, Role play with Transportation Dialog			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道実務			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
2回	踏切及び人身事故①	1.鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
3回	踏切及び人身事故②	1.列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い説明 ・運転士、車掌、指令員、駅員の対応を学ぶ ・お客様から見た処置内容について考える				
4回	停車に関わる取扱い①	1.列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い実践 ・モックアップを使用した運転士、車掌、指令員、駅員の対応を実践 ・各係員の対応について意見を深める				
5回	停車に関わる取扱い②	1.鉄道係員の対応について学ぶ ・想定に沿った係員の正確な対応を学ぶ ・実践に近い対応能力を身につける				
6回	異常事対応能力実践①	1.鉄道係員の対応について学ぶ ・想定を各班で考え、交換する ・想定に対する取扱いを各班毎発表する				
7回	異常事対応能力実践②	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する内容説明 ・構内作業に対する内容説明				
8回	駅作業ダイヤ①	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する駅員及び乗務員の運用を考える ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える				
9回	駅作業ダイヤ②	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える 2.車両周期に対する関係社員の取扱いを学ぶ				
10回	駅作業ダイヤ③	1.鉄道営業法に対する各鉄道企業の取り組み ・鉄道係員に対する勤務体制を知る				
11回	法定労働に関する取扱い	1.乗務員の勤務と他の係員の勤務の違い ・乗務員の勤務作成時の注意点を学ぶ				
12回	休日勤務に対する取扱い	1.鉄道会社における休日の取扱いを学ぶ 2.休日労働に対する考え方 3.年次有給休暇の取扱い				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道旅行プランニング			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	時刻表を用いたのプランニング作業 青春18切符の乗車行路と旅行ポスターの作成			授業形態	講義&演習	
到達目標	プランニング作業の充実、旅行窓口作業の充実					
使用テキスト	時刻表、講師作成資料					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.発表内容に説明				
2回	鉄道の旅①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う				
3回	鉄道の旅②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に似合ったプランニング作業を行う				
4回	定期観光バスの旅①	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
5回	定期観光バスの旅②	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
6回	船舶の旅①	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
7回	船舶の旅②	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
8回	航空の旅①	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
9回	航空の旅②	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
10回	各種切符の旅①	1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業				
11回	各種切符の旅②	1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業				
12回	ポスター作成①	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成				
13回	ポスター作成②	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成				
14回	発表用プログラム作成②	1.青春18切符乗車体験の報告資料のまとめ 2.発表用ポスターのまとめ 3.発表プログラムの決定				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 青春18切符乗車体験及びポスターの発表				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	コミュニケーション学			クラス	N
担当講師(フルネーム)	吉良 牧子			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	明日から使える「コミュニケーション」を考え 様々な環境下の中、自らが主体的に発信していくノウハウを学ぶ			授業形態	講義
到達目標	社会で活躍できる人材になる				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	自己紹介	これまでの自己紹介とこれからの自己紹介 話を聞いてもらうコツ 感じよい印象を残すためには			
2回	笑顔・挨拶	世界の挨拶 何のため、誰のため、することでどうなるの 第一印象を良くするためのレッスン			
3回	スピーチ	就職問題を使用してのスピーチ作成 勝ち取るスピーチ術			
4回	アンガーマネジメント	怒りのコントロールを学び職場でいかす 怒りのポイントは人それぞれ タイプ別怒りのコントロール			
5回	ブログコミュニケーション	おススメを他者にPRする方法 印象を残す文章 そこに集客力があるか、ないか			
6回	就職問題	問題を出題されたら、全てを自己PRに変える術			
7回	お礼状	暑中見舞い、年賀状の由来 周りが書かないから書く 人に会えないなら、色々な方法でコミュニケーションを図る			
8回	絵本コミュニケーション	子供とのコミュニケーション シンプルなメッセージを相手に伝える大切さ 絵本を仕上げて提出			
9回	3分間自己PR①	ネタ作り 文章作成 正しい敬語チェック			
10回	3分間自己PR②	発表 (状況によっては提出のみ) 3分間の時間チェック			
11回	男女別世代別	男性と女性の違いを学ぶ 世代によって考え方の違いや時代背景を学ぶ			
12回	DMフレーズ	感謝の気持ちを届ける どんな場面でどんな人にどう伝えるか			
13回	マインドマップ	頭の中を整理する 試験勉強や就職活動、ストレス軽減などに役立てる 作成⇒提出なし			
14回	エゴグラム	自身を知る 他者を知る 感想⇒提出			
15回	まとめ	自身を主人公に授業を通じて学んだことを1冊の絵本にする 提出			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	フレッシュエース教育			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	社会人になった際に学生と違う部分は何であるのかを、鉄道業界での事例を踏まえ学習する。			授業形態	講義	
到達目標	働く上で必要なことを知り、鉄道業界で働く心構えをし、早期離職を防ぐ					
使用テキスト	・講師作成プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度・授業に対する熱意・出席率・小テストなどにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	鉄道会社の組織図、鉄道業界でのキャリアパス、福利厚生・休日などについて				
2回	社会人の基礎について学ぼう	基本的な労働条件、労働・社会保険などを学ぶ。				
3回	会社の法律 ＝就業規則とは？	鉄道業界の就業規則の記載事項について学ぶ 社会人として必ず守らないといけないルールを知る				
4回	給料の内訳を知る	社会保険・労働保険・税金の意味を知り、 使えるお金の範囲で生活をシミュレーションする				
5回	QC活動	仕事に取り組む際には自ら目的意識を持ち、改善することが大切 鉄道業界におけるQC活動を学ぶ				
6回	ビジネス自己分析	これまでの振り返り、就職活動進捗状況報告 自分の行動パターン知ったうえで、上司・同僚・友人の行動パターンを学び どのように接したら円滑に仕事が進むかを考える				
7回	できる新入社員と言われ る ためには	報連相の基本 スケジュールリングの大切さ これだけは押さえないビジネスマナー				
8回	アフター5の過ごし方	懇親会のマナー 残業・休日出勤				
9回	マイクロリズム プランニング	近場の魅力を再発見するため、日帰り、または一泊二日の一人旅を企画				
10回	マイクロリズム プランニング 発表会	前週に作成したプランを各自で発表する				
11回	アンガーマネジメント	怒りのしほみを知り、コントロールする術を学び、円滑な社会人生活を送ることを目指す				
12回	メンタルヘルス	社会人に多いメンタル不調について学ぶ ストレスや悩みを抱え込まないためにはどうすればよいか検討する				
13回	ストレスタイプを知る	自分自身のストレスの受け方、傾向を知り、 ストレスに強いメンタルを養う				
14回	セルフケア	自分自身で心や身体についてケアするためストレス対処法や 心の健康において良くない状態であればそれを改善し、 良い状態であればそれを保ちながら、さらに良くするためにケアする方法を学ぶ				
15回	2年間のまとめ	働くことに関する総合的なテスト 2年間のまとめ これから社会に出る皆さんへメッセージ				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	手話			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	鶴田 由香			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	聴覚障害者の方への理解を深め、コミュニケーションのあり方の一つである手話を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	手話でのコミュニケーション、接客手話					
使用テキスト	手話を学ぼう 手話で話そう					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	第13講座 疑問詞の考え方	パーティのことを話しましょう 疑問詞を使つての会話				
2回	第14講座 旅行をテーマに表現	旅行に関する表現をつかってみよう				
3回	第15講座 病気に関する表現	病気に関する表現や聴覚障害者のお客様への対応				
4回	接客手話	お客様との応対時の手話 聴覚に障害があるお客様との応対法				
5回	第 17講座 職場での手話	職場でのコミュニケーション 卒業制作にむけて企画				
6回	第 19・20講座 動き・様子・形	表情豊かに・具体的に表現する 動きや様子・形をイメージで				
7回	第 21・22 表現の違い	具体的に表現するとは 手話で伝えるポイント				
8回	第23・24講座 位置や方向の工夫	主語をわかりやすく				
9回	第25・26講座 複数の会話	複数での会話、役割の切り替え				
10回	第27・28 講座 指さしの表現	複数人数の会話での指さしのやり方 卒業制作にむけて				
11回	第 29・30 空間の利用	空間での位置関係 卒業制作にむけて				
12回	第31・32 指の代理的表現	両手をつかつての表現 卒業制作にむけて				
13回	鉄道関係での手話	鉄道での聴覚障害に対する応対 卒業制作にむけて				
14回	聴覚障害とコミュニケーション	音のないことば・コミュニケーションとは 卒業制作にむけて				
15回	手話とは	手話の総復習				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道 科	
科目名	コンピュータ			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。社会人として必要なパソコンスキルの活用力・応用力を習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末試験60% パワーポイント提出課題20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	パソコン活用	Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 ビジネスメールの形式とマナー①				
2回	パソコン活用	Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 ビジネスメールの形式とマナー②				
3回	Excel基礎	タイピングレッスン Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数				
4回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
5回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
6回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)				
7回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 関数(IF関数など)				
8回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習①				
9回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習②				
10回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習③				
11回	PowerPoint活用	パワーポイントでXmasショートムービーを作ってLINEで送ろう！ ストーリーを考えて、画像など必要なコンテンツを準備				
12回	PowerPoint活用	パワーポイントでXmasショートムービーを作ってLINEで送ろう！ スライドを仕上げ、アニメーション・画面切り替え・サウンドなどの効果を付ける 動画に変換し、クラウドを活用してスマホに送る				
13回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習④				
14回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習⑤				
15回	後期期末試験	表計算技能処理検定 2級相当の模擬試験				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	秋満 陽子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	街中で外国人に接する際に使用する様々な会話表現を学び、基本的な英語応対能力を身につける。			授業形態	講義	
到達目標	様々な場面で使用する会話表現を学び、英語で応対できるようになる。					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	・2回の確認テスト80点 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	検定対策①	英語応対能力検定対策 単語パート、文法パート 対策問題 長文朗読対策、リスニング対策				
2回	検定対策②	英語応対能力検定対策 スピーキングパート対策 直前総復習				
3回	導入授業 会計①	イントロダクション(後期授業内容・評価方法について) 英語応対能力検定と前期の振り返り 【会計】会計時に使用する会話フレーズ①				
4回	会計②	【会計】 会計時に使用する会話フレーズとリスニング② スピーキングプラクティス&ロールプレイ				
5回	飲食店①	【飲食店】 飲食店で使用する会話フレーズとリスニング 席に案内する、注文をとる、料理を説明するなど				
6回	飲食店②	【飲食店】 飲食店で使用する会話フレーズとリスニング スピーキングプラクティス&ロールプレイ				
7回	スピーキングテスト	前半の確認テスト 【範囲】会計&飲食店で使用するフレーズ スピーキングテスト				
8回	スピーキングテスト	前半の確認テスト 【範囲】会計&飲食店で使用するフレーズ スピーキングテスト				
9回	電話応対	【電話応対】 電話応対で使用する独特の会話フレーズ スピーキングプラクティス&ロールプレイ				
10回	道案内	【道案内】 道案内で使用する会話フレーズ スピーキングプラクティス&ロールプレイ				
11回	交通機関①	【乗り物】 交通機関で使用する会話フレーズとリスニング 乗り場、料金、所要時間、遅延、欠航など案内する				
12回	交通機関②	【乗り物】 交通機関で使用する会話フレーズとリスニング スピーキングプラクティス&ロールプレイ				
13回	スピーキングテスト	後半の確認テスト 【範囲】交通機関で使用するフレーズ スピーキングテスト				
14回	スピーキングテスト	後半の確認テスト 【範囲】交通機関で使用するフレーズ スピーキングテスト				
15回	総括	後期授業の総括 授業内で学んだフレーズの復習				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	社会情勢研究			クラス	N
担当講師(フルネーム)	前田恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	新聞を用いて話題性の高い時事ニュースを読み解く			授業形態	講義
到達目標	時事ニュースについて自分の意見を述べられるようになる				
使用テキスト	オリジナルプリント				
成績評価方法	・期末試験 50% 平常点 50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	ニュースの発信源	・授業の進め方、評価方法について理解する ・新聞を読む意義を理解する・授業の進め方、評価方法について理解する ・日本および主要国の新聞社、通信社を知る			
2回	新聞の構成	・新聞の構成を知る ・新聞から必要な情報を探し出せるようになる			
3回	時事を学ぶ①	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
4回	新聞研究①	・記事をジャンル分けできるようになる ・記事の要旨を「5W1H」を意識してまとめられるようになる			
5回	時事を学ぶ②	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
6回	新聞研究②	・難解な語彙を調べながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨とともに、自分の意見も述べられるようになる			
7回	時事を学ぶ③	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
8回	新聞研究③	・記事の背景を理解しながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨を自分の意見とともに発表できるようになる			
9回	時事を学ぶ④	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
10回	新聞研究④	・興味の幅を広げて、記事を読むことができる ・発表内容を聞き、要旨を理解することができる			
11回	時事を学ぶ⑤	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
12回	新聞研究⑤	・グループで研究テーマを決めて、発表準備をする			
13回	新聞研究⑥	・研究テーマについてグループで発表準備をする			
14回	新聞研究⑦	・グループごとに研究発表をする			
15回	新聞研究⑧	・グループごとに研究発表をする			

国際ホテルマネジメント

学年	科目名	クラス
1	ホテル総論	U
1	フロントサービス	U
1	レストランオペレーション	U
1	日本語ビジネス会話	U
1	日本地理	U
1	現代国語	U
1	コンピュータ	U
1	実習前教育	U
1・2	日本語能力試験対策Ⅰ（語彙）	TU①②
1・2	日本語能力試験対策Ⅱ（聴解・漢字）	TU①②
1・2	日本語能力試験対策Ⅲ（文法）	TU①②
1・2	日本語能力試験対策Ⅳ（読解）	TU①②
2	ソムリエ&バーテンダー	T
2	フロントオフィス	T
2	ホテル業界研究	T
2	SPⅠ対策（言語・非言語）	T
2	日本語ビジネス会話	T
2	TOEICⅠ	T
2	TOEICⅡ	T
2	ペン字	T
2	面接対策	T
2	コンピュータ	T
3	ホテルセールス	S
3	ホテルマネジメント	S
3	フレッシュエズ教育	S
3	日本語読解	S
3	ビジネス日本語	S
3	コミュニケーションイングリッシュ	S
3	マナープロトコール	S
3	日本語能力試験対策Ⅰ	S
3	日本語能力試験対策Ⅱ	S
3	ホスピタリティ概論	S
3	レストラン実技	S

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル総論			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内外のホテル産業の歴史と変遷 ホテル各部門の業務内容			授業形態	講義	
到達目標	ホテル総論ビジネスの基本構造を理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト 基礎から学ぶホテルの概論					
成績評価方法	・試験50% 提出物、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	第4章ホテル産業の特徴	ホテル商品の特殊性 ホテルの社会的役割				
2回	第5章ホテル内での様々な職種	宿泊・料飲・宴会部門 管理・営業・調理部門				
3回	第6章宿泊部門の基礎知識	客室タイプ 客室料金				
4回	第6章宿泊部門の基礎知識	宿泊業務の流れ				
5回	第6章宿泊部門の基礎知識	イールドマネジメント				
6回	第7章料飲部門の基礎知識	料飲施設の種類 各国料理について				
7回	第8章宴会部門の基礎知識	婚礼・一般宴会				
8回	第9章ホテルスタッフに求められる能力	基本的な知識 求められる資質・能力				
9回	第10章ホテルを取り巻く環境	旅行会社とのかかわり インターネット予約				
10回	第10章ホテルを取り巻く環境	高級化と低価格化				
11回	第11章ホテルの社会的責任	個人情報やプライバシーを守るための取り組み				
12回	第11章ホテルの社会的責任	防災・食中毒への対応				
13回	第12章これからのホテル	環境への配慮				
14回	第12章これからのホテル	これから求められるサービス 新しいコンセプト				
15回	まとめ	後期まとめ ホテル用語復習				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントサービス			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	宿泊部門(ベルマン、客室係、コンシェルジュ)業務の習得。 また、それに関連する他部署の業務についての知識を学ぶ。			授業形態	講義&演習	
到達目標	宿泊部門(ベルマン、客室係、コンシェルジュ)と関連部署についての業務内容の理解と技術の習得。					
使用テキスト	ホテルテキスト 宿泊Ⅱ フロント・サービス編					
成績評価方法	・期末試験50% 実技試験20% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	成績評価と授業スケジュールの説明 前期期末試験の返却と解説 ベルマン(その他の業務)				
2回	ベルマンの業務	デリバリー・バゲッジイン ドアオープン 宅配便の取り扱い	新聞の配達と発注 タクシー、ハイヤー、リムジンバス 旗の取り扱い(掲揚・降納)			
3回	クローク係の業務	クローク係とは クロークルームの整理と準備 クローク業務の作業手順				
4回	クローク係の業務	クローク業務の作業手順 クローク業務(実践)				
5回	客室部門の業務	客室部門の業務の概要 客室についての基礎知識				
6回	客室部門の業務	客室についての基礎知識 客室内の設備・備品				
7回	客室部門の業務	客室整備の手順 ベッドルームの清掃(OUT清掃)				
8回	客室部門の業務	ベッドルームの清掃(OUT清掃) ベッドルームの清掃(STAY清掃) ルームインスペクション				
9回	客室部門の業務	ランドリーサービス ターンダウンサービス デリバリーサービス その他のサービス				
10回	客室部門の業務	客室清掃(実践) ベッドメイキング				
11回	客室部門の業務	ベッドメイキングの練習				
12回	実技試験	ベッドメイキングの実技試験				
13回	コンシェルジュの業務	コンシェルジュとは コンシェルジュの業務				
14回	後期まとめ	後期の学習内容についてのまとめ、振り返り				
15回	期末試験	後期期末試験を実施				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	レストランオペレーション			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	前期に引き続きレストランサービスの知識を身に付ける			授業形態	講義	
到達目標	サーバー、チューリンサービスをマスターする					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		前期の復習と夏の振り返り 皿持ち復習			
2回	日本料理		日本料理の基本知識 お箸練習、和室での立ち居振る舞い			
3回	中国料理		四大中国料理の特徴を知る サーバー練習			
4回	バンケットサービス		MICE、ワーキング・ディナー 立食パーティーのマナー、サービス			
5回	レストランの値段		原価率のお話 モノの値段の決め方を学ぶ			
6回	レストランマーケティング①		マーケティングの基本 売れているモノが売れている理由 接客業で必要な消費者心理を学ぶ			
7回	レストランマーケティング②		POP作り 作品プレゼンテーション			
8回	ユニバーサルサービス		ご年配、体が不自由なお客様の注意点 お出迎え～食事のサービス～お見送り			
9回	ユニバーサルサービス		車いすの基本操作方法を学ぶ			
10回	レストランウェディング		レストランウェディングの特徴 幸せを呼ぶアイテムたち			
11回	グループワーク		テーブルコーディネートプラン作成			
12回	グループワーク		テーブルコーディネートの作成と撮影			
13回	ソースアート		基本的なソースアートを覚えて実践			
14回	実技練習		期末試験 制限時間内にロールプレイング			
15回	まとめ		期末試験の振り返り			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語ビジネス会話			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	入江 千治			実務経験	無	
授業概要(内容)	・ビジネスの場面での会話表現を日本事情とともに学ぶ。 ・学んだ会話表現を学生同士で練習、発表をする。			授業形態	講義	
到達目標	仕事で使う日本語表現を学び、状況に応じて、自然な対応ができる。					
使用テキスト	『初中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語—場面に合わせて適切に話そう—』(スリーエーネットワーク)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	1～7課 復習		<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ 			
2回	8課		<ul style="list-style-type: none"> ・8課 聞くタスク/モデル会話/練習問題 ・ロールプレイ1, 2 			
3回	8課/9課		<ul style="list-style-type: none"> ・8課 復習/ロールプレイ3 ・応用タスク/8課小テスト(語彙表現) ・9課 聞くタスク/モデル会話/練習問題 			
4回	9課		<ul style="list-style-type: none"> ・9課 復習 ・ロールプレイ1～3 ・応用タスク/9課小テスト(語彙表現) 			
5回	10課		<ul style="list-style-type: none"> ・10課 聞くタスク/モデル会話/練習問題 ・ロールプレイ1, 2 			
6回	10課		<ul style="list-style-type: none"> ・10課 復習/ロールプレイ3 ・応用タスク/10課小テスト(語彙表現) 			
7回	8～10課復習		<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ ・語彙、表現の確認 			
8回	11課		<ul style="list-style-type: none"> ・11課 聞くタスク/モデル会話/練習問題 ・ロールプレイ1, 2 			
9回	11課/12課		<ul style="list-style-type: none"> ・11課 復習/ロールプレイ3 ・応用タスク/11課小テスト(語彙表現) ・12課 聞くタスク/モデル会話/練習問題 			
10回	12課		<ul style="list-style-type: none"> ・12課 復習 ・ロールプレイ1～3 ・応用タスク/12課小テスト(語彙表現) 			
11回	13課		<ul style="list-style-type: none"> ・13課 聞くタスク/モデル会話/練習問題 ・ロールプレイ1, 2 			
12回	13課/14課		<ul style="list-style-type: none"> ・13課 復習/ロールプレイ3 ・応用タスク/13課小テスト(語彙表現) ・14課 聞くタスク/モデル会話/練習問題 			
13回	14課		<ul style="list-style-type: none"> ・14課 復習 ・ロールプレイ1～3 ・応用タスク/14課小テスト(語彙表現) 			
14回	11～14課 復習		<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ ・語彙、表現の確認 			
15回	総まとめ		<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本地理			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日本の主な都市にある観光地を学び、観光資源としての伝統行事も知っていく			授業形態	講義	
到達目標	観光地の提案ができる土台を作る					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	福岡市内の観光	授業方針、評価方法の説明 公共交通機関で行く福岡市内1日観光を考える おみやげを選ぶ				
2回	九州①	佐賀、佐世保、長崎の観光地 有田陶器市、唐津くんち、長崎くんち ハウステンボスで泊まる				
3回	九州②	熊本、大分、宮崎の観光地 別府で泊まる、湯布院で泊まる				
4回	九州③・沖縄	鹿児島、宮崎、沖縄本島・離島の観光地				
5回	中国・四国	中国・四国地方の代表的な観光地				
6回	関西(近畿)①	大阪市内から各観光地への行き方 京都、奈良、和歌山				
7回	関西(近畿)②	京都市内観光 京都三大祭 京都ディスティネーションキャンペーン「京の冬の旅」例年1月～3月				
8回	中部(北信越)	福井、石川の観光地 新潟、長野のスキー場 北信越の夏の観光				
9回	中部(東海)	名古屋市内観光 岐阜/高山の観光 三重/伊勢志摩の観光				
10回	関東	東京都内の観光 横浜、鎌倉、川越の観光				
11回	箱根・日光	東京から箱根へ行く 東京から日光へ行く				
12回	富士山の観光	富士山へ行く ①登山をする場合 ②山裾から観光をする場合				
13回	東北	東北の冬の観光と夏の観光 東北四大祭				
14回	北海道	北海道の冬の観光と夏の観光 さっぽろ雪まつり				
15回	好きな観光地	観光地を3つ決めて、観光地の案内を作成する 時間内に作成して提出				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	現代国語			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	前田恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・名作文学を読み、日本語のいろいろな表現を学ぶ ・時事に関する文章を読み理解する			授業形態	講義	
到達目標	いろいろな日本語表現を読めるようになる					
使用テキスト	オリジナルプリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	声をそろえる	前期期末試験のフィードバック 後期授業の進め方、評価方法についての説明 声をそろえて音読できるようにしましょう				
2回	登場人物の気持ち	名作文学を楽しく読みましょう 登場人物の気持ちを考えながら読みましょう				
3回	物語の背景	名作文学を楽しく読みましょう 物語の背景を考えながら読みましょう				
4回	役割語	名作文学を楽しく読みましょう 役割語に注意しながら読みましょう				
5回	作者の意図	名作文学を楽しく読みましょう 作者が何を伝えようとしているか考えながら読みましょう				
6回	古典作品	名作文学を楽しく読みましょう むかしの日本語を使った物語にも挑戦してみましょう				
7回	方言	名作文学を楽しく読みましょう 地域で使う言葉(方言)の違いを勉強しましょう				
8回	イントネーション	名作文学を楽しく読みましょう イントネーションに気をつけながら音読しましょう				
9回	間(ま)	名作文学を楽しく読みましょう 間(ま)に気をつけて音読しましょう				
10回	物語の要旨	名作文学を楽しく読みましょう 話の内容を自分のことばで説明しましょう				
11回	物語の感想	名作文学を楽しく読みましょう 話を読んだ感想を書きましょう				
12回	感想を発表する	名作文学を楽しく読みましょう 感想を発表しましょう				
13回	聞き取り①	名作文学を楽しく読みましょう 簡単なディクテーションをしましょう				
14回	聞き取り②	名作文学を楽しく読みましょう 漢字、句読点を混ぜながらディクテーションをしましょう				
15回	後期期末試験	後期に学習した内容をテストで確認しましょう。				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	キーボード操作のマスター。誤字脱字なく、形式にのっとった日本のビジネスレターができるようになる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験40% 提出課題40%(Word20%、ppt20%) 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 短文入力、表作成・文書入力 キーボードの各キーの意味と使い分けの再確認				
2回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 文章入力 コンテンツの追加(画像、イラスト)				
3回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 文章入力 コンテンツの追加(画像、イラスト)				
4回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 出身地紹介ポスターを作る				
5回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 出身地紹介ポスターを作る				
6回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 出身地紹介ポスター(発表)				
7回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 出身地紹介ポスター(発表)				
8回	PowerPoint基礎	パワーポイントの画面構成と基本操作 スライド作成と編集① 文字入力と装飾、図形・画像・動画などコンテンツの挿入と編集 サンプルスライド「パブルティーカフェの提案」				
9回	PowerPoint基礎	スライド作成と編集② スライドショーのための効果 アニメーション・画面切り替え効果、効果音・サウンド・BGMの挿入 サンプルスライド「パブルティーカフェの提案」				
10回	PowerPoint基礎	スライド作成と編集③ 発表したい内容をまとめて、ワードで作成からスライド作成 スライドテーマ「課題」				
11回	PowerPoint基礎	スライド作成と編集④ スライドの仕上げ・スライドショーの確認とリハーサル サンプルスライド「課題」				
12回	PowerPoint基礎	プレゼンテーション 発表				
13回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
14回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
15回	後期始末試験	Word タイピング・ビジネス文書				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	実習前教育			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	企業実習の目的を理解させ、実りある就業体験となるように準備させる。履歴書作成並びに、出退勤の規律、業務中の態度等「働く姿勢」の理解。			授業形態	講義	
到達目標	実習用履歴書の完成並びに企業実習に臨む心構えの育成					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・平常点100%(出席状況、授業態度及び取組み姿勢による) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方と企業実習の心構え 過去の実習先の紹介				
2回	履歴書の書き方①	履歴書の記入項目の説明と演習 ・基本情報(プロフィール欄)				
3回	履歴書の書き方②	履歴書の記入項目の説明と演習 ・学歴と職歴、免許と資格				
4回	履歴書の書き方③	履歴書の記入項目の説明と演習 ・志望動機				
5回	履歴書の書き方④	履歴書の記入項目の説明と演習 ・志望動機				
6回	履歴書の書き方⑤	履歴書の記入項目の説明と演習 ・自己PR				
7回	履歴書の書き方⑥	履歴書の記入項目の説明と演習 ・自己PR				
8回	履歴書の書き方⑦	履歴書の記入項目の説明と演習 ・得意学科、趣味特技				
9回	履歴書の書き方⑧	履歴書の記入項目の説明と演習 ・実習・アルバイト等				
10回	履歴書の書き方⑨	履歴書の記入項目の説明と演習 ・提出用履歴書の記入とチェック				
11回	面接対策①	面接マナー ・自己紹介				
12回	面接対策②	面接マナー ・志望動機(企業実習で何を学びたいか)				
13回	実習報告書の書き方①	実習報告書の書き方 ・実習報告書の記入(会社・施設概要)				
14回	実習報告書の書き方②	実習報告書の書き方 ・実習報告書の記入(研修目標)				
15回	授業のまとめ	企業実習の目標発表と実習期間中の注意事項、禁止事項の確認 ・2年時授業と2回目の企業実習につなげるために、実習期間をどう過ごすか				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)			クラス	TU①	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N1語彙対策			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	とりあえず日本語能力試験対策N1文字・語彙・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	N1文字・語彙	授業の進め方・評価方法について 第7回				
2回	N1文字・語彙	小テスト ディクテーション 第7回				
3回	N1文字・語彙	小テスト ディクテーション 第8回				
4回	N1文字・語彙	小テスト ディクテーション 第8回				
5回	N1文字・語彙	小テスト ディクテーション 第9回				
6回	N1文字・語彙	小テスト ディクテーション 第9回				
7回	N1文字・語彙	小テスト ディクテーション 第10回				
8回	N1文字・語彙	クラスでの模擬テスト+FB				
9回	模擬試験	共通模擬試験				
10回	直前対策	復習				
11回	N1文字・語彙	小テスト ディクテーション 第10回				
12回	語彙トレーニング	ディクテーション 意味・使い方を確認する				
13回	語彙トレーニング	ディクテーション 意味・使い方を確認する				
14回	語彙トレーニング	ディクテーション 意味・使い方を確認する				
15回	期末試験	期末試験+FB				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)			クラス	TU②	
担当講師(フルネーム)	小川 剛			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N2語彙対策 ・ 語彙ノートをつける習慣を身につける。 授業前の予習で意味の確認、コロケーションを意識した例文の音読しておく。			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2合格 または 同等の日本語語彙力をつける。					
使用テキスト	(改訂版) 耳から覚える日本語能力試験文字語彙トレーニングN2					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	前期 期末試験FB				
2回	Unit03	形容詞A 221～238				
3回	Unit03	形容詞A 239～255				
4回	Unit03	動詞A 256～270				
5回	Unit03	形容詞A 練習問題				
6回	Unit04	名詞B 271～283				
7回	Unit04	名詞B 284～299				
8回	Unit04	名詞B 300～320				
9回	Unit04	名詞B 練習問題 271～320				
10回	Unit04	名詞B 321～335				
11回	模擬試験					
12回	Unit04	名詞B 336～354				
13回	Unit4	名詞B 355～370				
14回	Unit04	名詞B 練習問題 321～370 ・ 確認問題				
15回	期末テスト					

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)			クラス	TU①クラス
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無
授業概要(内容)	語彙を音で認識できるようにスクリプトで確認する			授業形態	講義
到達目標	JLPTN1合格 コミュニケーション能力を高める				
使用テキスト	スピードマスターN1 聴解 20日で合格 N1				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	スピードマスター問題1 20日で合格 1日目	課題理解 音と語彙が一致するようにスクリプトで確認 トピックが何かを把握する 提出頻度の高い漢字の読み 長音や促音を確認			
2回	スピードマスター問題1 20日で合格 2日目	課題理解 音と語彙が一致するようにスクリプトで確認 トピックが何かを把握する 提出頻度の高い漢字の読み 長音や促音を確認			
3回	スピードマスター問題2 20日で合格 3日目	ポイント理解 事前に示されたものを ポイントを絞って聞く練習 提出頻度の高い漢字の読み 長音や促音を確認			
4回	スピードマスター問題2 20日で合格 4日目	ポイント理解 事前に示されたものを ポイントを絞って聞く練習 提出頻度の高い漢字の読み 長音や促音を確認			
5回	スピードマスター問題3 20日で合格 5日目	概要理解 話者の主張や意図を理解して聞く練習 提出頻度の高い漢字の読み 長音や促音を確認			
6回	スピードマスター問題3 20日で合格 6日目	概要理解 話者の主張や意図を理解して聞く練習 提出頻度の高い漢字の読み 長音や促音を確認			
7回	スピードマスター問題4 20日で合格 7日目	即時応答 短い会話の中から 正しい応答を選択する 敬語の理解を図る 提出頻度の高い同じ意味の漢字を選ぶ練習			
8回	スピードマスター問題4 20日で合格 8日目	即時応答 短い会話の中から 正しい応答を選択する 敬語の理解を図る 提出頻度の高い同じ意味の漢字を選ぶ練習			
9回	復習	十分に理解が図れなかったところの復習			
10回	スピードマスター問題5 20日で合格 9日目	統合理解 長めの会話なので キーワードを書きとれなければ 正解は難しい 提出頻度の高い同じ意味の漢字を選ぶ練習			
11回	スピードマスター問題5 20日で合格 10日目	統合理解 長めの会話なので キーワードを書きとれなければ 正解は難しい 提出頻度の高い同じ意味の漢字を選ぶ練習			
12回	JLPT対策テスト				
13回	模擬テスト問題1-2 20日で合格 11日目	模擬テストで全体としての理解度を図る			
14回	模擬テスト問題3-4 20日で合格 12日目	模擬テストで全体としての理解度を図る			
15回	学期末テストとFB				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)			クラス	TU②	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N2 聴解・漢字対策			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2合格					
使用テキスト	プリント (N2漢字スピードマスター、ドリルアンドドリルN2聴解など)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	N2漢字・聴解	授業の進め方・評価方法について ユニット4-1・2				
2回	N2漢字・聴解	漢字小テスト ユニット4-3・4				
3回	N2漢字・聴解	漢字小テスト ユニット4-5 聴解				
4回	N2漢字・聴解	漢字小テスト ユニット5-1・2				
5回	N2漢字・聴解	漢字小テスト ユニット5-3・4				
6回	N2漢字・聴解	漢字小テスト ユニット5-5 聴解				
7回	N2漢字・聴解	漢字小テスト ユニット6-1・2				
8回	N2漢字・聴解	クラス内模擬テスト+FB				
9回	模擬試験	共通模擬試験				
10回	N2漢字・聴解	漢字小テスト ユニット6-3・4				
11回	N2漢字・聴解	漢字小テスト ユニット6-5 聴解				
12回	N2漢字・聴解	漢字小テスト ユニット4まとめ問題 聴解				
13回	N2漢字・聴解	ユニット5まとめ問題 聴解				
14回	N2漢字・聴解	ユニット6まとめ問題 聴解				
15回	期末試験	期末試験+FB				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)			クラス	TU①クラス	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無	
授業概要(内容)	配布した教材の自宅学習を前提に授業をすすめる。提出範囲は限られているので繰り返しの学習が高得点の要因になる			授業形態	講義	
到達目標	JLPTN1合格 N1文法を使って会話ができる					
使用テキスト	日本語能力試験ベスト問題集N1 パワードリル N1 耳から覚える文法					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	第3週1日目 パワードリル23日目	文型式 文法の意味だけでなく活用形も正しく覚える				
2回	第3週2日目 パワードリル24日目	文型式 文法の意味だけでなく活用形も正しく覚える				
3回	第3週3日目 パワードリル25日目	文の組み立てと文法形式 中心となる文型がわかり後件の文とのつながりがわかれば並び方はわかってくる 点が取れる問題なので 取りこぼしが内容に注意する。★の位置にも注意				
4回	第3週4日目 パワードリル26日目	文の組み立てと文法形式 中心となる文型がわかり後件の文とのつながりがわかれば並び方はわかってくる 点が取れる問題なので 取りこぼしが内容に注意する ★の位置にも注意				
5回	第3週5日目 パワードリル27日目	文の組み立てと文法形式 中心となる文型がわかり後件の文とのつながりがわかれば並び方はわかってくる 点が取れる問題なので 取りこぼしが内容に注意する。★の位置にも注意				
6回	第4週1日目 パワードリル28日目	文章の文法 2点×5=10点配分の問題なので しっかり取り組んでいきたい 文の前後の関係を把握して 正解を選ぶ 文が長いので全部を読んでいると時間が足りなくなるので 必要な部分だけを読む練習をする				
7回	第4週2日目 パワードリル29日目	文章の文法 2点×5=11点配分の問題なので しっかり取り組んでいきたい 文の前後の関係を把握して 正解を選ぶ 文が長いので全部を読んでいると時間が足りなくなるので 必要な部分だけを読む練習をする				
8回	第4週3日目 パワードリル30日目	文章の文法 2点×5=12点配分の問題なので しっかり取り組んでいきたい 文の前後の関係を把握して 正解を選ぶ 文が長いので全部を読んでいると時間が足りなくなるので 必要な部分だけを読む練習をする				
9回	復習	これまでの確認テストを行い 理解の定着を図る 十分に説明できていない部分の補正をする				
10回	耳から覚えるまとめⅠ	提出分野を制限し、例文を参考にN1文法を使って自身の文が作れるように練習する				
11回	耳で覚えるまとめⅡ	提出分野を制限し、例文を参考にN2文法を使って自身の文が作れるように練習する				
12回	JLPT対策テスト					
13回	耳で覚える ディクテーションunit 6	提出分野を制限し、例文を参考にN2文法を使って自身の文が作れるように練習する				
14回	耳で覚える ディクテーションunit 7	提出分野を制限し、例文を参考にN2文法を使って自身の文が作れるように練習する				
15回	学期末テストとFB					

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)			クラス	TU②	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N2対策			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2合格					
使用テキスト	プリント (耳から覚える文法トレーニングN2、パワードリルN2文法)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	N2文法	授業の進め方・評価方法について パワードリル13回				
2回	N2文法	ユニット5				
3回	N2文法	ユニット5				
4回	N2文法	ユニット5				
5回	N2文法	パワードリル14回				
6回	N2文法	ユニット5				
7回	N2文法	パワードリル15回				
8回	N2文法	クラス内模擬テスト+FB				
9回	模擬試験	共通模擬試験FB				
10回	N2文法	パワードリル16回				
11回	N2文法	ユニット6				
12回	N2文法	ユニット6				
13回	N2文法	ユニット6				
14回	N2文法	ユニット6				
15回	期末試験	期末試験+FB				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)			クラス	TU①	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N1読解対策 読解問題を解く			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	N1読解	授業の進め方・評価方法について 読解問題の解き方のポイント				
2回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
3回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
4回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
5回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
6回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
7回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
8回	N1読解	クラス内模擬テスト+FB				
9回	模擬試験	共通模擬試験FB				
10回	N1読解	直前対策				
11回	N1読解	読みもの				
12回	N1読解	読みもの				
13回	N1読解	読みもの				
14回	N1読解	読みもの				
15回	期末試験	期末試験+FB				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)			クラス	TU②クラス
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無
授業概要(内容)	配布した教材に基づいて 読解問題の解き方の理解 正解のへ過程を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	JLPTN2合格				
使用テキスト	必ずできる JLPT 読解 N2				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション ウォーミングアップ7・8 レベル2 第11日目	N2前半レベルの文法や副詞の理解の確認			
2回	レベルアップ 12日目 レベルアップ 13日目	難度の高い引用文から 文脈を推測する練習 短文～中文			
3回	レベルアップ 14日目 レベルアップ 15日目	語彙の意味や図から文章を読み取る練習 短文・中文			
4回	復習	11～15日までの復習 語彙・漢字の確認			
5回	レベルアップ 16日目 ウォーミングアップ 9・10	N2後半レベルの文法や副詞の理解の確認			
6回	レベルアップ 17日目	長文で更に難易度が高い文章の文脈の取り方を学ぶ 長文 情報検索			
7回	レベルアップ 18日目	長文で更に難易度が高い文章の文脈の取り方を学ぶ 長文・情報検索・要点のまとめ			
8回	レベルアップ 19日目	長文で更に難易度が高い文章の文脈の取り方を学ぶ 長文・情報検索・要点のまとめ			
9回	レベルアップ 20日目	長文で更に難易度が高い文章の文脈の取り方を学ぶ 長文・情報検索・要点のまとめ			
10回	レベルアップ 21日目	長文で更に難易度が高い文章の文脈の取り方を学ぶ 長文・情報検索・要点のまとめ			
11回	レベルアップ 22日目	長文で更に難易度が高い文章の文脈の取り方を学ぶ 長文・情報検索・要点のまとめ			
12回	JLPT対策テスト				
13回	上級で学ぶ日本語	長めの文を読んだ後 内容理解テストと語彙の確認テスト			
14回	上級で学ぶ日本語	長めの文を読んだ後 内容理解テストと語彙の確認テスト			
15回	学期末テストとFB				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	ソムリエ&バーテンダー			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	水田勇太			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	酒類に興味を持ってもらい、レストラン・バー業務に活かすこと。 現場での業務が円滑に行える、お客様との会話のツールにする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	バーラウンジにおける接客、お酒の基礎知識また、基本習得					
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ バーラウンジ編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	シラバス説明	前期講義概要、バーラウンジについて、ホスピタリティーとは				
2回	酒類の定義と分類	酒類の詳細				
3回	ワインの基礎知識	ワインの歴史、酒類				
4回	ワイン用ブドウについて	ワイン用ブドウ栽培、栽培地域、土壌について				
5回	カクテルの基礎	カクテル概要				
6回	カクテル基礎知識	器具、カクテル作成について				
7回	カクテル実技	カクテル作成				
8回	フランスワインについて	フランスワイン概要、主要産地の特徴				
9回	イタリア、ドイツワイン	イタリア、ドイツワインの特徴				
10回	その他ワイン産地	アメリカ、ニュージーランドなどのワインの特徴				
11回	ワインと料理の相性	ソムリエの役割、マリアージュ、ペアリングについて				
12回	ワインサービス実技	プレゼン、抜栓の練習				
13回	ワインサービス実技	スパークリング、白、赤ワインのサーブ。ソー、パニエ、デカンタージュ、エアレーションについて 期末試験について				
14回	ワインサービス実技	ワインの表現、売上を上げるソムリエについて。 期末試験				
15回	前期まとめ	解答、復習				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロント・オフィス			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	フロント・オフィス業務についての基本知識を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	予約からチェックアウトまでの流れを理解し接客スキルを磨く					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊Ⅰフロントオフィス編					
成績評価方法	・期末試験50%、実技・レポート・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期復習		前期復習			
2回	レセプション業務		チェックアウト業務 ナイト業務			
3回	レセプション業務		デイリールームレポート			
4回	レセプション業務		デイリールームレポート			
5回	フロントキャッシャー業務		ホテルビル サービス料と税金 宿泊料金計算			
6回	フロントキャッシャー業務		宿泊料金計算 外貨両替			
7回	フロントキャッシャー業務		清算手順と方法			
8回	フロントキャッシャー業務		清算手順と方法			
9回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技			
10回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技			
11回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技(評価)			
12回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技(評価)			
13回	コンシェルジュ		コンシェルジェの歴史 レクレドール コンシェルジェの業務			
14回	コンシェルジュ		インフォメーションの種類と手順 防犯業務			
15回	コンシェルジュ		後期まとめ			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	ホテル業界研究			クラス	T
担当講師(フルネーム)	松岡 尚美			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	現在の日本のホテル産業の現状を理解し、習得した知識を企業実習へ展開できるよう、業界に対しての学びと気づき、知識を増やす。			授業形態	講義
到達目標	テキストでは学び得ないことを自主的に学び、ホスピタリティ産業としての考え方やキャリア形成を明確にする事ができる。				
使用テキスト	適宜にプリント、情報誌、動画等活用				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	オリエンテーション	授業内容説明 観光産業の現状とホテル産業の概要 就職先のホテルを考える			
2回	実務者として必要な基本知識	ホテルのキャリアマップ ホスピタリティ・マインド			
3回	ホテルの就職について	給与体系、福利厚生について			
4回	ホテル研究	福岡市内のホテルの企業研究			
5回	ホテル研究	東京都内のホテルの企業研究			
6回	ホテル研究	テーマパークホテルの企業研究			
7回	ホテル研究	関西地区のホテルの企業研究			
8回	ホテル研究	リッツカールトン、星野リゾートの企業研究			
9回	ホテル種類別研究	ホテル研究発表に向けチーム編成、テーマの決定			
10回	ホテル種類別研究	テーマに沿ったホテル資料収集			
11回	ホテル種類別研究	パワーポイントプレゼンテーション作成			
12回	ホテル種類別研究	パワーポイントプレゼンテーション作成			
13回	研究発表	プレゼンテーション			
14回	テスト・まとめ	試験			
15回	まとめ	後期授業のふりかえり			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI対策			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野の対策			授業形態	講義	
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力をつける					
使用テキスト	専門学校生のための就職筆記試験対策問題集 (ウイネット)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	SPIを知る	授業方針説明、SPI検査の内容を再確認 SPI言語 同意語(意味や内容が近い語) * 夏休みの課題(四字熟語)提出				
2回	日本の特産品	日本地理 ①都道府県名、県庁所在地の確認 SPI言語 反意語(意味や内容が反対の語) SPI非言語 損益算①				
3回	四字熟語	四字熟語テスト①夏休みの課題(四字熟語)を6回に分けて小テスト 日本地理 ②日本各地の産物と産地の組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味①語句の意味が正しいもの / 非言語 損益算②				
4回	世界の気候	四字熟語テスト② 世界地理 ①世界各地の気候、産物と産地の組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味②意味に適合する語句 / 非言語 ハジキ問題①				
5回	世界が作るもの	四字熟語テスト③ 世界地理 ②練習問題 SPI言語 複数の意味(意味や用法が近いもの) / 非言語 ハジキ問題②				
6回	文章問題	四字熟語テスト④ SPI言語 文章問題① / 非言語 食塩水①				
7回	歴史上の人物①	四字熟語テスト⑤ 日本史 日本史上の刃部sつに焦点をあてて、歴史を見る(誰が何をしたか?) SPI言語 文章問題② / 非言語 食塩水②				
8回	歴史上の人物②	四字熟語テスト⑥ 世界史 世界史上の有名な出来事を追い、人物と「何」が起きたのかを見る SPI言語 原料(加工物とその原料) / 非言語 順列①				
9回	文化史	文化史 文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる SPI言語 包含・用途・機能 / 非言語 順列②				
10回	文章問題	SPI言語 文章問題③ / 非言語 組み合わせ				
11回	名言・名句	思想史 思想家の名言・名句と著書 SPI言語 行為の関係 / 非言語 確率①				
12回	文学史	文学史 主な文学作品とその作者 SPI言語 文章問題④ / 非言語 確率②				
13回	経済用語	経済用語 SPI言語 ことわざ・慣用句 / 非言語 集合				
14回	働く環境を考える	労働・社会保障 労働者は守られているか? SPI言語 文章問題⑤ / 非言語 推論				
15回	3年生に向けての準備	時事問題を考える 新聞・ニュースサイトの活用 後期の復習 / 非言語 資料の読み取り				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語ビジネス会話			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	小川 剛			実務経験	無	
授業概要(内容)	実際に遭遇する場面を見て、使う表現、語彙の機能を把握する。 ロールプレイを通じて、動作を交えたコミュニケーションの練習をする。			授業形態	講義	
到達目標	ホテルだけではなく、空港、レストランなどの様々な場面での接客コミュニケーションができるようになる。					
使用テキスト	おもてなしの日本語 基礎編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	前期 期末テストFB 就活対策(自己PR)書き直し				
2回	第6課	セクション1 傾聴				
3回	第6課	(前回 発表) セクション1 確認				
4回	第6課	セクション2 クレームを聞く				
5回	第6課	(前回 発表) まとめ練習				
6回	第7課	セクション1 代案				
7回	第7課	(前回 発表) セクション1確認				
8回	第7課	セクション2 提案				
9回	第7課	(前回 発表) まとめ練習				
10回	第6課・第7課	復習(テスト練習)				
11回	第8課	セクション1 要望に応えられないとき				
12回	第8課	(前回 発表) セクション1 確認				
13回	第8課	セクション2 さまざまな謝罪				
14回	第8課	(前回 発表) 第8課まとめ練習				
15回	期末テスト					

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC I			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子 加藤亜希			実務経験	有(旅行業界勤務歴)有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。読解力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	KEY STRATEGIES FOR SUCCESS ON THE TOEIC L&R TEST Level 600					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	前期TOEICクラスの復習 今学期の目標スコアを設定 テキスト説明 ミニテストなど				
2回	Unit L-7	Part3の解き方を学ぶ 設問の先読みを練習 テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
3回	Unit R-7	Part7 読解問題:概要と基本戦略 探し読み、語彙問題、具体的な情報を問う問題 テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
4回	Unit L-8	Part3 会話の流れと話し手たちの関係を理解する、3人での会話を聞く テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
5回	Unit R-8	Part7 読解問題の基本戦略 テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
6回	Unit L-9	Part 3 詳細問題の設問パターン テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
7回	Unit R-9	Part 7 告知、社内回覧 テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
8回	Unit L-10	Part 4 録音メッセージ、アナウンス テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
9回	Unit R-10	Part 7 記事 テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
10回	Unit L-11	Part 4 トーク、会議、ニュース テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
11回	Unit R-11	Part 7 ダブルパッセージ テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
12回	Unit L-12	Part 4 グラフィック(図表)問題 テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
13回	Unit R-12	Part 7 トリプルパッセージ テキスト Warm Up①&② 頻出単語などの練習問題				
14回	Unit L-13	Part 1&3 総復習 Reviewテスト				
15回	Unit R-13	Part 5&6 総復習 Reviewテスト				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC II			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	梶田雅子 加藤亜希			実務経験	有(旅行業界勤務歴)有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。読解力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	KEY STRATEGIES FOR SUCCESS ON THE TOEIC L&R TEST Level 600					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	今学期の目標スコアを設定 ミニ模擬テストの解説など				
2回	Unit L-7	Part3の練習問題 会話問題のパターンを確認 頻出の「目的」「懸念」「次の行動」を問う設問に慣れる				
3回	Unit R-7	Part7 広告、チャットの問題に挑戦 よくある質問と解き方				
4回	Unit L-8	Part3の練習問題 詳細問題の設問パターン 言及、問題点、提案、助言の設問を確認				
5回	Unit R-8	Part 7 Eメール、手紙の問題 差出人や受取人の職業、目的、受取人への依頼、指示内容を見つける				
6回	Unit L-9	Part 3の練習問題 申し出、依頼、意図 意図問題の設問、正解の選択肢パターン				
7回	Unit R-9	Part 7 練習問題 お知らせや社内回覧が書かれた目的、特定の情報の読み取り、読み手への指示				
8回	Unit L-10	Part 4 練習問題 頻出の設問パターンと先読みの時に目を置く語句を確認				
9回	Unit R-10	Part 7 練習問題 記事の主題、記事中に登場する人物や会社に関する情報、文挿入位置問題				
10回	Unit L-11	Part 4 練習問題 設問の先読みと展開パターンの予測				
11回	Unit R-11	Part 7 両方の文書を読む必要がある問題: 足りない情報を探す 時間がない時の「探し読み」				
12回	Unit L-12	Part 3&4 練習問題 設問と図表の先読み、図表の情報への変更点が変わるパターン				
13回	Unit R-12	Part 7 3つの文書をざっと見て関係性をつかむ、固有名詞の関係に注意 練習問題				
14回	Unit L-14	Part 2&4 総復習 Reviewテスト				
15回	Unit R-14	Part 7 総復習 Reviewテスト				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ペン字			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	青木初恵			実務経験	無	
授業概要(内容)	前期で学んだ文字の基本を活かして履歴書・実用書を学習する 筆ペンを使って日本の文化と習慣を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	この授業で習ったことを他の強化で活かして読みやすい文字を書く					
使用テキスト	オリジナルテキスト・ペン・下敷き・筆ペン					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	文字の基本を学ぶ①	復習 (縦書きの書式) 漢字、平仮名、片仮名交じりの文の文章の練習～マス目・行				
2回	文字の基本を学ぶ②	復習 (横書きの書式) 漢字、平仮名、片仮名交じりの文の文章の練習～行				
3回	履歴書の書き方①	履歴書の書き方 バランスよくまとめるコツを学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習(配字・配列の復習)				
4回	履歴書の書き方②	履歴書オリジナル資料を参考にして下書きを作る 名前・住所・学歴・免許・資格など				
5回	履歴書の書き方③	履歴書～まとめ 履歴書を1枚に仕上げる — 提出				
6回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 基本線と筆使い 筆ペンで自分の名前の練習				
7回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方				
8回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き② 「ご仏前」「ご霊前」の練習と不祝儀袋の書き方				
9回	筆ペンで実用書を学ぶ④	年賀状を書く① 年賀状の時期と由来 好きな漢字一文字を書いてみよう				
10回	筆ペンで実用書を学ぶ⑤	年賀状を書く② 来年の干支を書いてみよう				
11回	実用書を学ぶ①	手紙文(内定後のお礼状)の書き方～縦書きの書式 お礼状によく出てくる漢字の書き取り練習 お礼状を便箋に書く — 提出				
12回	実用書を学ぶ②	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ～復習 お礼状を入れる封筒(和封筒長形4号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①				
13回	実用書を学ぶ③	大切な書類を入れる封筒(長形3号)の書き方—個人・企業宛の書き分け②				
14回	実用書を学ぶ④	履歴書が入るサイズの封筒(角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け③				
15回	実用書を学ぶ⑤	差出人の書き方(自分の住所・氏名の練習)～裏④ まとめ ～ 読みやすい文字・美しい文字とは ～				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	面接対策			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	<ul style="list-style-type: none"> 企業研究、志望動機、自己PRの完成品作成 面接練習を繰り返すことで自信を持って受験させる。 			授業形態	講義	
到達目標	志望する企業への内定を勝ち取る。					
使用テキスト	「専門学校生のための就職内定基本テキスト」・就職ノート ・オリジナルレジュメ					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 後期授業内容の説明 自己PRのレベルアップを図り個性を出させる。 				
2回	求人票の読み取り方	<ul style="list-style-type: none"> 実際の求人票を使い、書かれている内容の意味を理解させる。 				
3回	志望動機の作り方	<ul style="list-style-type: none"> モデルケースの志望動機を作ってみる。 				
4回	志望動機の作り方	<ul style="list-style-type: none"> 志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。 				
5回	企業研究	<ul style="list-style-type: none"> エントリーシートとは何かを理解し、就活にとっての第一歩であることを認識できるようになる。 エントリーシートの効果的な作成方法を学び、どう活用するかを考える。 過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。 				
6回	企業研究	<ul style="list-style-type: none"> 企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。 				
7回	企業研究	<ul style="list-style-type: none"> 企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。 志望する企業の研究と自己PR、志望動機の作成 				
8回	身だしなみの重要性	<ul style="list-style-type: none"> 受験用身だしなみを徹底させ対面での面接に備えさせる。 				
9回	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> 面接の形式 面接の受け答えチェックポイント 				
10回	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> よく出る質問の答え方を指導し、個々人の答えを考案的確に受け答えができるようになる。 				
11回	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> Web面接用自己PRの作成方法とWeb面接の練習を行い、理解させる。 入室から着席、面接での受け答え方を反復練習させる。 				
12回	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> 様々な質問に対する受け答えができるよう反復練習させる。 				
13回	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> 様々な質問に対する受け答えができるよう反復練習させる。 				
14回	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> 様々な質問に対する受け答えができるよう反復練習させる。 				
15回	完成品のチェック	<ul style="list-style-type: none"> 後期提出物のチェック 				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	キーボード操作のマスター。誤字脱字なく、形式にのっとった日本のビジネスレターができるようになる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験40% パワーポイント提出課題40% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	PowerPoint基礎	パワーポイントの画面構成と基本操作 スライド作成と編集① 文字入力と装飾、図形・画像・動画などコンテンツの挿入と編集 サンプルスライド「バブルティーカフェの提案」				
2回	PowerPoint基礎	スライド作成と編集② スライドショーのための効果 アニメーション・画面切り替え効果、効果音・サウンド・BGMの挿入 サンプルスライド「バブルティーカフェの提案」				
3回	PowerPoint基礎	スライド作成と編集③ 発表したい内容をまとめて、ワードで作成からスライド作成 スライドテーマ「課題」				
4回	PowerPoint基礎	スライド作成と編集④ スライドの仕上げ・スライドショーの確認とリハーサル サンプルスライド「課題」				
5回	PowerPoint基礎	プレゼンテーション 発表				
6回	Excel基礎	タイピングレッスン Excel基礎の復習 オートSUM活用、前年比・構成比の計算、その他ROUND関数・IF関数など				
7回	Excel基礎	タイピングレッスン Excel基礎の復習 オートSUM活用、前年比・構成比の計算、その他ROUND関数・IF関数など				
8回	Excel応用	タイピングレッスン 検定問題を繰り返し行うことで、日本語でのExcelスキルを身につける 検定過去問題の練習①				
9回	Excel応用	タイピングレッスン 検定問題を繰り返し行うことで、日本語でのExcelスキルを身につける 検定過去問題の練習②				
10回	Excel応用	タイピングレッスン 検定問題を繰り返し行うことで、日本語でのExcelスキルを身につける 検定過去問題の練習③				
11回	Excel応用	タイピングレッスン 検定問題を繰り返し行うことで、日本語でのExcelスキルを身につける 検定過去問題の練習④				
12回	Excel応用	タイピングレッスン 検定問題を繰り返し行うことで、日本語でのExcelスキルを身につける 検定過去問題の練習⑤				
13回	Word応用	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) ビジネス文書作成 履歴書送付状を作る				
14回	Word応用	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) ビジネスメールについて 就活に必要なビジネスメールの練習				
15回	後期期末試験	Word文書作成・Excel表作成				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテルセールス			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	松岡 尚美			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテルと利用客とのご縁を作るホテルセールスの仕事内容を理解する。グループワークやディスカッションにて理解を浸透させる。			授業形態	講義	
到達目標	ホテルセールスの基礎的な知識とホスピタリティ・マインドを理解し、即戦力として現場で活躍できるようになる。					
使用テキスト	最新 ホテルマーケティング論 / 適宜にプリント、情報誌、動画等活用					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	セールスの基本	ホテルセールスの仕事内容と求められるスキル セールスプロモーションの種類と概要				
2回	セールスの基本	異文化コミュニケーションと多様な文化への理解と準備				
3回	セールスの基本	ホテルにおける人的販売の意味・業務分類 利用見込み客に対するダイレクトメール				
4回	セールスの基本	企業・旅行会社へのセールス活動のポイント				
5回	セールスの基本	インターネットによる客室販売の方法 レベニュー・マネジメントがホテル業界に広まった背景と考え方				
6回	セールスの基本	提案型セールスと企画書作成について 企業訪問のマナー				
7回	セールスの実践①	グループワーク: 旅行会社に向けて限定サービス付きの宿泊プランを作成、発表する				
8回	セールスの実践②	グループワーク: 婚礼新商品を企画、発表する				
9回	ライフイベント商品①	日本の慶事の概要と種類				
10回	ライフイベント商品②	日本の弔事の概要と種類				
11回	ホスピタリティ・ビジネス	ホテル業界におけるCSの重要性 コンプレイン対応を考える				
12回	ホスピタリティ・ビジネス	顧客ロイヤリティとホスピタリティ 顧客目線の風土づくり				
13回	覚えておきたいセールス関連知識	広報・広告宣伝・イベント・キャンペーン 個人情報の取り扱いについて				
14回	テスト・まとめ	試験				
15回	まとめ	後期授業のふりかえり				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	ホテルマネジメント			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテルマネジメントの基礎的な知識を学習する			授業形態	講義	
到達目標	マネジメントの基礎的な仕組みを学び、活用できるようになる					
使用テキスト	ホテルマネジメント					
成績評価方法	・期末試験50% レポート・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ						
1回	4章 日本のホテル組織と人事・労務管理	組織と特徴 職務分類 人事・労務				
2回	5章 ヒューマン・リソース・マネジメント	日系と外資の人材				
3回	5章 ヒューマン・リソース・マネジメント	星野リゾートマネージメント				
4回	6章 カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	リッツカールトンホテルのCRG				
5回	6章 カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	サービスの定義				
6回	7章 リスク・マネジメント	リスクマネジメントとは				
7回	7章 リスク・マネジメント	ホテルビジネスを取り巻く危険要因				
8回	7章 リスク・マネジメント	ホテルビジネスにおけるリスクカテゴリー				
9回	7章 リスク・マネジメント	防災事故管理				
10回	7章 リスク・マネジメント	防犯管理				
11回	7章 リスク・マネジメント	BCR とBCM				
12回	8章 今後の日本ホテルマネジメント戦略	ホテルマネジメントにおける日本の課題 ・観光立国 ・国際旅行者				
13回	8章 今後の日本ホテルマネジメント戦略	インターネット等のマーケティング MICE IR				
14回	8章 今後の日本ホテルマネジメント戦略	日本のホテルビジネス、その他の宿泊ビジネスの今後				
15回	まとめ	後期範囲の復習				

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フレッシュヤーズ教育			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日本で働く上で知っておくべき知識を身につける			授業形態	講義	
到達目標	就業規則について知る					
使用テキスト	プリント(モデル就業規則)					
成績評価方法	課題、小テスト、提出物で評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的、進め方、成績評価方法について 社会人のイメージを共有する			
2回	採用について		採用時の提出書類、試用期間、			
3回	賃金について		基本給、各種手当、昇給、賞与			
4回	労働時間について		労働時間、休憩時間、時間外			
5回	異動、退職、解雇について		人事異動、休職、年等、退職、解雇			
6回	安全衛生及び災害補償		健康診断、ストレスチェック、災害補償			
7回	ハラスメント		職場でトラブルが起きたら			
8回	会社への貢献		利潤を生み、コストを下げるには SDG'sについて			
9回	在留資格		在留資格とは 在留資格の種類			
10回	年金		年金の仕組み 免除・猶予制度			
11回	課題研究		日本を取り巻く様々な問題についてグループで研究する			
12回	課題研究		日本を取り巻く様々な問題についてグループで研究する			
13回	課題研究		日本を取り巻く様々な問題についてグループで研究する			
14回	発表		日本を取り巻く様々な問題についてグループで発表する			
15回	発表		日本を取り巻く様々な問題についてグループで発表する			

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語読解			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	入江 千治			実務経験	無	
授業概要(内容)	<ul style="list-style-type: none"> 日本語能力試験N1合格を目指し、読解練習を行う。 読解の練習の中で出てきた語彙・表現を身につける。 			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格／読解力を上げる。					
使用テキスト	配布プリント					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
2回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
3回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
4回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
5回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
6回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
7回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
8回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
9回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
10回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
11回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
12回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
13回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現の小テスト 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
14回	N1読解練習	<ul style="list-style-type: none"> 読解練習⇒クラス内で解答、解説 読解練習⇒クラス内で解答、解説 語彙・表現の確認 				
15回	N1読解 総まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ビジネス日本語			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	中牟田 哲也			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	和のおもてなし・トラブル・バリアフリーの状況を想定し ロールプレイやペアワークでスムーズな会話を身につける。			授業形態	講義	
到達目標	職場での接客や社内会話がスムーズにできるようになる。					
使用テキスト	おもてなしの日本語、心で伝える接客コミュニケーション 基本編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	ガイダンス	講義内容説明 ディスカッション 諺				
2回	第5課 迅速な対応①	S1 要望に応える ロールプレイ 四字熟語・慣用句				
3回	第5課 迅速な対応②	S2 迅速に応える ペアワーク 四字熟語・慣用句				
4回	第5課 迅速な対応③	電話対応 ディクテーション 日本のおもてなし⑤ 四字熟語・慣用句				
5回	第6課 寄りそう心①	S1 傾聴 ロールプレイ 四字熟語・慣用句				
6回	第6課 寄りそう心②	S2 クレームを聴く ペアワーク 四字熟語・慣用句				
7回	第6課 寄りそう心③	お茶の出し方 ディクテーション 日本のおもてなし⑥ 四字熟語・慣用句				
8回	振り返り JLPT対策	振り返り ポートフォリオ作成 N1・N2問題				
9回	JLPU対策	N1・N2問題 文字・語彙、文法、聴解				
10回	第7課 柔軟な対応①	S1 代案 ロールプレイ 四字熟語・慣用句				
11回	第7課 柔軟な対応②	S2 提案 ペアワーク 四字熟語・慣用句				
12回	第7課 柔軟な対応③	和のおもてなし ディクテーション 日本のおもてなし⑦ 四字熟語・慣用句				
13回	第8課 誠実な心①	S1 要望に応えられないとき ロールプレイ 四字熟語・慣用句				
14回	第8課 誠実な心②	S2 さまざまな謝罪 ペアワーク 四字熟語・慣用句				
15回	第8課 誠実な心③	席次 ディクテーション 日本のおもてなし⑧ 四字熟語・慣用句				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson			実務経験	無	
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義	
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Takeoff!、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book(Noun)					
成績評価方法	*期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Takeoff! Dialog: 8	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Sentences using nouns starting with H, Role play with Take off!				
2回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Takeoff! Dialog: 9	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Nouns starting with I, Role play with Take off!				
3回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Takeoff! Dialog: 9	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Sentences using nouns starting with I, Role play with Take off!				
4回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Takeoff! Dialog: 10	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with J, Role play with Take off!				
5回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Takeoff! Dialog: 10	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Sentences using nouns starting with J, Role play with Take off!				
6回	Warm Up: P7, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Takeoff! Dialog: 11	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with K, Role play with Take off!				
7回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Takeoff! Dialog: 11	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Sentences using nouns starting with K, Role play with Take off!				
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P23 Takeoff! Dialog: 12	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: My School Club Nouns starting with L, Role play with Take off!				
9回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P23 Takeoff! Dialog: 12	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: My School Club Sentences using nouns starting with L, Role play with Take off!				
10回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P24 Takeoff! Dialog: 13	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Music Interview Nouns starting with M, Role play with Take off!				
11回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P24 Takeoff! Dialog: 13	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Music Interview Sentences using nouns starting with M, Role play with Take off!				
12回	Warm Up: P9, Vocabulary: P14 Challenge Book: P25 Takeoff! Dialog: 14	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite English Song Nouns starting with N, Role play with Take off!				
13回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 Challenge Book: P25 Takeoff! Dialog: 14	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite English Song Sentences using nouns starting with N, Role play with Take off!				
14回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P26 Takeoff! Dialog: 15	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Travel Interview Nouns starting with O, Role play with Take off!				
15回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P26 Takeoff! Dialog: 15, test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Travel Interview Sentences using nouns starting with O, Role play with Take off!				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	マナープロトコール			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	橋本美智子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日本の礼法とプロトコールマナーをテキストと事例にて学ぶことで正しいマナーの本質が理解できる。			授業形態	講義&演習	
到達目標	マナーを理解すると同時に同等の表現ができるようになる					
使用テキスト	「マナー&プロトコールの基礎知識」配布プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方の説明 前期の振り返り			
2回	第2章国際人としてのプロトコール		プロトコールの原則 具体駅な席次 社交の場でのコミュニケーション			
3回	第2章国際人としてのプロトコール		挨拶と紹介 実技 外国人への贈り物 礼拝でのマナー			
4回	第3章社会人に必要なマナー		服装のマナー 喜ばれる贈答			
5回	第4章ビジネスシーンのマナー		言葉遣いの復習 電話の対応①実技			
6回	第4章ビジネスシーンのマナー		電話の対応②実技			
7回	まとめ		第1回～6回までの振り返り			
8回	第5章食事のマナー		テーブルマナーの基本 和食のマナー *箸づかいの実践			
9回	第5章食事のマナー		西洋料理のマナー 各国のマナー			
10回	第7章冠のしきたり		日本の主な通過儀礼			
11回	第7章冠のしきたり		各国の通過儀礼			
12回	第10章祭のしきたり		1月～12月の日本の行事			
13回	第10章祭のしきたり		1月～12月の各国の行事			
14回	事例対応		新入職員が直面する事例と解決法			
15回	まとめ		前後期と習得した知識の復習			

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)			クラス	S クラス	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無	
授業概要(内容)	語彙の習得は積み重ねしかありません。配布した教材の予習・復習を重ねていくように指導			授業形態	講義	
到達目標	N1合格 ビジネスに必要な語彙が自在に使えるようにしたい					
使用テキスト	完全マスターN1 20日で合格語彙N1 上級で学ぶ日本語					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	20日で合格 19日	語彙の意味				
2回	20日で合格 20日					
3回	完全マスター2-1-1	意味が多い動詞で 留学生には苦手な分野なので 例文を使って理解を深めたい				
4回	完全マスター2-1-2	意味が多い動詞で 留学生には苦手な分野なので 例文を使って理解を深める				
5回	完全マスター2-1-3	意味が多い形容詞・名詞で 留学生には苦手な分野なので 例文を使って理解を深める				
6回	完全マスター2-2-1	意味が似ている副詞・形容詞で 提出頻度が高い語彙問題なので 理解を図る				
7回	完全マスター2-2-2	意味が似ている名詞・動詞で 提出頻度が高く間違いが多い語彙問題なので 理解を図る				
8回	完全マスター2-4-1	程度・時間・頻度の副詞				
9回	完全マスター2-4-2	後ろに決まった表現がくる副詞 覚えておけば得点源になる				
10回	完全マスター2-4-3	まとめて覚える副詞 提出頻度が高く留学生が得点できない分野である 理解を図る				
11回	完全マスター2-6-1	慣用表現 体の言葉を使った表現 日本の文化に関する表現もあり 母語にはないものが多いので 定着を図る				
12回	JLPT対策テスト					
13回	完全マスター2-6-2	体の言葉を使った表現・その他の表現 日本の文化に関する表現もあり 母語にはないものが多いので 定着を図る				
14回	完全マスター2-6-3	語形成 非・不・無など 混乱する語の例文を使って 定着を図る				
15回	学期末テストとFB					

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解)			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	小川 剛			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N1聴解対策 ・ 問題を聞き、傾向をつかむとともに、実施後、ポイント部分を傾聴、文字化し、語彙、文法、内容を再確認する。			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2合格 聴解問題を聞き、文末表現、接続詞などの語彙の知識も再確認する。					
使用テキスト	N1合格!日本語能力試験問題集N1聴解スピードマスター ・ 日本語能力問題集ベスト問題集N1(コピー対応)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	スピードマスターN1 問題3		概要理解 13~16			
2回	問題4 問題5		即時応答1~8 統合理解1~3			
3回	問題4 問題5		即時応答9~16 統合理解4~6			
4回	ベスト問題集 第9週1日目		課題理解①			
5回	第9週1日目		ポイント理解①			
6回	第10週1日目		概要理解①			
7回	第12週1日目		統合理解①			
8回	第9週2日目		課題理解②			
9回	第9週2日目		ポイント理解②			
10回	第10週2日目		概要理解②			
11回	模擬試験					
12回	模擬試験		模擬試験FB			
13回	第12週2日目		統合理解②			
14回	第12週3日目		統合理解③			
15回	期末テスト					

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホスピタリティ概論			クラス	Sクラス	
担当講師(フルネーム)	田中友加利			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホスピタリティ業界だけでなく、社会人としてのビジネスマナーを学び相手を思いやる気持ちを身に着ける			授業形態	講義	
到達目標	知識を増やし、ビジネス検定合格を目指す					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	プリント課題・授業内小テスト70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
2回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
3回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第3章 電話応対				
4回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第4章 統計・データの読み方・まとめ方				
5回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第5章 情報収集とメディアの活用				
6回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
7回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
8回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
9回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
10回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
11回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
12回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
13回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
14回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
15回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	レストラン実技			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	(日本語能力試験N1合格者対象) HRS検定の実技試験の内容をもとに、レストランで働く上で必要とされる技術や日本語の言い回し等を習得する。			授業形態	実技	
到達目標	日本のレストランで働く上で必要な基礎技術の習得。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	備品のセッティングと片付けについて 作業内容の説明				
2回	朝食サービス	セッティング(朝食) お迎えから水、コーヒーサービスまでのロールプレイ 整理整頓				
3回	朝食サービス	セッティング(朝食) お迎えからパンサービスまでのロールプレイ 整理整頓				
4回	朝食サービス	セッティング(朝食) お迎えからバッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓				
5回	朝食サービス	セッティング(朝食) 通し練習 整理整頓				
6回	朝食サービス	セッティング(朝食) 通し練習 整理整頓				
7回	確認テスト	セッティング(朝食) 朝食サービスの試験を行う 整理整頓				
8回	確認テストの振り返り	セッティング(朝食) 確認テストのフィードバック 整理整頓				
9回	ランチサービス	セッティング(ランチ) お迎え～メイン料理サービスまでのロールプレイ 整理整頓				
10回	ランチサービス	セッティング(ランチ) お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓				
11回	ランチサービス	セッティング(ランチ) お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓				
12回	ランチサービス	セッティング(ランチ) 通し練習 整理整頓				
13回	ランチサービス	セッティング(ランチ) 通し練習 整理整頓				
14回	確認テスト	セッティング(ランチ) ランチサービスの試験を行う 整理整頓				
15回	確認テストの振り返り	セッティング(ランチ) 確認テストのフィードバック 整理整頓				

国際ビジネス

科目名
Grammar/英作文基礎
TOEIC I II
オンライン英会話
英会話 (TGG)
コンピュータMOS
観光マーケティング概論
面接対策
TOPIK対策 I
TOPIK対策 II
韓国語文法
英語で観光地紹介
韓国語会話

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ビジネス科
科目名	Grammar／英作文基礎			クラス	C
担当講師(フルネーム)	クスターズ 妙子			実務経験	無
授業概要(内容)	英語の基礎文法の学び直しをし、基礎的な文法知識を習得する。 英作文のトレーニングを行うことで、アウトプットできる力を身に着ける。			授業形態	講義
到達目標	英語の基礎文法を理解し、与えられた主題について自分の考えをまとめて書けるようになる。				
使用テキスト	「高校英文法をひとつひとつわかりやすく。」、「どんどん話すための瞬間英作文トレーニング」、配布プリント				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方、評価方法について説明する。 コミュニケーションの大事さを理解し、自分の考えや意見を出すことの重要性を認識する。 自分のレベルを知るために英作文を書いてみる。			
2回	助動詞を理解する	助動詞の基本やいろいろな意味を理解し、問題を解く。 助動詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
3回	不定詞を理解する	不定詞の基本、SVO＋不定詞の文型を理解し、問題を解く。 不定詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
4回	不定詞の応用を理解する	不定詞のいろいろな形を理解し、問題を解く。 不定詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
5回	動名詞を理解する	動名詞の基本を理解し、問題を解く。不定詞と動名詞の違いを理解する。 動名詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
6回	分詞を理解する	分詞の基本を理解し、問題を解く。補語になる分詞を理解する。 分詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
7回	分詞構文を理解する	分詞構文の基本を理解し、問題を解く。 慣用表現を用いた英作文トレーニングを行う。			
8回	異文化を知る	海外の文化を知り、海外での伝え方の違いや考え方の違いを知る。			
9回	仮定法、仮定法過去を理解する	仮定法過去の基本を理解し、問題を解く。 仮定法を用いた英作文トレーニングを行う。			
10回	原級、比較級、最上級を使った表現を理解する	原級、比較級、最上級の基本を理解し、問題を解く。 原級、比較級、最上級を用いた英作文トレーニングを行う。			
11回	関係代名詞を理解する	関係代名詞の基本を理解する。 関係代名詞と関係副詞の違いを理解する。 複合関係詞の用法を理解する。			
12回	関係副詞を理解する	関係副詞の用法を理解し、問題を解く。 関係代名詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
13回	接続詞を理解する	接続詞を理解し、問題を解く。 時制の一致、疑問詞を使った重要表現を理解し、問題を解く。 接続詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
14回	期末テスト	期末テスト			
15回	総まとめ・振り返り	期末テストの振り返りと前期の総まとめ 1回目に書いた英作文との比較を行う。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOEIC 1& 2			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	4
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	前期の総復習 Part5	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 品詞以外にも前期に学んだことを生かしてPart5を解く方法を復習する 単語テスト				
2回	分詞の形容詞的用法 &分詞構文 Part4	分詞の形容詞的用法、分詞構文 Part4 Part5 単語テスト				
3回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト				
4回	動詞の形 名詞・冠詞 part6	動詞の形 名詞・冠詞 Part6 Part5 単語テスト				
5回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5 単語テスト				
6回	関係副詞 Part4	関係副詞、関係代名詞と関係副詞の置き換え Part4 単語テスト				
7回	仮定法 Part1&2	仮定法 Part1 Part2 Part5 Part6 単語テスト				
8回	比較級	比較級 Part7 Part5 単語テスト				
9回	模擬テスト (リスニング)	模擬テストリスニング 解答 単語テスト				
10回	模擬テスト (筆記)	模擬テスト筆記 解答				
11回	that節	様々なthatの用法 単語テスト				
12回	リスニング全般	Part1~4 単語テスト				
13回	リーディング全般	Part5~7 単語テスト				
14回	文法総復習	Part5 これまでの文法の総復習 単語テスト				
15回	期末テスト	期末対策&期末テスト				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	オンライン英会話			クラス	Cクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	「やりとり」に特化したレッスンを行う。自分の話したい内容を英語で考える。また実際の会話のように「即興性」を学ぶ。			授業形態	講義&演習	
到達目標	質問に対して付加情報を加えて話せるようになる					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	授業・レッスン評価60% アセスメント20% 平常点 20%				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	Popular Things		旅行・場所・読書・スポーツ			
2回	Events		クリスマス・バレンタイン・ハロウィン・誕生日			
3回	Lifestyle		朝・週末・休暇・悩み			
4回	Young Culture		音楽・トレンド・コミュニケーション・ファッション			
5回	Food		食時間・食文化・健康・特別な日			
6回	Learning		言語・海外留学・習い事・テクノロジー			
7回	Entertainment		テレビ・映画・コンサート・ステージパフォーマンス			
8回	Health		睡眠・病気・リラクゼーション・食生活			
9回	Country		気候・観光・人々・伝統文化			
10回	Tourism		文化の違い・ユニークな施設・観光・お土産			
11回	First Meetings		よくある話題・タブーな話題・自己紹介・挨拶			
12回	Future		大学・ライフイベント・仕事・未来の問題			
13回	The Internet		コミュニケーション・SNS・情報検索・買い物			
14回	Nature		山・海・季節・問題			
15回	Manners		テーブルマナー・公共の場・インターネット・正式な場			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	英会話			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown, 秋満陽子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	We will research and learn about different places in Japan and Japanese etiquette. Students will be tested by their group and pair presentations.			授業形態	講義	
到達目標	This course's focus is to give students the language, practice and confidence they will need to act as a tour guide for tourists.					
使用テキスト	No official textbook is needed for this course.					
成績評価方法	プレゼンテーション評価 70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	Attractions of Fukuoka		Introduction and explanation of this semester's goals Teaching useful phrases to be used when explaining factual information. Introduction of the concept of a Storyboard.			
2回	Attractions of Fukuoka		Continue working on storyboard; Students research respective chosen locations Explanation of how to give a presentation in English. Presentation practice in groups			
3回	Attractions of Fukuoka		More group presentation practice Final presentations by groups in front of the class.			
4回	Omotenashi		Introduction and explanation of Ometenashi The history of Furoshiki Demonstration and practice of wrapping various-shaped objects			
5回	Omotenashi		Introduction of focus: Japanese etiquette / Useful phrases for giving instructions. (Dos, Dont's & Don't Have Tos) Group work: Research and make a presentation explaining one area of Japanese etiquette to a foreigner. (Examples of Japanese etiquette: Introducing yourself formally and casually, using chopsticks etc.)			
6回	Omotenashi		Students make a PowerPoint presentation of their chosen etiquette Practice in their group. Final presentation by groups in front of the class.			
7回	Tourguiding		Introduction of focus: Tourguiding. Explanation of the three stages of tourguiding: Start, During and End Useful Phrases and Vocab – Introduction and Practice			
8回	Tourguiding		Group work: Students choose one area in Japan for their tour Students research various sightseeing spots and gather relevant information about them. Students create a PowerPoint presentation explaining to tourists about the tour itinerary and rules.			
9回	Tourguiding		Explanation of giving details about places during the tour and including handling questions. Useful Phrases and Vocab – Introduction and Practice Group work: Students research and start planning the route of their tour.			
10回	Tourguiding		Group work: Students continue planning the route of their tour. Group work: Students use their PowerPoint presentation to take the class on a virtual tour. Group work: Students answer questions from the rest of the class.			
11回	Tourguiding		Explanation of ending the tour. Useful Phrases and Vocab – Introduction and Practice Group work: Students use the language learned to end their tour.			
12回	Tourguiding		Pairwork: Students research and plan a tour from beginning to the end including pictures.			
13回	Tourguiding		Pairwork: Students continue to research and plan a tour from beginning to the end including pictures. Pairwork: Students practice their tours			
14回	Tourguiding		Pairwork: Simulated Tour Around the School. Students take their classmates around the school			
15回	Tourguiding		Pairwork: Simulated Tour Around the School. Students take their classmates around the school			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	コンピュータMOS			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	立部 祥子			実務経験	有(プライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	MOS Excel検定合格に向け、対策テキスト&問題集を操作しながらパソコンスキルを身につける			授業形態	実技	
到達目標	MOS Excel 365&2019検定合格					
使用テキスト	よくわかるマスター MOS Excel 365&2019対策テキスト&問題集					
成績評価方法	・期末試験70%(実技試験) 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション (MOS検定)	・学習スケジュールの説明 ・Excelの基本操作の説明(四則演算・オートフィル・日付の入力など) ・テキスト:出題範囲2 2-1シートのデータを操作する				
2回	セルやセル範囲の データの管理①	・テキスト:出題範囲2 2-2セルやセル範囲の書式の設定 2-3名前付き範囲を定義する				
3回	ワークシートや ブックの管理①	・テキスト:出題範囲2 2-4データを視覚的にまとめる ・テキスト:出題範囲1 1-1ブック内の移動				
4回	ワークシートや ブックの管理②	・テキスト:出題範囲1 1-2ワークシートやブックの書式設定 1-3オプションと表示のカスタマイズ				
5回	ワークシートや ブックの管理③	・テキスト:出題範囲1 1-4共同作業のためのコンテンツ設定 1-5ブックにデータをインポートする				
6回	テーブルとテーブル データの管理①	・テキスト:出題範囲3 3-1テーブルを作成・書式設定する				
7回	テーブルとテーブル データの管理②	・テキスト:出題範囲3 3-2テーブルを変更 3-3テーブルデータのフィルター・並び替え ・テキスト:出題範囲1～3の模擬試験にチャレンジ(30分)				
8回	出題範囲1～3 確認テスト	・出題範囲1～3確認テスト ※模擬試験チャレンジ・個別フォロー				
9回	数式や関数を使用した 演算の実行①	・テキスト:出題範囲4 4-1参照を追加する 4-2データを計算・加工する				
10回	数式や関数を使用した 演算の実行②	・テキスト:出題範囲4 4-3文字列関数				
11回	数式や関数を使用した 演算の実行③	・テキスト:出題範囲4 確認テスト ・テキスト:出題範囲1～4の模擬試験にチャレンジ(30分)				
12回	グラフの管理①	・テキスト:出題範囲5 5-1グラフを作成する 5-2グラフを変更する				
13回	グラフの管理②	・テキスト:出題範囲5 5-3グラフの書式設定 ・模擬試験にチャレンジ(30分)				
14回	模擬試験①	・テキスト:出題範囲5 確認テスト ・模擬試験にチャレンジ(30分)				
15回	期末試験	MOS Excel模擬試験(50分) ※本試験と同様に実施する				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	観光マーケティング概論			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	マーケティングを理解するための用語を学ぶ。 関心ある企業の取組みについて調べ発表する。			授業形態	講義	
到達目標	観光業界(旅行、エアライン、ホテル)についての基礎知識。マーケティングについての理解をし 身の回りの取組みについて理解する。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	*期末試験50% 平常点30% 提出物20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	マーケティングとは	代表的な旅行会社 マーケティングの定義、マーケティングミックス マーケティングコンセプト、マーケットイン/プロダクトアウト				
2回	商品購入	旅行商品 ニーズ、ウォンツ、需要				
3回	顧客	旅行用語 セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング、ドメイン				
4回	商品購入プロセス	代表的な航空会社 購買意思決定プロセス、AIDMA				
5回	流通チャネル	航空商品 旅行商品、流通チャネル				
6回	価格	エアライン用語 競争戦略、スケールメリット、価格決定、マーケットシェア				
7回	環境分析	代表的なホテル マーケティング環境分析、SWOT分析				
8回	PPM	ホテル商品 プロダクトポートフォリオマネジメント プロダクトライフサイクル				
9回	プロモーションミックス	ホテル用語 プロモーションミックス プッシュ戦略、プル戦略				
10回	ブランディング	政府観光局の取組み ブランドイメージ、ブランドアイデンティティディマーケティング 各社の取組み研究				
11回	カスタマーリレーションシップ	各社の取組み研究				
12回	発表準備	プレゼンテーション PPT作成				
13回	発表	興味ある企業の取組みについて調べ発表				
14回	発表	興味ある企業の取組みについて調べ発表 ※1~14週のプリントを提出				
15回	期末試験					

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	面接対策(就職活動講座)			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	伊藤 潤			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりした自己分析を行い、自身のアピールポイントを明確にする ・就職希望先を明確にし、面接での対応力を身に付ける 			授業形態	講義	
到達目標	就職面接において的確な受け答えができるようになる					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定 基本テキスト					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物、課題70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回 9/12	オリエンテーション 就職活動の心構えと準備		<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動へのアプローチ ・就職活動の流れ 			
2回 9/26	自分自身を知る		<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルを考える ・将来の夢や目標 			
3回 10/3	自己分析		<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析の意義 ・自分自身の棚卸し ・自分史の作成 			
4回 10/17	自己分析 自己PR		<ul style="list-style-type: none"> ・自分史の作成 ・自己PRの作成 			
5回 10/24	自己PR		<ul style="list-style-type: none"> ・自己PRの作成 			
6回 10/31	職業を知る		<ul style="list-style-type: none"> ・業種と職種 ・目標とする職業を見つける 			
7回 11/7	企業研究		<ul style="list-style-type: none"> ・気になる企業を見つける(20社以上) ・気になる企業の研究 			
8回 11/14	企業研究		<ul style="list-style-type: none"> ・気になる企業を見つける(20社以上) ・気になる企業の研究 ・目標企業の設定 			
9回 11/21	志望動機 エントリーシート		<ul style="list-style-type: none"> ・目標企業の志望動機作成 ・就職セミナーのエントリーシート作成 			
10回 11/28	履歴書 エントリーシート		<ul style="list-style-type: none"> ・就職セミナーのエントリーシート作成 ・履歴書作成 			
11回 12/5	面接対策		<ul style="list-style-type: none"> ・面接の種類と心構え ・模擬面接 			
12回 12/12	面接対策		<ul style="list-style-type: none"> ・模擬面接 			
13回 1/16	面接対策		<ul style="list-style-type: none"> ・就職セミナーの振返り ・模擬面接 			
14回 1/23	面接対策		<ul style="list-style-type: none"> ・模擬面接 			
15回 1/30	まとめ		<ul style="list-style-type: none"> ・内定から入社まで 			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOPIK I			クラス	Cクラス	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOPIK過去問, 解き方を工夫して聞き取りや読解練習 토픽 2 연습을 시작하여 2학년 4월에 토픽 2 시험에 도전한다.			授業形態	講義	
到達目標	1年次に全員が TOPIK I 合格を目指す					
使用テキスト	韓国語能力試験TOPIK1総合対策					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	過去問練習1	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
2回	過去問練習2	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
3回	過去問練習3	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
4回	過去問練習4	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
5回	過去問練習5	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
6回	過去問練習6	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
7回	過去問練習7	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
8回	過去問練習8	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
9回	過去問練習9	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
10回	過去問練習10	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
11回	過去問練習11	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
12回	過去問練習12	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
13回	過去問練習13	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
14回	過去問練習14	過去問の中の単語や表現を練習。 聞き取り問題と読解の文法を覚える。				
15回	復習・期末対策	復習・期末対策				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOPIK II			クラス	Cクラス	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOPIK IIの過去問を中心とした聞き取り、読解、さらに作文の練習をする 작문 연습을 통하여 읽기,쓰기에 자신감을 갖게 한다.			授業形態	講義	
到達目標	就職活動に有効な高いレベルの級が取れるようにする					
使用テキスト	韓国語能力試験TOPIK1総合対策					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	過去問練習1	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
2回	過去問練習2	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
3回	過去問練習3	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
4回	過去問練習4	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
5回	過去問練習5	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
6回	過去問練習6	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
7回	過去問練習7	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
8回	過去問練習8	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
9回	過去問練習9	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
10回	過去問練習10	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
11回	過去問練習11	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
12回	過去問練習12	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
13回	過去問練習13	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
14回	過去問練習14	単語や表現を練習 聞き取り、文法の理解、作文の練習				
15回	復習・期末対策	復習・期末対策				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国語文法			クラス	Cクラス	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	基本となる文法をマスターして、文章を読む、書き、話すができるようになる			授業形態	講義	
到達目標	基本の文法が理解できるようになる					
使用テキスト	韓国語文法(朝日出版社)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	복습	동사의 연체형.현재/과거				
2回	9과	연체형의 관련 표현				
3回	10과	명사화 관련 표현				
4回	10과	명사화 관련 표현				
5回	11과	접속 관련				
6回	12과	접속 관련 2				
7回	13과	여러가지 조사				
8回	14과	접속 표현 3				
9回	15과	연체형의 관련 표현				
10回	15과	연체형의 관련 표현				
11回	16과	인용 표현				
12回	16과	간접 인용 표현				
13回	17과	인용 표현				
14回	17과	간접 인용 표현				
15回	復習・期末対策	復習・期末対策				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	英語で観光地紹介			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	Patricia Sharon Brown			実務経験	無	
授業概要(内容)	We will practice creating tours to match different travellers' profiles. We will present our tours using PowerPoint and respond to questions.			授業形態	講義	
到達目標	Our goal is to successfully customize tours for different people and explain them in an exciting way.					
使用テキスト	No textbook, but we will need computers and be able to use Microsoft PowerPoint or Google Slides.					
成績評価方法	葉表(5)75% 平常点25% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ	授業内容				
1回	Introduction and Explanation	Warm-up Summer Holiday Discussion (Q&A) Syllabus Explanation Lesson Flow Explanation				
2回	Relevant Phrases Travellers' Profiles Destination Region #1	Warm-up, Practice Phrases Introducing Tours Explain Required Elements of a Good Tour Present Travellers' Profiles Introduce First Destination Region #1 (Asia)				
3回	Learning About a Country Planning a Tour That Fits a Traveller's Profile	Warm-up, Choose a Traveller Profile Decide on Activities (As a Class for Each Profile) Discuss Answering Questions (As a Class) Choose a Country, Research Chosen Country, Plan a One-Day Tour Using PowerPoint				
4回	Presentation of Tour (Evaluated Activity) Choice of Activities Based on Travellers' Profiles	Warm-up Present One-Day Tour (Evaluated) Answer Questions About the Tour Teacher's Feedback				
5回	Relevant Phrases Destination Region #2 (North and Central America)	Warm-up, Practice Phrases Used for Multi-Day Tours Introduce Destination Region #2 (North and Central America) Choose a Traveller Profile, Decide on Activities (As a Group) Choose a Country, Research Chosen Country, Start Planning a Two-Day Tour Using PowerPoint				
6回	Planning a Two-Day Tour Presentation of Tour Choice of Activities Based on Travellers Profiles	Warm-up, Finish Planning Tour Present Two-Day Tour (Evaluated) Answer Questions About the Tour Teacher's Feedback				
7回	Destination Region #3 (South America) Planning a Three-Day Tour	Warm-up, Practice Phrases Used for Multi-Day Tours Introduce Destination Region #2 (North and Central America) Choose a Traveller Profile, Decide on Activities (As a Group) Choose a Country, Research Chosen Country, Start Planning a Two-Day Tour Using PowerPoint				
8回	Planning a Three-Day Tour	Warm-up Finish Planning Three-Day Tour				
9回	Presenting a Three-Day Tour Destination Region #4 (Africa)	Present Three-Day Tour (Evaluated), Answer Questions About the Tour Teacher's Feedback Ice Breaker Introduction of Destination Region #4 (Africa)				
10回	Planning a Four-Day Tour	Warm-up Plan Four-Day Tour				
11回	Planning a Four-Day Tour Practicing a Four-Day Tour	Warm-up Finish Planning Four-Day Tour Practice Presenting Four-Day Tour				
12回	Presenting a Four-Day Tour Destination Region #5 (Europe)	Present Four-Day Tour (Evaluated), Answer Questions About the Tour Teacher's Feedback Ice Breaker Introduction of Destination Region #5 (Europe)				
13回	Planning a Five-Day Tour	Warm-up Plan a Five-Day Tour				
14回	Planning a Five-Day Tour	Warm-up Plan a Five-Day Tour				
15回	Practicing Presenting a Five-Day Tour Presenting a Five-Day Tour	Practice Presenting Five-Day Tour Present Five-Day Tour (Evaluated) Answer Questions About The Tour Teacher's Feedback				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国語会話			クラス	Cクラス	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	정확한 발음과 표현의 반복적인 연습을 통하여 일상의 회화가 가능하도록 한다 한국 문화와 사회의 이해			授業形態	講義	
到達目標	여러가지 상황에서의 회화가 가능하도록 한다					
使用テキスト	韓国語の世界へ					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	前期の復習	第1～5課まで				
2回	6과	전기 복습				
3回	6과	지 못해요 하고 있어요 한국 대학생과 외국어				
4回	7과	더운 여름에 삼계탕을 먹어요.				
5回	7과	은 적이 있다/없다				
6回	8과	안 무거우니까 혼자 할게요.				
7回	8과	안 무거우니까 혼자 할게요.				
8回	9과	컴퓨터 잠깐 빌려도 돼요?				
9回	9과	가능의 표현				
10回	10과	리무진 버스가 편하겠죠?				
11回	10과	자신의 의지 표현				
12回	11과	도자기도 만들어 봤어요?				
13回	11과	을까요?				
14回	12과	한국 회사에 취직하려고 해요.				
15回	12과	미래의 표현				

夜間総合観光

学年	科目名
1	筆記試験対策
1	面接対策
1	就職対策
1	世界遺産検定対策
1	ホテル実務技能認定試験対策
2	観光マーケティング
2	フレッシュエズ教育
2	Web広告戦略

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	筆記試験対策			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無	
授業概要(内容)	現在ホテル・エアライン・旅行会社などいろいろな企業が採用しているのが株式会社マーク・ティンク社のSPIです。SPIを学習することで各企業の能力検査試験に対応できます。このSPI能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りましょう。			授業形態	講義	
到達目標	ホテル・エアライン・旅行系などの企業の就職試験に合格するのに必要な学力の修得					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	国語	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
2回	国語	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
3回	数学	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。 集合はカブリのことです。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味				
4回	数学	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。 集合はカブリのことです。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味				
5回	国語	漢字検定準2級(熟語の構成 部首 対義語 類義語 他)				
6回	玉手箱	表の計算 グラフの読み取り ①				
7回	玉手箱	表の計算 グラフの読み取り ①				
8回	国語	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
9回	国語	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 敬語問題 文章整理問題他 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
10回	数学SPI テストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問1~問12 推論 6個の玉を箱PQIに分けて入れた PはQの2倍 Qの玉は何個か 9人にイヌ ネコ 小鳥どれを飼いたいかわからない 多い順にイヌ ネコ 小鳥 無回答無し 小鳥の回答人数は				
11回	数学SPI テストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問13~問25 集合 クラスの30人のうち、運動部の生徒16人 運動部と文化部の両方2人 どちらにも入っていない生徒は4人 文化部に入っている生徒は何人?				
12回	数学SPI テストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問26~問38 組み合わせ PQRSTUVの7人を3人部屋と4人部屋に振り分けたい 分け方は何通り? 確率PQR3人がサイコロを振った Pが最大の目 QとRが同じ目となる組み合わせは何通り?				
13回	数学SPI テストセンター過去問	推論 問1~問8 RSTU 4人の交通費の問題 4店舗の位置の問題 LMNOPQ 6人の待ち合わせ場所の到着の前後関係 嘘・本当の発言問題 トーナメント方式の勝敗の結果 トーナメント表の作成				
14回	数学	サイコロや立方体を左右・前後に何回か回転させたのち、Aの面の回転の軌跡、 立方体の性質が分かればすぐに解けるので、絶対に落とせない分野 $Y=ax$ $Y=ax+b$ $Y=ax^2+bx+c$ 一次関数 二次関数 傾き 切片 比例定数 条件と領域				
15回	構造的把握力検査	この分野は、SPI・3になって初めて導入された分野です。 1問5択の選択肢が用意されています。問題処理の考え方の構造が似ているものを二つ選ぶ問題。 慣れないと問題の意味を理解するのが難しい。問題を解いても正解に到達できるわけではありません。				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	面接対策			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	次年度の就職試験に向けて、面接の対策を行う。			授業形態	講義	
到達目標	面接の基本動作習得、より評価の高い受け答えができる					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト、就職ノート					
成績評価方法	・平常点100%(出席状況と受講態度、事後学習の取り組み姿勢による) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方と評価について ・面接試験に臨むまえに ・自己紹介 ・面接の種類と心構え			
2回	面接対策①		面接官の視点を知ろう 身だしなみ 好印象を与える話し方			
3回	面接対策②		・面接のシチュエーションと基本動作 ・自己紹介			
4回	面接対策③		・面接のシチュエーションと基本動作 ・自己PR			
5回	面接対策④		グループディスカッション			
6回	面接対策⑤		・よく聞かれる質問例			
7回	面接対策⑥		・よく聞かれる質問例			
8回	面接対策⑦		・志望動機			
9回	面接対策⑧		・志望動機			
10回	面接対策⑨		・志望動機 ※模擬面接とフィードバック			
11回	面接対策⑩		・配属の希望と理由 ※模擬面接とフィードバック			
12回	面接対策⑪		・アルバイトについて ※模擬面接とフィードバック			
13回	面接対策⑫		・学生時代に力を入れて取り組んだこと ※模擬面接とフィードバック			
14回	就職セミナーの振り返り					
15回	まとめ		・就職試験に臨む前に			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	就職対策			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職活動に向けて意識を高め、具体的な行動と準備ができるようになる この授業はLHRと平行して行う			授業形態	講義	
到達目標	就職活動に必要な必要事項の完成を目指す					
使用テキスト	専門学校のための就職内定基本テキスト 就職ノート					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする 平常点(授業態度 就職活動の姿勢)80% レポート・演習20%				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	就職活動の心構え	就職活動とは・学生と社会人の違い・なぜ働くのか？ 採用の基準(求められる人材・一緒に働きたい人とは) 自己PRをつくろう。				
2回	企業を知ろう	企業研究の進め方を知ろう 就職室を活用しよう 業界・業種・職種を調べよう				
3回	企業を知ろう	求人票をチェックしよう 企業に問い合わせをしよう 説明会に参加しよう				
4回	企業を知ろう	OB、OG訪問を活用しよう 入社後の自分をイメージしよう 志望動機を書こう。				
5回	就職に必要な書類とは	就職活動の流れと書類 問い合わせメールの書き方				
6回	就職に必要な書類とは	企業への電話のかけ方 エントリーシートを書こう				
7回	就職に必要な書類とは	エントリーシートを書こう				
8回	就職に必要な書類とは	エントリーシートを書こう				
9回	就職に必要な書類とは	履歴書を書こう				
10回	就職に必要な書類とは	書類の送り方				
11回	面接対策とは	面接の種類と心構え 面接官の視点を知ろう 身だしなみを整えよう				
12回	面接対策とは	好印象を与える話し方、言葉使い 個人面接の流れと対策				
13回	面接対策とは	集団面接の流れと対策 グループディスカッションの流れと対策説明				
14回	面接対策とは	よくある質問例と答え方 内定から入社まで				
15回	内定から入社まで	まとめ				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科1年	
科目名	世界遺産検定対策			クラス	Z選択	
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	地域ごとの世界遺産を学ぶ 有名観光地の映像を見る			授業形態	講義	
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・主要世界遺産を覚える					
使用テキスト	世界遺産検定100 世界遺産検定3級公式テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	オリエンテーション 授業の進め方などシラバスをもとに説明 教科書の使用方法解説				
2回	世界遺産の基礎について	世界遺産とは ユネスコ 世界遺産と日本				
3回	世界遺産の基礎について	無形文化遺産 グラフと数字目見る世界遺産 世界遺産の基準				
4回	日本の世界遺産	西日本の世界遺産 文化遺産について 自然遺産について				
5回	日本の世界遺産	東日本の世界遺産 文化遺産について 自然遺産について				
6回	海外の世界遺産	ヨーロッパ周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 ヒースロー、シャルルドゴール空港など主要空港からの利便性について				
7回	海外の世界遺産	アメリカ地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 JFケネディーなど空港など主要空港からの利便性について				
8回	海外の世界遺産	アジア周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について				
9回	海外の世界遺産	オセアニア周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について				
10回	海外の世界遺産	その他周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について				
11回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(ヨーロッパ方面) 地図をもとに場所確認				
12回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(北アメリカ方面) 地図をもとに場所確認				
13回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(南アメリカ方面) 地図をもとに場所確認				
14回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(その他地区) 地図をもとに場所確認				
15回	まとめ	試験問題対策、期末試験について説明 主要国おさらい				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科
科目名	ホテル実務技能認定試験			クラス	Z選択
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	部署を問わず、ホテルで即戦力として働くために必要な基礎知識を身に付ける。			授業形態	講義
到達目標	ホテル実務技能認定試験初級の資格を取得する。				
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験 初級 問題集				
成績評価方法	*期末試験70% 平常点(予習の有無を含む)30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	資格試験について説明 後期の授業の進め方、評価方法の説明 接客分野の解答			
2回	テキスト解説	接客分野の解答			
3回	テキスト解説	接客分野の解説 料飲分野の解答			
4回	テキスト解説	料飲分野の解説			
5回	テキスト解説	宿泊分野の解答、解説			
6回	テキスト解説	宿泊分野の解説 語学分野の解答			
7回	テキスト解説	語学分野の解説			
8回	テキスト解説	その他のホテル関連分野の解答、解説			
9回	過去問題	その他のホテル関連分野の解説 第31回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解答			
10回	過去問題	第31回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解説			
11回	過去問題	第32回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解答、解説			
12回	過去問題	第32回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解説			
13回	過去問題	その他過去問題の解答、解説			
14回	過去問題	その他過去問題の解答、解説			
15回	後期授業まとめ	後期授業まとめ			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光マーケティング			クラス	Y	
担当講師(フルネーム)	中牟田 哲也			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	講義・説明に加え、学生自身で考え発表することを繰り返すことで、接客サービスやトラブル、社内でのコミュニケーション力を高める訓練をする。			授業形態	講義	
到達目標	希望職種の研究をし、現状と課題を自分の言葉で発表できるようになる					
使用テキスト	観光学基礎(JTB総合研究所)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	ガイダンス	自己紹介、講義概要説明 進路希望調査 一般常識(諺・四字熟語)				
2回	第10章 観光と情報①	観光行動と情報 観光情報の媒体 グループディスカッションと発表				
3回	第10章 観光と情報②	効果的な観光情報の発信・提供方法 Self Check 一般常識(諺・四字熟語)				
4回	第11章 観光政策と観光行政①	観光政策と観光行政 国の政策 グループディスカッションと発表				
5回	第11章 観光政策と観光行政②	地方における観光政策と観光行政 Self Check 一般常識(諺・四字熟語)				
6回	第12章 観光のマーケティング①	マーケティングと観光への応用 観光マーケティングの対象と観光消費の対象となる「商品」 グループディスカッションと発表				
7回	第12章 観光のマーケティング②	観光マーケティング活動の実際 Self Check 一般常識(諺・四字熟語)				
8回	振り返り	Extension Study(第10章～第12章) グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)				
9回	第13章 旅の歴史とこれからの旅行①	旅の歴史 グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)				
10回	第13章 旅の歴史とこれからの旅行②	マスツーリズムからサステイナブル・ツーリズムへ Self Check 一般常識(諺・四字熟語)				
11回	第14章 観光と国際経済 ・社会・文化①	我が国におけるインバウンドの動向 グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)				
12回	第14章 観光と国際経済 ・社会・文化②	観光と国際経済の関わり グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)				
13回	第14章 観光と国際経済 ・社会・文化③	観光と国際社会・文化の関わり Self Check 一般常識(諺・四字熟語)				
14回	個人研究 発表準備	Extension Study(第13章～第14章) 個人研究準備				
15回	まとめ	まとめ 個人研究発表				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	フレッシュエズ教育			クラス	Y	
担当講師(フルネーム)	金森 和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	授業を通して社会人になった際の知識(国際儀礼・文化)を事前に身につける			授業形態	講義	
到達目標	国際人としての一般知識を身に着ける					
使用テキスト	マナー&プロトコールの基礎知識					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	マナーとは何か		マナー、エチケット、礼儀、作法の違いやプロトコールを学ぶ意義 新入社員としての多様性の事態のマナーについて			
2回	マナーの歴史と意味		日本の礼儀、作法の成り立ち 西洋のマナー、エチケットの成り立ち アジアのマナーの特徴			
3回	国際人としてのプロトコール		プロトコールの原則 具体的な席次 異文化コミュニケーション			
4回	社会人として必要なマナー		好印象を与えるコミュニケーションとは 礼装の基準 手紙のマナー			
5回	ビジネスシーンのマナー		ビジネスマナーの必要性 社会人としての心構え 来客対応			
6回	食事のマナー		食事の作法の基準 和食のマナー 和室の作法			
7回	お酒のマナー		お酒の種類 ワインの基礎知識 その他のお酒			
8回	「冠」のしきたり		冠婚葬祭とは 日本の主な通過儀礼			
9回	「婚」のしきたり		結婚の変遷 結婚式のマナー			
10回	「葬」のしきたり		仏教の葬儀 神式の葬儀 キリスト教式の葬儀			
11回	「祭」のしきたり		1月から12月までの行事			
12回	国際儀礼について		国際人としての振る舞いについて			
13回	国際儀礼について		主要国の文化の違い			
14回	国際儀礼について		宗教における風習の違い			
15回	まとめ		新入社員として、必要なマナーを習得する			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光 科	
科目名	Web広告戦略			クラス	Y	
担当講師(フルネーム)	児玉 のりこ			実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	広告の基礎知識、Web広告とSNSの関わりサイトの構成、サイト制作実践に取組みます。 他にもPCのできる事を色々学習していきます。			授業形態	講義&演習	
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・課題提出70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		スケジュール確認、タイピング練習 ファイルの保存、管理、提出方法について ファイル種類、拡張子の違い画像の取得方法			
2回	web広告・マーケティングについて		広告基礎知識、広告の種類、web広告用語を学ぶ webマーケティングについて			
3回	CANVAを使う①		CANVAについて・基本操作 SNS画像作成・実習			
4回	CANVAを使う②		課題作成 テーマに沿った告知画像作成・実習			
5回	SNSについて		web広告とSNS各種のかかわりを学ぶ SNSの種類・効率的な広告の使い方を知るワーク・ディスカッション			
6回	バナーについて①		課題作成 canvaで実際にバナー作成・実習 色々なWebサイトを見てどんなバナーがあるか調査			
7回	バナーについて②		課題作成 canvaで実際にバナー作成・実習 テーマ別にバナーを作成			
8回	広告とEC業界		EC業界とweb広告の増加についてワーク 今後の広告業界について考える			
9回	Webサイト 検証		各業界のwebサイト作り方を比較 人気サイトの理由を考えるワーク・発表			
10回	Webサイトを 作ってみましょう①		ペライチ登録・webサイト作成 ターゲット・ペルソナ選定 デザイン構成を考える・アイディアディスカッション			
11回	Webサイトを 作ってみましょう②		webサイト作成 課題②配色について			
12回	Webサイトを 作ってみましょう③		webサイト作成 課題③キャッチコピー・ライティングについて			
13回	Webサイトを 作ってみましょう④		webサイト作成 課題④写真について			
14回	Webサイトでディスカッション		完成したWebサイトをチーム毎に発表、ディスカッション サイト作成を通して、広告について感じたこと・学んだこと・気づきを発表			
15回	Webサイト 振り返り		seo対策・公開後の分析・解析について 公開する手順説明・HTML・CSSを学習			

